

IV

履修の手引


- 諸規程と履修登録
- シラバス
- FU プラスアップ授業
- 履修登録上の注意事項
- 履修登録等の日程
- 全学部共通留意事項
- 各学部留意事項
- 各種課程の履修について
- 外国語科目クラス別担当者一覧

諸規程と履修登録

大学において単位を修得し卒業するためには、学則・学科履修規程ならびにそれらに準じて取り扱われる規程に従って学習を進めていかなければなりません。


履修方法を誤ったり、多くの授業科目で不合格になると、進級できなかつたり、4年間（医学部医学科および薬学部は6年間）で卒業できないようなことになりかねません。

授業内容を考慮することはもちろん、規程をよく理解したうえで、履修する授業科目を選択し、学習計画を立てるようにしてください。

 分からないことがあれば、所属学部の事務部署へ気軽に尋ねてください。規程の内容を確認したり、学習計画を立てるうえでの相談やアドバイスを受けたりすることができます。

1 諸規程の適用

学則・学科履修規程など履修に関する諸規程は、在学中に改正される場合もありますが、卒業のための要件は原則として入学時の規程が適用されます。

 「学則」をはじめとする諸規程の中には、入学時に配付する印刷物にしか掲載していないものがあります。入学した年度の「学修ガイド」を卒業するまで大切に保管してください。

2 諸規程の改正

入学から卒業までの間に改正された学則・学科履修規程などが在學生に適用されることがあります。

この場合は、改正された内容が毎年度配付する『学修ガイド』に掲載されますので、入学時の規程と対比してどのように改正されたかを把握し、間違った履修をしないようにしてください。

3 履修登録とは

履修登録とは、各自が年間の履修計画を立て、その計画に基づき授業科目を申請する手続きのことです。

そのために、『学修ガイド』あるいは学部から配付される履修登録に関する資料などをよく読み、「授業時間割」「試験時間割」「シラバス」をもとに自分の履修計画に沿って、FUポータルより履修登録を行ってください。

履修登録を正しく行わなかった場合、その授業科目の受講・受験は認められず、単位も修得できません。履修登録は、各自の責任において行うことを自覚してください。

シラバス

1 シラバスとは何か

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。シラバスには、科目名だけではわからない詳細な情報が記載されています。次のように活用してください。

●履修計画を立てる時の参考とする。

大学の学修は、自分で必要な科目を選択します。関心をもった科目は、まずシラバスをよく読んで履修するかどうかが決めましょう。

シラバスには、各授業科目の概要や到達目標、成績評価基準および方法等が掲載されていますので、どのような授業を受けたいのか、また授業を通してどのような知識・理解を深めたいのかを考える時の参考にしてください。

●日々の授業の予習・復習に役立てる。

シラバスには、各授業科目の授業計画やテキスト等が掲載されていますので、予習・復習等に役立ててください。

2 シラバスの項目

主な項目	内 容
科目名	履修申請をする際に表示される科目名が記載されています。
授業形態	授業が以下のどの形態で行われるかが記載されています。 【①講義、②講義（外国語による）、③演習、④実験、⑤実習、⑥実技、⑦講義及び演習、⑧講義及び実習】
担当教員	担当教員名が記載されています。
実務経験	「有り」と表記されている場合は、担当教員が授業科目に関連する実務経験を有しており、その経験を活かした授業を行います。また、どのような実務経験を有し、どのような授業を行うのか、「概要」欄に記載されます。
科目水準	科目が以下のどの水準であるかが記載されています。 【①入門、②初級、③中級、④上級】
授業の種類	科目が「対面授業科目」であるか「遠隔授業科目」であるかが記載されています。
概要	授業内容に加えて、本科目の位置づけ、科目のねらい、授業概要等が記載されています。
授業の進行・方法	授業の具体的な進め方、学習の方法などわかりやすく記載されています。
アクティブ・ラーニング	1回でもとりいれている授業の場合は、「あり/Yes」と記載されています。
到達目標	授業を全て受けることで、みなさんが到達することのできる目標が記載されています。授業終了後には、各到達目標をどの程度達成できたかを「授業アンケート（FURIKA）」にて振り返ります。
授業時間外の学習（予習・復習）	授業の事前・事後に行う自主学習について記載されています。 ☞本書「授業・試験」→「単位と授業時間」参照（p.17）
成績評価基準および方法	「到達目標」に対するみなさんの達成度をどういった基準で評価するのか、また、どのような方法（定期試験、平常点（小テスト、課題等）、レポート等）で評価するのかが記載されています。
テキスト、参考書	授業で使用するテキストが記載されています。テキストは授業開始日までに購入しておくようにしましょう。 ☞本書「授業・試験」→「テキストの購入」参照（p.20）
履修上の留意点	履修するにあたっての留意点や前提となる知識・能力などが記載されています。
授業計画	15回の授業計画がわかりやすく記載されています。

※項目名は、授業科目により異なる場合があります。

※アクティブ・ラーニングとは、次のような要素を取り入れた授業方法を指します。

・PBL（課題解決型学習） ・反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
・ディスカッション、ディベート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・学習、フィールドワーク

出典：令和元年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1-4アクティブ・ラーニング）

3 シラバスの閲覧

● 閲覧方法

シラバスは、FU ポータルから閲覧することが可能です。FU ポータルにログインし、「授業関連」タブ⇒「WEB シラバス」⇒「シラバス閲覧 (学部)」にアクセスしてください。教員名、科目名、学部・学科等から検索し、閲覧することができます。詳細は本書巻末の「履修登録の手引」付録③を参照してください。

☞FU ポータルとは？

福岡大学生のためのポータルサイトで、Web 上で提供される様々なサービスの入口となります。詳細は、本書「授業・試験」→「大学からの連絡 ((1)「FU ポータル」)」を参照してください。

(p. 15)

● 公開日

履修登録に先立ち、3月上旬に公開します。

FU プラスアップ授業

本学の授業は、原則として半期に15回で構成されています。前期・後期ともに15回の授業のうち、授業週として14週を設定し、残り1回分は動画配信による遠隔授業で実施します。この遠隔授業のことを「FU プラスアップ授業」と称します。

「FU プラスアップ授業」は、実施時期、内容により、「スタートアップ授業」と「中間フォローアップ授業」に二分され、どちらの授業で実施されるかは科目によって異なります。自身の履修する科目がどちらの授業で実施されるかについては、各科目のシラバス内の「授業計画」で確認してください。

スタートアップ授業を行う科目では、第1回目の授業はスタートアップ授業で行われます。前期・後期ともに、第1週の授業(第2回授業)開始前までに自身が受講する科目のスタートアップ授業を必ず視聴するようにしてください(前期は3月上旬～第1週の授業まで、後期は8月下旬～第1週の授業までに受講してください)。

※「FU プラスアップ授業」は、学期開始前に、自分がどの科目を履修するかを決めるための情報源として活用したり、自分が所属する学部以外のさまざまな学部の授業動画を見て関心を広げたりできるなど、活用の仕方はさまざまです。

〈例：新入生の場合〉

視聴目的	期 間
履修登録前に参考として視聴する場合	令和6年4月2日～令和6年4月5日
第1回目の授業として視聴する場合	令和6年4月2日～第1回授業日まで
復習や自身の関心を広げるために視聴する場合	令和6年4月2日～令和7年3月31日

※在学生はシラバス公開時から、翌年3月末日まで視聴可能です。自身の目的に合わせて視聴してください。

●スタートアップ授業

<概要>

第1回目に行われるシラバスの丁寧な説明を含んだ授業です。

本学の学生はすべてスタートアップ授業を3月上旬から1年間、いつでも閲覧することができるため、履修登録前に視聴することで、より主体的な履修選択ができます。

また、科目の狙いや到達目標、成績評価の基準などを学期期間中にいつでも参照できることで、より計画的、自律的な学習や授業期間中の振り返りを促すことを目的としています。

<視聴方法>

シラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を確認できます。

※第1週目の授業に係る内容が含まれている場合があるため、必ず第1週目の授業開始までに視聴してください。

<スタートアップ授業の主な流れ>

- ①履修登録開始前、履修する科目選びの参考にするため視聴します。
(関心を持った科目のスタートアップ授業の「イントロダクション部分」を視聴してください。)
- ②履修登録後、第1回授業の内容を学ぶため、第1週の授業(第2回授業)前までに視聴します。
(履修登録した科目の「授業内容紹介」を視聴してください。なお、課題が課される場合もあります。)

●中間フォローアップ授業

<概要>

第6回目から第9回目を目安に行われる中間振り返り授業です。

学期の中間地点で学修を振り返り、自身の到達度を確認することで、学習内容の定着を図ることを目的としています。

※中間フォローアップ授業では、その時点までにおいて自身がその授業の到達目標にどの程度到達したか、確認するための課題が課されます。

<視聴方法>

シラバスからは視聴できません。各科目担当教員の指示に従ってください。

<中間フォローアップ授業の主な流れ>

- ①主に6～9回目、中間フォローアップ授業を視聴し、課された課題に取り組みます。
 - ②課題提出後、自身の到達状況を確認し、授業後半の学習計画を見直します。
- ※通年授業や半期30回授業等で、学期中に中間フォローアップ授業を2回行う場合があります。
担当教員から、中間フォローアップ授業の回数や時期を聞いて確認してください。

※FU プラスアップ授業の詳細については、『「FU プラスアップ授業」学生用マニュアル』を参照ください。

履修登録上の注意事項

1 履修登録の方法

FU ポータルで履修科目の登録手続きを行います。

インターネット環境があれば、自宅など学外から登録手続きを行えます。

2 準備するもの

履修登録を行うにあたり、次の書類・資料を準備してください。

- ・学修ガイド（特に「履修の手引」「試験時間割」「諸規程」「履修登録の手引」）
 - ・授業時間割
 - ・「学科基本クラス分け一覧表」（新入生のみ配付。在生は学修ガイド（p. 41～43）に記載）
 - ・その他、各学部が作成した履修登録に関する資料
- ※シラバスは、FU ポータルから参照できます。（シラバスについては、学修ガイド p. 34～35参照）

3 授業時間割の見方

- ① 曜日・時限別に区分された枠内に、そこで開講される授業の科目名・担当者・開講期別・クラスなどが表示されています。
時間割上で学部・学科あるいはクラスが指定されている授業科目は、それにしたがって履修登録してください。
 - ② 学部記号が○で囲まれている授業科目は、その学部の全学科の学生が登録できることを示しています。
〔例〕①（法学部）……JJ（法律学科）、JB（経営法学科）とも登録可能。
②（スポーツ科学部）……GS（スポーツ科学科）、GH（健康運動科学科）とも登録可能。
 - ③ 学部や学科が指定されている授業科目は、指定の学部や学科の学生のみ登録することができます。
〔例〕③・CC……経済学部全学科および商学部商学科のみ登録可能
 - ④ 前期または後期で完結する4単位の授業科目については、週2回の授業が行われます。
 - ⑤ 履修登録では、自分が登録することができる授業科目のみ表示されます。
- ※授業時間割表は、FU ポータルから参照できます。

4 クラス表示

授業時間のクラス表示については、下表に従い履修登録してください。

対象者	英 語	英語以外の科目	備 考
1年次生(24台) 2024年度入学生	FEとIE(注1)は事前に登録していますので、p. 63 4 外国語科目「1 外国語科目の履修登録について」の「●英語の履修登録について」を参照の上クラスを確認してください。 (再履修者は除く)	「学科基本クラス分け一覧表」で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	「学科基本クラス分け一覧表」は履修登録関係書類として配布します。
2年次生(23台) 2023年度入学生		「学科基本クラス分け一覧」(p. 41～43参照)で該当する学科基本クラスをもとに登録してください。	—
3年次生(22台) 2022年度入学生			
4年次生(21台以前) 2021年度入学生	—		

(注1) FE……フレッシュマン・イングリッシュ
IE……インターミディエイト・イングリッシュ

※東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳについては事前登録されていないので、履修する場合は各自で履修登録してください。

☺ 「フレッシュマン・イングリッシュ」「インターミディエイト・イングリッシュ」の再履修については、4 外国語科目「2 英語の履修について」の「●再履修について (FE・IE)」(p. 65～67)を参照してください。

〔クラス表示の例〕

	ク ラ ス 名 称		
英 語 ク ラ ス	<u>J</u> (学部)	<u>ESP—1</u> (クラス)	「英語」の登録用クラス
学 科 基 本 ク ラ ス	<u>J J</u> (学部・学科)	<u>5</u> (クラス)	「英語」以外の履修登録用クラス ※学科基本クラス分け一覧表参照

5 授業の重複

開講する期別・曜日・時限が同じ授業科目については、ひとつの授業科目しか登録することができません。通年で開講する授業科目と前期または後期のみ開講する授業科目についても、曜日・時限が同一であれば、どちらかの授業科目しか登録できません。

6 試験の重複

履修登録しようとする授業科目が定期試験の同じ期日・時限で重複しないよう、試験時間割 (p. 27～30) をよく見て登録してください。授業科目の開講曜日・時限が異なっても試験が重複している科目はいずれか1つしか登録できません。

7 履修登録上の注意

- ① 履修登録を行う日程は学部・学科・学籍年台により異なります。
詳しくは巻末の「履修登録の手引き」p. 2を参照してください。
- ② 履修登録の日時や期限は厳守してください。後述する「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。
- ③ 履修登録の方法については、学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。
- ④ 登録が正しく行われていない場合、卒業や進級ができなくなる場合も考えられます。必ず「**授業科目確認表**」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。
- ⑤ 集中講義で開講される科目や商学部第二部で受講する教職課程科目等も履修登録が必要です。
- ⑥ 教職課程科目・博物館学芸員課程科目・社会教育主事課程科目を登録する場合は、学部の授業科目と重複しないよう授業時間割および定期試験時間割上で確認してください。

☺ 『履修登録の手引』の中にある「履修登録用紙 (下書き用)」および「Web プロフィール (下書き用)」について必ず事前に記入して履修登録を行ってください。シラバスを事前に参照することも可能です。

8 履修登録の流れ

年度始めに皆さんが行う履修登録作業は概ね次のとおりです。学部によっては、この他にも必要なことがありますので、学修ガイドや配付物、掲示物等を確認してください。

☞ 事前に確認すること

<p>1. 1年間に登録できる単位数の上限 ○学部、学科、年次などにより、1年間に登録できる単位数が異なります。 ○ただし、教職課程等の課程科目を登録するときの単位数は、上限の単位数に含みません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程」 (p. 73～74参照)</p>
<p>2. 卒業（進級）要件単位数 ○学部、学科、年次などにより、卒業に必要な単位数が異なります。また、理系学部では上位年次への進級に必要な単位数が決められている場合があります。 ○卒業（進級）要件単位数を考慮して履修計画を立ててください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程」 (p. 158～191参照)</p>
<p>3. クラス ○クラス指定がある授業科目は、自分のクラスで登録を行う必要があります。あらかじめ自分のクラスを確認してください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科基本クラス分け一覧」 (p. 41～43参照)</p>



☞ 登録科目の選択

<p>4. 登録することができる科目 ○「年次別授業科目表」を開き、自分が登録することができる科目を把握してください。2年次生以上の場合、既に単位を修得した科目は登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「学科履修規程（年次別授業科目表）」 (p. 158～191参照)</p>
<p>5. 上位年次に開講される授業科目は登録できない ○例えば、1年次生は1年次設置科目のみ、2年次生は1・2年次に開講される科目が登録できます。</p>	
<p>6. 必修科目、選択必修科目を優先して登録 ○総合教養科目はできるだけ下位年次で履修するようにしてください。</p>	
<p>7. シラバスを参考に ○シラバスには、各授業科目の概要や評価基準および方法、授業計画等が掲載されています。また、スタートアップ授業を実施する科目については、授業動画を視聴することもできます。よく読んで、登録する科目を決めてください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「シラバス」 (p. 34～35参照)</p>
<p>8. 定期試験の時間割が重複していないか ○受講が可能であっても、試験日時が重複していれば登録できません。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「試験時間割」 (p. 27～30参照)</p>
<p>9. 登録制限科目を登録する場合 ○科目によっては登録人数を制限するものがあります。「履修の手引」などの指示に従って事前に登録手続きを行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「履修の手引」 (p. 47～57、p. 81～85)</p>
<p>10. 授業時間割への記入 ○登録しようとする授業科目にマーカーなどで印を付けてください。</p>	



<p>11. 下書き用紙への記入 ○学修ガイド「履修登録の手引」に入っている「履修登録用紙（下書き用）」に登録する授業科目を記入してください。 ○また、同じく「Webプロフィール（下書き用）」に必要事項を記入してください。（履修登録の際、同時に入力します。） ※履修登録を効率的に行うために、必ず下書きした用紙を履修登録当日に参照しながら履修登録を行ってください。</p>	<p>☞ 学修ガイド 「履修登録の手引」</p>
--	---------------------------------------



履修登録

<p>12. 履修登録 ○履修登録の操作方法等は学修ガイド「履修登録の手引」に詳しく記載されていますので、あらかじめよく読んで操作方法を理解しておいてください。 ○登録作業が済んだら、必ず「授業科目確認表」を印刷して、登録した内容に間違いがないか確認してください。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」</p>
<p>13. 履修登録の日程 ○履修登録を行う日程等は学部・学科・学籍年台により異なります。 ○履修登録の日時や期限は厳守してください。「後期開講科目の登録変更」および「履修登録の撤回」の場合を除き、期限経過後は変更できません。</p>	<p>学修ガイド 「履修登録の手引」 「履修登録等の日程」 (p. 44～45参照)</p>



前期授業の開始

<p>14. 授業教室割の通知 ○開講日までにFUポータル「時間割表(教室割)照会」で、授業教室をお知らせしますので、あらかじめ確認して登学してください。 ○理・工・医・薬・スポーツ科学部で開講する科目については、掲示等で教室をお知らせする場合があります。</p>
<p>15. FUプラスアップ授業の視聴 ○各科目のシラバス内の「授業計画」で「FUプラスアップ授業」の種類を確認してください。 ○「スタートアップ授業」の場合、第1週の授業までにシラバス内の「スタートアップ授業」に記載されたURLから授業動画を視聴してください。 ※後期開講科目については、8月下旬～後期第1回授業までに授業動画を視聴してください。 ○「中間フォローアップ授業」の場合、授業期間中に教員の指示に従い、授業動画を視聴してください。</p>

9 前期成績発表と後期開講科目の登録変更

1年間に履修する科目については、あらかじめ前期授業開始前に通年、前・後期完結科目を全て登録しますが、後期の科目については、前期の成績を確認して、既に登録している履修科目を変更(削除・追加)することができます。前期成績発表および後期開講科目の登録変更日程については、p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。

●注意

通年開講科目については登録を変更することができません。また、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、登録変更をすることができない場合があります。

なお、変更にあたっては、1年間あるいは前期・後期に履修することができる単位数(登録上限単位)の範囲内であることが必要です。

10 履修登録の撤回

「履修登録した授業の内容が想定したものと違っていた」「このまま履修を続けるより他の科目に集中して取り組みたい」などと判断した場合、その学期の開講から3週間以内に申し出れば、前後期それぞれ2科目以内かつ8単位以内に限り履修登録を撤回(削除)できます。撤回した科目の単位数は当該年度の履修登録単位数から除外されます。ただし、撤回した科目の代わりに他の科目を追加登録することはできません。

むやみに撤回すると卒業や進級に必要な単位数が不足する可能性もあるため、慎重な対応が必要です。

なお、必修科目や登録制限科目など各学部の教授会等が指定した科目および共通教育科目の一部については、撤回することができない場合があります。また、後期については、通年開講科目を撤回することはできません。さらに後期開講の集中講義科目のうち、夏季休業中に開講されるものは、前期の撤回期間中のみ撤回することができます。(夏季休業中に開講される後期集中講義科目は、講義開始後に撤回することはできません。)

履修登録撤回の手続き・日程等については p. 44～45「履修登録等の日程」を参照してください。

11 学科基本クラス分け一覧

2023年度入学生 (23台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 230001～L C 230050
	2	L C 230051～L C 230100
L H	1	L H 230301～L H 230335
	2	L H 230336～L H 230370
L J	1	L J 230501～L J 230536
	2	L J 230537～L J 230571
L P	1	L P 231501～L P 231562
	2	L P 231563～L P 231623
L E	1	L E 230701～L E 230746
	2	L E 230747～L E 230791
L G	1	L G 全員
L F	1	L F 全員
L A	1	L A 231301～L A 231332
	2	L A 231333～L A 231364
J J	1	J J 230001～J J 230044
	2	J J 230045～J J 230088
	3	J J 230089～J J 230132
	4	J J 230133～J J 230175
	5	J J 230176～J J 230218
	6	J J 230219～J J 230261
	7	J J 230262～J J 230304
	8	J J 230305～J J 230347
	9	J J 230348～J J 230390
	10	J J 230391～J J 230433
J B	1	J B 232001～J B 232044
	2	J B 232045～J B 232088
	3	J B 232089～J B 232132
	4	J B 232133～J B 232175
	5	J B 232176～J B 232218
E E	1	E E 230001～E E 230040
	2	E E 230041～E E 230080
	3	E E 230081～E E 230120
	4	E E 230121～E E 230160
	5	E E 230161～E E 230200
	6	E E 230201～E E 230240
	7	E E 230241～E E 230280
	8	E E 230281～E E 230320
	9	E E 230321～E E 230360
	10	E E 230361～E E 230400
	11	E E 230401～E E 230440
	12	E E 230441～E E 230479
E I	1	E I 232001～E I 232052
	2	E I 232053～E I 232104
	3	E I 232105～E I 232156
	4	E I 232157～E I 232207
C C	1	C C 230001～C C 230044
	2	C C 230045～C C 230087
	3	C C 230088～C C 230130
	4	C C 230131～C C 230173
	5	C C 230174～C C 230216
	6	C C 230217～C C 230259

※2024年度入学生 (24台) については履修登録関係書類として配付します。

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 231001～C B 231041
	2	C B 231042～C B 231082
	3	C B 231083～C B 231123
	4	C B 231124～C B 231164
	5	C B 231165～C B 231205
	6	C B 231206～C B 231245
C F	1	C F 232001～C F 232045
	2	C F 232046～C F 232090
	3	C F 232091～C F 232135
	4	C F 232136～C F 232179
B B	1	B B 230001～B B 230027
	2	B B 230028～B B 230053
	3	B B 230054～B B 230079
	4	B B 230080～B B 230105
	5	B B 230106～B B 230131
	6	B B 230132～B B 230157
S M	1	S M 230001～S M 230033
	2	S M 230034～S M 230047 S M 231001～S M 231019
S P	1	S P 230201～S P 230226
	2	S P 230227～S P 230247 S P 231201～S P 231205
S C	1	S C 230401～S C 230433
	2	S C 230434～S C 230458
		S C 231401～S C 231407
S E	1	S E 230601～S E 230637
	2	S E 230638～S E 230674
T M	1	T M 230001～T M 230056
	2	T M 230057～T M 230112
T E	1	T E 230301～T E 230359
	2	T E 230360～T E 230417
T L	1	T L 231201～T L 231238
	2	T L 231239～T L 231275
	3	T L 231276～T L 231312
	4	T L 231313～T L 231349
T K	1	T K 231501～T K 231550
	2	T K 231551～T K 231599
T C	1	T C 230601～T C 230657
	2	T C 230658～T C 230714
T A	1	T A 230901～T A 230955
	2	T A 230956～T A 231009
M M	1	M M 230001～M M 230055
	2	M M 230056～M M 230110
M N	1	M N 232001～M N 232055
	2	M N 232056～M N 232110
P P	1	P P 230001～P P 230041
	2	P P 230042～P P 230082
	3	P P 230083～P P 230123
	4	P P 230124～P P 230164
	5	P P 230165～P P 230205
	6	P P 230206～P P 230245
G S	1	G S 230001～G S 230039
	2	G S 230040～G S 230078
	3	G S 230079～G S 230117
	4	G S 230118～G S 230156
	5	G S 230157～G S 230194
	6	G S 230195～G S 230232
G H	1	G H 230301～G H 230338
	2	G H 230339～G H 230375

2022年度入学生 (22台)

学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 220001～L C 220050
	2	L C 220051～L C 220103
L H	1	L H 220301～L H 220335
	2	L H 220336～L H 220371
L J	1	L J 220501～L J 220536
	2	L J 220537～L J 220572
L P	1	L P 221501～L P 221555
	2	L P 221556～L P 221610
L E	1	L E 220701～L E 220746
	2	L E 220747～L E 220791
L G	1	L G 220901～L G 220951
L F	1	L F 221101～L F 221148
L A	1	L A 221301～L A 221335
	2	L A 221336～L A 221370
J J	1	J J 220001～J J 220043
	2	J J 220044～J J 220086
	3	J J 220087～J J 220129
	4	J J 220130～J J 220172
	5	J J 220173～J J 220215
	6	J J 220216～J J 220258
	7	J J 220259～J J 220301
	8	J J 220302～J J 220344
	9	J J 220345～J J 220387
	10	J J 220388～J J 220429
J B	1	J B 222001～J B 222041
	2	J B 222042～J B 222081
	3	J B 222082～J B 222121
	4	J B 222122～J B 222161
	5	J B 222162～J B 222201
E E	1	E E 220001～E E 220039
	2	E E 220040～E E 220078
	3	E E 220079～E E 220117
	4	E E 220118～E E 220155
	5	E E 220156～E E 220193
	6	E E 220194～E E 220231
	7	E E 220232～E E 220269
	8	E E 220270～E E 220307
	9	E E 220308～E E 220345
	10	E E 220346～E E 220383
	11	E E 220384～E E 220421
	12	E E 220422～E E 220460
E I	1	E I 222001～E I 222051
	2	E I 222052～E I 222102
	3	E I 222103～E I 222153
	4	E I 222154～E I 222207
C C	1	C C 220001～C C 220042
	2	C C 220043～C C 220084
	3	C C 220085～C C 220126
	4	C C 220127～C C 220168
	5	C C 220169～C C 220209
	6	C C 220210～C C 220252

学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 221001～C B 221042
	2	C B 221043～C B 221084
	3	C B 221085～C B 221126
	4	C B 221127～C B 221168
	5	C B 221169～C B 221210
	6	C B 221211～C B 221254
C F	1	C F 222001～C F 222047
	2	C F 222048～C F 222093
	3	C F 222094～C F 222139
	4	C F 222140～C F 222186
B B	1	B B 220001～B B 220028
	2	B B 220029～B B 220055
	3	B B 220056～B B 220082
	4	B B 220083～B B 220109
	5	B B 220110～B B 220136
	6	B B 220137～B B 220165
S M	1	S M 220001～S M 220033
	2	S M 220034～S M 220048 S M 221001～S M 221020
S P	1	S P 220201～S P 220228
	2	S P 220229～S P 220247 S P 221201～S P 221209
S C	1	S C 220401～S C 220433
	2	S C 220434～S C 220455 S C 221401～S C 221410
S E	1	S E 220601～S E 220631
	2	S E 220632～S E 220661
T M	1	T M 220001～T M 220055
	2	T M 220056～T M 220111
T E	1	T E 220301～T E 220353
	2	T E 220354～T E 220406
T L	1	T L 221201～T L 221238
	2	T L 221239～T L 221276
	3	T L 221277～T L 221314
	4	T L 221315～T L 221353
T K	1	T K 221501～T K 221552
	2	T K 221553～T K 221604
T C	1	T C 220601～T C 220649
	2	T C 220650～T C 220698
T A	1	T A 220901～T A 220959
	2	T A 220960～T A 221020
M M	1	M M 220001～M M 220055
	2	M M 220056～M M 220110
M N	1	M N 222001～M N 222053
	2	M N 222054～M N 222105
P P	1	P P 220001～P P 220040
	2	P P 220041～P P 220079
	3	P P 220080～P P 220118
	4	P P 220119～P P 220157
	5	P P 220158～P P 220196
	6	P P 220197～P P 220235
G S	1	G S 220001～G S 220038
	2	G S 220039～G S 220076
	3	G S 220077～G S 220114
	4	G S 220115～G S 220151
	5	G S 220152～G S 220188
	6	G S 220189～G S 220225
G H	1	G H 220301～G H 220337
	2	G H 220338～G H 220375

2021年度入学生 (21台)

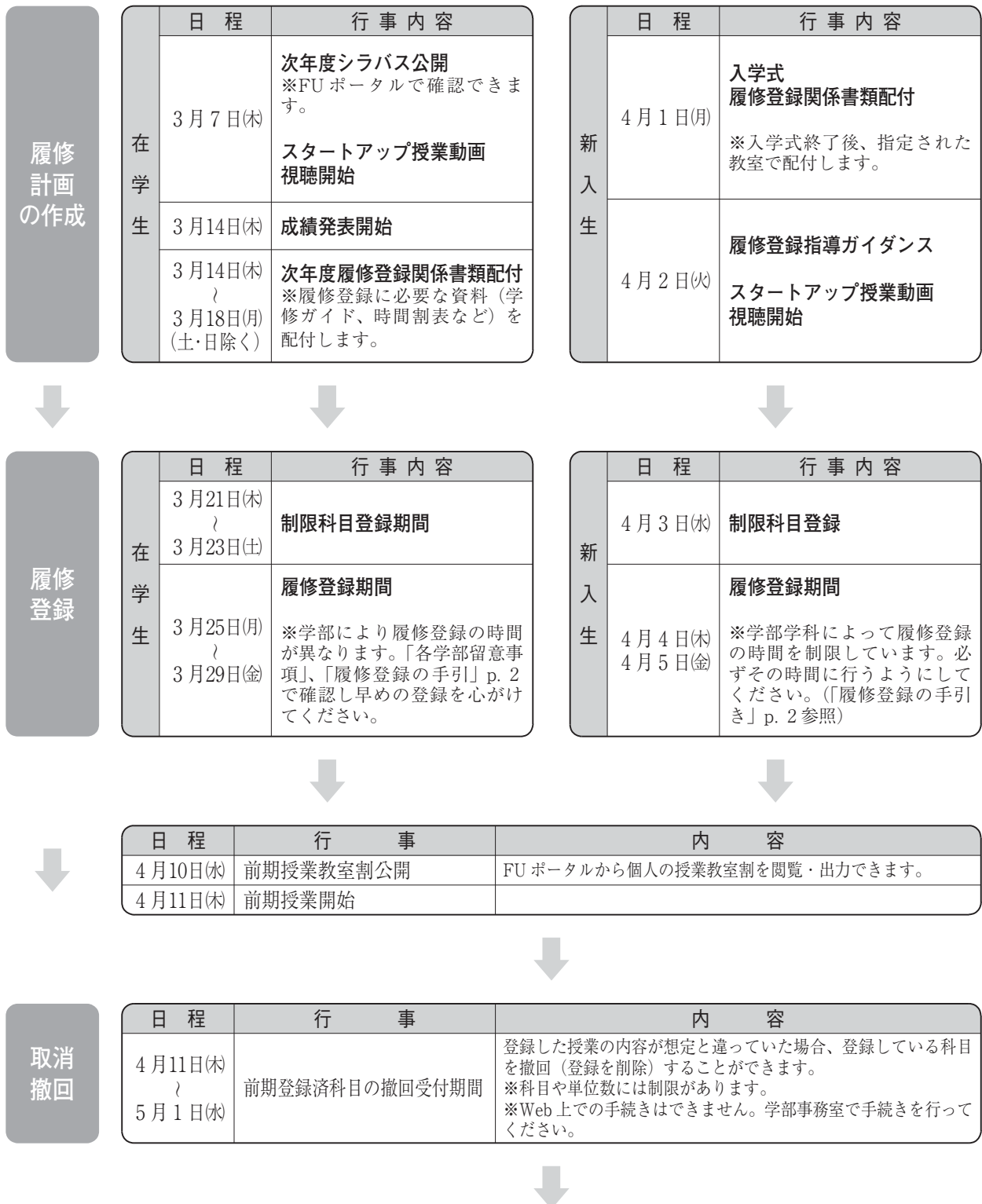
学部学科	クラス	学籍番号
L C	1	L C 210001～L C 210049
	2	L C 210050～L C 210098
L H	1	L H 210301～L H 210333
	2	L H 210334～L H 210368
L J	1	L J 210501～L J 210535
	2	L J 210536～L J 210569
L P	1	L P 211501～L P 211567
	2	L P 211568～L P 211633
L E	1	L E 210701～L E 210744
	2	L E 210745～L E 210789
L G	1	L G 210901～L G 210948
L F	1	L F 211101～L F 211149
L A	1	L A 211301～L A 211331
	2	L A 211332～L A 211364
J J	1	J J 210001～J J 210041
	2	J J 210042～J J 210082
	3	J J 210083～J J 210123
	4	J J 210124～J J 210164
	5	J J 210165～J J 210205
	6	J J 210206～J J 210246
	7	J J 210247～J J 210287
	8	J J 210288～J J 210328
	9	J J 210329～J J 210368
	10	J J 210369～J J 210410
J B	1	J B 212001～J B 212039
	2	J B 212040～J B 212077
	3	J B 212078～J B 212115
	4	J B 212116～J B 212153
	5	J B 212154～J B 212191
E E	1	E E 210001～E E 210038
	2	E E 210039～E E 210076
	3	E E 210077～E E 210114
	4	E E 210115～E E 210152
	5	E E 210153～E E 210190
	6	E E 210191～E E 210227
	7	E E 210228～E E 210264
	8	E E 210265～E E 210301
	9	E E 210302～E E 210338
	10	E E 210339～E E 210375
	11	E E 210376～E E 210412
	12	E E 210413～E E 210450
E I	1	E I 212001～E I 212049
	2	E I 212050～E I 212098
	3	E I 212099～E I 212147
	4	E I 212148～E I 212203
C C	1	C C 210001～C C 210039
	2	C C 210040～C C 210078
	3	C C 210079～C C 210117
	4	C C 210118～C C 210156
	5	C C 210157～C C 210195
	6	C C 210196～C C 210242

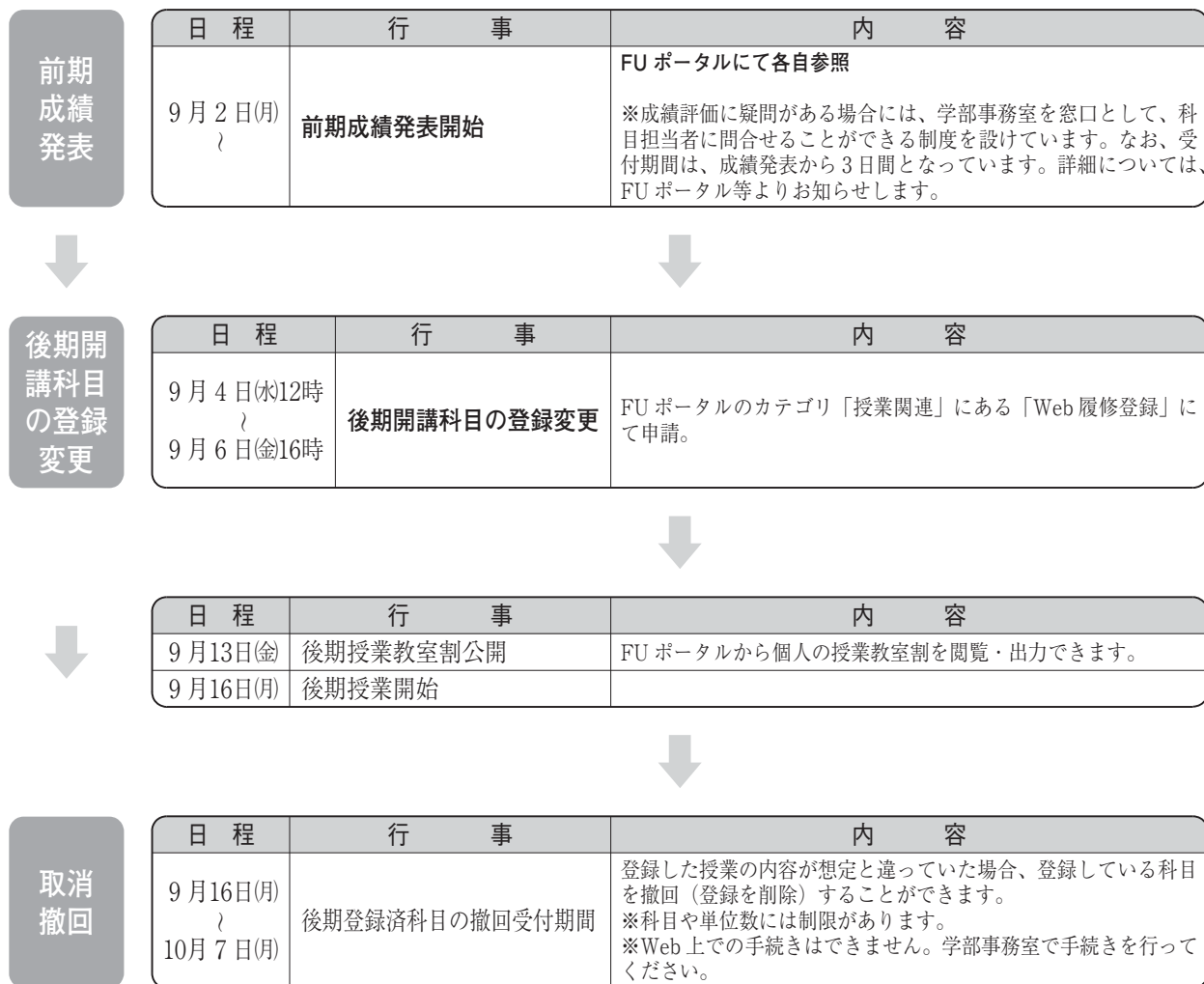
学部学科	クラス	学籍番号
C B	1	C B 211001～C B 211039
	2	C B 211040～C B 211078
	3	C B 211079～C B 211117
	4	C B 211118～C B 211156
	5	C B 211157～C B 211194
	6	C B 211195～C B 211234
C F	1	C F 212001～C F 212047
	2	C F 212048～C F 212094
	3	C F 212095～C F 212140
	4	C F 212141～C F 212186
B B	1	B B 210001～B B 210027
	2	B B 210028～B B 210053
	3	B B 210054～B B 210079
	4	B B 210080～B B 210105
	5	B B 210106～B B 210131
	6	B B 210132～B B 210160
S M	1	S M 210001～S M 210033
	2	S M 210034～S M 210049 S M 211001～S M 211017
S P	1	S P 210201～S P 210226
	2	S P 210227～S P 210244 S P 211201～S P 211208
S C	1	S C 210401～S C 210430
	2	S C 210431～S C 210454 S C 211401～S C 211406
		S C 211407～S C 211430
S E	1	S E 210601～S E 210629
	2	S E 210630～S E 210657
T M	1	T M 210001～T M 210057
	2	T M 210058～T M 210114
T E	1	T E 210301～T E 210355
	2	T E 210356～T E 210409
T L	1	T L 211201～T L 211237
	2	T L 211238～T L 211274
	3	T L 211275～T L 211310
	4	T L 211311～T L 211346
T K	1	T K 211501～T K 211548
	2	T K 211549～T K 211596
T C	1	T C 210601～T C 210662
	2	T C 210663～T C 210724
T A	1	T A 210901～T A 210953
	2	T A 210954～T A 211007
M M	1	M M 210001～M M 210055
	2	M M 210056～M M 210110
M N	1	M N 212001～M N 212053
	2	M N 212054～M N 212106
P P	1	P P 210001～P P 210038
	2	P P 210039～P P 210076
	3	P P 210077～P P 210114
	4	P P 210115～P P 210152
	5	P P 210153～P P 210189
	6	P P 210190～P P 210226
G S	1	G S 210001～G S 210040
	2	G S 210041～G S 210080
	3	G S 210081～G S 210119
	4	G S 210120～G S 210158
	5	G S 210159～G S 210197
	6	G S 210198～G S 210236
G H	1	G H 210301～G H 210337
	2	G H 210338～G H 210373

履修登録等の日程

シラバスや履修登録関係書類で事前に履修計画を立てられます。また、巻末の『履修登録の手引(p. 3)』の「履修登録用紙(下書き用)」を事前に記入し、履修登録に臨んでください。

1 履修登録スケジュール





全学部共通留意事項

学部別、分野毎に、設置科目および開講科目が決められています。

設置科目とは、学則の教育課程に設置している科目であり、開講科目とは、その年度に開講される科目のことです。学部によっては、年度により開講しない科目がありますので、学修ガイドを参照し、学科履修規程を正しく理解し、履修していく必要があります。

1 共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について

総合教養科目・外国語科目・保健体育科目における履修登録の撤回と後期開講科目の登録変更は、下表のように取り扱います。「○」印は可能、「×」印は不可を示しています。

	授業科目の区分、学部、年次、科目名等		登録撤回 (p. 44参照)		登録変更 (p. 45参照)	
			前期	後期	追加	削除
総合教養科目	登録制限科目 (注1参照)	登録制限科目①	○	○	×	○
		登録制限科目②(注2参照)	×	×	○	×
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門	×	×	×	×
	それ以外の科目(注3参照)		○	○	○	○
外国語科目	アドバンスト・イングリッシュⅡ ※所定の登録人数に達しない場合に限る(注4参照)		×	×	○	×
	それ以外の科目 ※学部留学生対象の日本語を含む		×	×	×	×
保健体育科目 (注5参照)	選択科目	生涯スポーツ演習Ⅱ、生涯スポーツ演習Ⅲ、 生涯スポーツ演習Ⅳ、生涯スポーツ論	○	○	○	○
	必修科目 ※商学部第二部 を除く学部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ	×	×	×	×
		2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ演習Ⅱ、 生涯スポーツ演習Ⅲ、生涯スポーツ演習Ⅳ、 生涯スポーツ論	×	×	○	○
	必修科目 ※商学部第二部	1年次生(24台) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論	×	×	×	×
2年次生以上(23台以前) 生涯スポーツ演習Ⅰ、生涯スポーツ論		×	×	○	○	

(注1) 登録制限科目の種類や対象科目等は、p. 47～57の「2 登録制限科目について」を参照してください。

(注2) 登録制限科目②の科目(p. 51～52の表3、およびp. 53～54の表4を参照)の中で、定員に達していない後期開講科目に限り、登録変更期間に定員の範囲内で「先着順」による追加募集を行います。詳細は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加募集で登録が許可された科目も、履修登録の撤回はできません。

(注3) 登録変更期間は登録定員を300人とし、「先着順」による登録制限を行います。前期に登録完了した科目でも、登録エラーの状態のままであれば、エラーを解消するまでの間に当該科目が満員となり登録できなくなることがあります。登録変更時はエラーにならないよう気をつけてください。

(注4) 追加登録を行う場合は、登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。

(注5) 保健体育科目は、学科基本クラスや履修年次等によってあらかじめ時間割が指定されており、指定外の時間割は履修登録できません(p. 59～61の「3 保健体育科目について」を参照)。

2 総合教養科目関係

1 授業科目の学部・学科等指定について

総合教養科目には、1クラス当たりの登録者数を適正な規模にするため、履修登録を認める学部・学科・学科基本クラスをあらかじめ指定する授業科目があります。これらの科目は指定以外の学部・学科等の学生は登録できませんので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

2 登録制限科目について

総合教養科目には、あらかじめ登録者数を制限する授業科目（登録制限科目）があります。登録制限科目は制限理由により、以下の2種類に分かれます。履修希望者は各科目の注意事項および要領等に従い、「履修登録の手引」p.12～13を参照のうえ、申し込んでください。

登録制限科目①…登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目
登録制限科目②…ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目

2-1 登録制限科目①（登録者数が多数になることが予想されるため登録者数を制限する科目）

対象学生の年次により、登録者の選考方法が異なります。

【対象学生：2年次生以上】

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表1（p.48）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から申し込んでください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

表1の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表1 【対象学生：2年次生以上】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 14:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 15:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150		
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 16:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	抽選	申込期間 3月21日(木) 17:00~ 3月22日(金) 18:00 結果発表 3月23日(土) 18:00
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

【対象学生：1年次生】

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表2（下記および次ページ）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。履修登録画面には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直し、エラーがない状態にしてください。

表2の科目の登録が許可された場合は、登録の取り消しはできません。授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	申込期間および結果発表
1	倫理学A	中村 未来	前期	木	2	150	先着順	4月3月（水）12：00～23：59
2	倫理学A	広川 明	前期	火	3	150		
3	倫理学A	広川 明	前期	火	4	150		
4	倫理学B	中村 未来	後期	木	2	150		
5	倫理学B	広川 明	後期	月	4	150		
6	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	2	150		
7	宗教学A	岸根 敏幸	前期	月	3	150		
8	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	2	150		
9	宗教学A	岸根 敏幸	前期	水	3	150		
10	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	3	150		
11	宗教学A	東谷 孝一	前期	金	4	150		
12	宗教学B	岸根 敏幸	後期	月	2	150		
13	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	3	150		
14	宗教学B	東谷 孝一	後期	金	4	150		
15	日本史A	松木 俊暁	前期	水	4	150	先着順	4月3月（水）12：30～23：59
16	東洋史A	久芳 崇	前期	月	4	150		
17	日本文学B	須藤 圭	後期	金	2	150		
18	芸術A	浦上 雅司	前期	火	2	150		
19	芸術A	落合 桃子	前期	木	4	150		
20	芸術A	川浪 千鶴	前期	金	4	150		
21	芸術B	浦上 雅司	後期	火	2	150		
22	芸術B	落合 桃子	後期	木	4	150		
23	日本国憲法	守谷 賢輔	後期	金	2	150	先着順	4月3月（水）13：00～23：59
24	日本国憲法	守谷 賢輔	前期	金	2	150		
25	政治学A	東原 正明	前期	木	3	150		
26	経済学A	主計 浩	前期	水	3	150		
27	社会学A	井手 靖子	前期	木	2	150		
28	社会学A	高岡 弘幸	前期	月	3	150		
29	社会学A	花野 裕康	前期	金	3	150		
30	社会学B	井手 靖子	後期	木	2	150		
31	社会学B	花野 裕康	後期	金	3	150		
32	地理学A	藤村 健一	前期	木	4	150		
33	心理学A	佐藤 基治	前期	月	4	150		
34	心理学A	古川 善也	前期	水	3	150		
35	心理学A	古川 善也	前期	木	4	150		

次のページへ続く

表2 【対象学生：1年次生】登録制限科目①

No.	科目名	担当者	期別	曜日	時限	登録定員	選考方法	登録受付日時
36	地球圏科学入門	上原誠一郎	前期	月	2	150	先着順	4月3日(水) 13:30~23:59
37	地球圏科学入門	赤木 右	前期	金	2	150		
38	新しい地球観	上原誠一郎	後期	月	2	150		
39	新しい地球観	田上 響	後期	火	2	150		
40	ミクロの生物科学	中川 裕之	前期	木	1	150		
41	ミクロの生物科学	中川 緑	前期	火	2	150		
42	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	1	150		
43	マクロの生物科学	中川 緑	後期	火	2	150		
44	自然科学入門	林 辰弥	前期	月	2	150		
45	自然科学入門	西園 幸久	前期	火	4	150		
46	自然科学入門	中川 緑	前期	木	3	150		
47	自然科学と人間	中川 緑	後期	木	3	150		

2 - 2 登録制限科目②

(ゼミナール形式やオムニバス形式など授業形態に合わせて登録者数を制限する科目)

対象科目の種類や対象学生の年次により登録者の選考方法が異なりますので注意してください。履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。登録エラーの表示が出た場合は、科目の選択をやり直しエラーがない状態にしてください。

【対象科目：教養ゼミを除く科目】

「先着順」で登録者を決定します。表3の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「制限科目を選択」から登録してください。登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表3の科目に関する注意事項

- ①「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ②表3の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業や試験時間割との重複等がないか確認のうえ申請してください。

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
1	哲学A	大西 克智	前期	木	2	80	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00~ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30~23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00~</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
2	哲学A	大西 克智	前期	木	3	80	全学年	
3	哲学B	大西 克智	後期	木	2	80	全学年	
4	哲学B	大西 克智	後期	木	3	80	全学年	
5	論理学A	林 誓雄	前期	火	4	150	全学年	
6	論理学A	林 誓雄	前期	水	2	150	全学年	
7	論理学A	林 誓雄	前期	金	3	150	全学年	
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	2	150	全学年	
9	論理学B	林 誓雄	後期	火	4	150	全学年	
10	論理学B	林 誓雄	後期	水	2	150	全学年	
11	論理学B	林 誓雄	後期	金	3	150	全学年	
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	2	150	全学年	
13	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1	100	全学年	
14	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1	200	全学年	
15	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1	60	全学年	
16	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1	80	全学年	
17	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1	80	全学年	
18	経済学A	楊 光洙	前期	火	4	40	全学年	
19	経済学A	楊 光洙	前期	火	5	40	全学年	
20	経済学B	楊 光洙	後期	火	4	40	全学年	
21	経済学B	楊 光洙	後期	火	5	40	全学年	
22	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2	200	全学年	
23	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4	200	全学年	
24	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3	200	全学年	
25	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5	200	全学年	
26	心理学A	大上 渉	前期	火	3	200	全学年	
27	心理学A	大上 渉	前期	火	4	200	全学年	

次のページへ続く

表3 授業形態に合わせて登録者数を制限する科目（教養ゼミの科目を除く）

No.	科目名	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	登録対象年次	選考方法および登録受付日時
28	心理学 B	大上 渉	後期	火	3	200	全学年	<p>●【2年次生以上】 先着順 3月21日(木)12:00～ 3月23日(土)23:59</p> <p>●【1年次生】 先着順 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木)9:00～</p> <p>(1年次生のみを対象に先着順で追加募集を実施)</p>
29	心理学 B	大上 渉	後期	火	4	200	全学年	
30	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2	200	商二部全学年	
31	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5	100	24～23台のみ	
32	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2	24	24～23台のみ	
33	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3	24	24～23台のみ	
34	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2	24	24～23台のみ	
35	福岡大学で考える現代社会	飛田 努	後期	金	2	100	24～23台のみ	
36	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5	40	24～23台のみ	
37	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5	40	24～23台のみ	
38	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	12	24～23台のみ(文系)	
39	福岡大学で考える現代社会	熊丸 憲男	後期	火	4	13	24～23台のみ(理系)	
40	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1	200	24台のみ	
41	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2	200	24台のみ	
42	アカデミックスキルズゼミ I	紺田 広明	前期	火	5	40	24～23台のみ	
43	アカデミックスキルズゼミ I	道山 治延	前期	木	1	36	24～23台のみ	
44	アカデミックスキルズゼミ II	吉田 秀幸	後期	木	1	48	24～23台のみ	
45	アカデミックスキルズゼミ II	鈴木 学	後期	火	5	50	24～23台のみ	
46	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	50	24台のみ	
47	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	50	24台のみ	

【対象科目：教養ゼミの科目】

対象学生：2年次生以上

2年次生以上は「抽選」で登録者を決定します。表4（p.53～54）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から申し込んでください。

結果発表後、履修登録画面上で当否を確認し、抽選に外れた場合はその科目を削除してください。

対象学生：1年次生

1年次生は「先着順」で登録者を決定します。表4（p.53～54）の科目の履修希望者は、履修登録画面上の「選択科目を選択」から登録してください。なお、2年次生以上が登録定員に達しなかった科目は、不足分を1年次生の登録定員に追加して受け付けます。

登録エラーの表示（赤色で表示）が出なければ登録は完了です。

●表4の科目に関する注意事項

- ①「教養ゼミ」の科目は前期1科目、後期1科目、前期と後期の合計で2科目までしか登録できません。前期または後期に2科目以上登録しようとする、登録エラーになります。
- ②「登録定員」欄に示した人数は2年次生以上と1年次生の合計定員です。
- ③「教養ゼミ」の科目は定期試験を実施しない授業科目であるため、再試験は実施しません。
- ④表4の科目の登録が許可された場合は、登録の取消しはできません。また、履修登録の撤回、後期登録変更時の削除もできませんので、授業時間割との重複等に十分に注意して申請してください。

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講期別	曜日	時限	登録定員	備考	選考方法および登録受付日時
1	哲学A (哲学入門)	竹花 洋佑	前期	水	2	15		<p>【2年次生以上】 …抽選 ●申込期間 3月21日(木) 12:00～23:59</p> <p>●結果発表 3月22日(金) 16:00</p> <p>●登録定員に達しない場合 3月25日(月) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p> <p>【1年次生】 …先着順 ●登録期間 4月3日(水) 9:30～23:59</p> <p>●登録定員に達しない場合 4月4日(木) 12:00～ 先着順で追加募集を実施</p>
2	哲学B (政治哲学入門)	竹花 洋佑	後期	火	4	15		
3	倫理学A (中国古典に見る人間観)	中村 未来	前期	火	4	16		
4	倫理学B (無為自然を説く道家の世界)	中村 未来	後期	水	2	16		
5	宗教学A (生の教説①)	小笠原史樹	前期	金	5	15		
6	宗教学B (生の教説②)	小笠原史樹	後期	金	5	15		
7	日本史A (日本近代史を学び憲法改正問題を考える)	梶原 良則	前期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
8	日本史B (沖縄の歴史を学び基地問題を考える)	梶原 良則	後期	月	3	15	登録対象: 24台のみ	
9	東洋史A (現代中国・アジアについて語る)	山根 直生	前期	木	3	15		
10	東洋史B (現代中国・アジアについて語り、議論する)	山根 直生	後期	木	3	15		
11	西洋史A (疫病の歴史を考える)	渡邊 裕一	前期	火	4	16		
12	西洋史B (「私たち」から見る日米関係史)	森 丈夫	後期	水	2	20		
13	日本文学A (近現代文学の精読と分析)	畑中 佳恵	前期	火	2	20	登録対象: 24台のみ	
14	日本文学B (ミャークフツ入門)	衣畑 智秀	後期	月	3	30		
15	日本文学A (『徒然草』輪読)	大坪 亮介	前期	木	3	20		

次のページへ続く

表4 「教養ゼミ」の科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	登録 定員	備考	選考方法および 登録受付日時
16	日本文学B (日本近現代の短編小説を読む)	永井 太郎	後期	水	4	15		【2年次生以上】 …抽選 ●申込期間 3月21日(木) 12:00~23:59 ●結果発表 3月22日(金) 16:00 ●登録定員に達 しない場合 3月25日(月) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施 【1年次生】 …先着順 ●登録期間 4月3日(水) 9:30~23:59 ●登録定員に達 しない場合 4月4日(木) 12:00~ 先着順で追加 募集を実施
17	西洋文学A (Speculative Japan 2)	クロス テイモシー	前期	月	4	16	授業は 英語で実施	
18	西洋文学B (Speculative Japan 3)	クロス テイモシー	後期	月	4	16	授業は 英語で実施	
19	経済学A (社会科学の基礎を学ぶ)	武井 敬亮	前期	金	2	15		
20	経済学B (アダム・スミス『道徳感情論』を読む)	武井 敬亮	後期	金	2	15		
21	教育論A (戦没学生の手記を読もう)	勝山 吉章	前期	木	2	15	登録対象: 24台のみ	
22	地理学A (現実世界の多様性を考えるI)	磯田 則彦	前期	水	3	15		
23	地理学B (現実世界の多様性を考えるII)	磯田 則彦	後期	水	3	15		
24	地理学A (地域の学術的探究I)	近藤 祐磨	前期	火	5	15		
25	地理学B (地域の学術的探究II)	近藤 祐磨	後期	火	4	15		
26	心理学A (犯罪者プロファイリングとは何か)	大上 渉	前期	水	4	14		
27	心理学B (「パワーハラスメントの理解と対策」)	大上 渉	後期	水	4	14		
28	心理学A (心の仕組みを学ぶ)	縄田 健悟	前期	木	3	15		
29	心理学B (心の働きを学ぶ)	縄田 健悟	後期	木	3	15		
30	文化人類学A (文化人類学の思考を学ぶ)	中村 亮	前期	月	2	15		
31	文化人類学B (身近な文化を調べ考える力を身に付ける)	宮岡真央子	後期	月	3	16		
32	物理科学入門 (ためして物理を理解する)	西 憲敬	前期	月	5	16		
33	生活と環境の化学 (衣食住の実験化学)	松原 公紀	後期	火	3	12		

3 総合系列科目について

総合系列科目は、現代の諸問題を考える科目です。授業はオムニバス（学部や専門分野の異なる複数の教員が授業を担当する）形式で行われます。

履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 5 - 1 総合系列科目（22台以前）

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	地球環境 (資源循環と地球環境)	山本 俊浩	後期	水	5	有	
2	国際化と日本 (ヨーロッパを知る-その多様性と統一-)	辻部 大介	後期	月	5	有	
3	国際化と日本 (グローバルな平和論)	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
4	国際化と日本 (東アジアと福岡)	三島 健司	後期	金	4	有	
5	国際化と日本 (Globalization of Japan)	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
6	現代を生きる (災害から自分や家族を守る)	重松 幹二	後期	水	5	有	

表5-2 総合系列科目（23台以降）

科目名：「福岡大学で考える現代社会」

No.	サブタイトル	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	ものづくり体験から学ぶ企画・制作力	熊丸 憲男	後期	火	4	無	登録制限科目②
2	Innovation for a Sustainable Society (サステナビリティのためのイノベーション)	安井 英俊	前期	火	4	無	
3	貨幣の謎 - 新型コロナウイルスから解明する	山崎 好裕	後期	火	4	有	
4	皆で考える地球温暖化とカーボンニュートラル	岩山 隆寛	前期	木	5	無	登録制限科目②
5	大学生のための現代社会論	鈴木 学	後期	火	2	無	登録制限科目②
6	大学生のための政治経済論	鈴木 学	後期	火	3	無	登録制限科目②
7	「言葉の力」を身につける	須長 一幸	前期	金	2	無	登録制限科目②
8	多職種連携で支える人生100年時代	安元 佐和	前期	木	5	無	
9	アントレプレナーシップを学ぶ	飛田 努	後期	金	2	有	登録制限科目②
10	資源循環と地球環境	山本 俊浩	後期	水	5	有	
11	グローバルな平和論	渡邊 裕一	後期	月	5	有	
12	ヨーロッパを知る - その多様性と統一 -	辻部 大介	後期	月	5	有	
13	東アジアと福岡	三島 健司	後期	金	4	有	
14	Globalization of Japan	鈴木 孝将	後期	金	5	有	
15	災害から自分や家族を守る	重松 幹二	後期	水	5	有	
16	主体性・社会性・協働性を身につける	橋場 論	前期	水	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
17	主体性・社会性・協働性を身につける	須長 一幸	後期	月	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ

4 学修基盤科目について

学修基盤科目は、学問と向き合うための正しい姿勢や学問的技法、学ぶことの意義を理解するための科目です。なお、履修登録画面上には、自分が登録することのできる科目のみ表示されます。

登録制限科目の履修希望者は、p. 47「2 登録制限科目について」の注意事項および要領等に従い申し込んでください。

表 6 学修基盤科目

No.	科目名 (サブタイトル)	担当者	開講 期別	曜日	時限	定期試験 の有・無	留意事項
1	福大生のためのキャリアデザイン (大学生活を設計する)	植上 一希	前期	火	1	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
2	福大生のためのキャリアデザイン (大学生活を設計する)	植上 一希	前期	火	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
3	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	紺田 広明	前期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
4	アカデミックスキルズゼミ I (読む・書く・話す・聞くことのレッスン)	道山 治延	前期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
5	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	鈴木 学	後期	火	5	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
6	アカデミックスキルズゼミ II (思考と発想のレッスン)	吉田 秀幸	後期	木	1	無	登録制限科目② 登録対象：23～24台のみ
7	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
8	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
9	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
10	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	前期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
11	データサイエンス・AI 入門	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ
12	データサイエンス・AI 入門 BB	香野 淳	後期	集中	集中	無	登録制限科目② 登録対象：24台のみ

データサイエンス・AI 入門の詳細については、p. 58「学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について」を参照してください。

5. 履修登録の停止について

総合教養科目では、大学が定める登録者数の上限を超えた科目が発生した場合、履修登録の途中でであってもその科目の登録受付を停止することがあります。

登録停止となった科目については、FU ポータルのお知らせを確認してください。

学修基盤科目 データサイエンス・AI 入門について

●科目の概要

インターネットやニュースなどでよく見聞きするようになった「AI」とは何か知っていますか。現在、膨大なデータを収集して傾向などを分析し、社会やビジネスの課題解決につなげることを目指すデータサイエンスやAI（Artificial Intelligence：人工知能）の利活用が盛んになっています。これからはAIの時代とも言われ、文系・理系を問わず大学生のうちに、データサイエンス・AIの知識・技術を学び、素養（デジタル社会の読み・書き・そろばん）を身に付けておくことが求められています。

この科目は、データサイエンス・AIについて学び、そのリテラシー（適切に理解し、活用する力）を習得するための入門科目で、全学部の1年次生が履修できる共通教育科目として2022年度から新たに開講されています。e-Learningを活用し、オンデマンド型で学ぶことができるため、都合の良い時間に受講することができます（受講する曜日・時限は決まっておらず、自ら計画を立てて学んでいきます）。

科目の詳細については、シラバスを参照してください。

※文部科学省が推進する認定制度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に適合する内容となっています。

●身に付けることができる能力

- データサイエンス・AIの必要性を理解し、説明できるようになる
- 社会で活用されているデータ・AI活用の事例について説明できるようになる
- どのような思考方法でデータを扱うかを理解し、説明できるようになる
- データを読み、説明できるようになる
- Excelなどの汎用ソフトウェアを用いて典型的なデータを扱えるようになる
- データ・AIを扱う上での留意事項を説明できるようになる
- 数理・データサイエンス・AIについて自ら学び、活かす姿勢を身に付ける

●e-Learningを活用したオンライン学習の科目

本科目は、オンライン上でe-Learningを使って自ら学んでいく科目であり、各自が都合の良い時間に受講することができるオンデマンド型授業です。所定の期間中、講義動画は何度でも視聴できるので、自分のペースで学習を進め、また各回の小テストや課題に取り組むことで理解を深めていきます。

●学びを深めるサポート体制

オンラインまたは教室での対面（もしくはオンラインと対面のハイブリッド）で質問を受け付け、一緒に考える機会を設けます（質問会と称します）。他の受講生からの質問やそれに対する回答を直接聴くことができる場にもなりますので、積極的に参加してください。

●対象学生

全学部1年次生

●開講学期

前期と後期に開講

●履修登録方法

4月4日(木)～4月5日(金)のweb履修登録期間中に、履修登録画面最下部の「集中講義科目等を選択」ボタンから前期または後期いずれかの科目を選択して登録します。

※履修登録の「撤回」、「後期登録変更」はできませんのでご注意ください。

3 保健体育科目について

本学の保健体育科目は、生涯スポーツ演習と生涯スポーツ論より構成されています。前者は実技と理論による演習形式で、後者は講義形式で実施されます。

生涯スポーツ演習は、学生が様々なスポーツ活動の体験・学習を通して、その楽しさを知るとともに、心身の健康を回復・保持・増進し、学生生活を豊かにすることを目的としています。また、学生が生涯にわたるスポーツ活動の必要性を、健康・体力のみならず、生きがいという面からも理解し、その実践に必要な技能・知識・態度を身につけることも目的としています。

生涯スポーツ論は、学生が本学スポーツ科学部編集のテキスト(『大学生のスポーツと健康生活』)によって、健康の増進に寄与する科学的知識を学ぶとともに、スポーツ活動に関わる自然・人文・社会科学的な理解を深めることで、スポーツ活動を生涯にわたって「行う」「観る」「支える」「調べる」ようになることを目的としています。

こうした保健体育科目での学修を通して、学生が在学期間のみならず、生涯にわたって様々なスポーツ活動に親しみ、健康で充実した生活を送れるようになることを目指しています。

1 登録手続等について

スポーツ科学部以外の学部

生涯スポーツ演習Ⅰ (前期または後期) 生涯スポーツ演習Ⅱ (前期または後期)	<p>1年次生(24台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください(但し、医学部医学科を除く)。</p> <p>2年次生以上(23台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>ただし、前・後期の火曜日2～4時限、前・後期の金曜日1時限、前・後期の金曜日3時限は再履修者は登録できません。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。] ※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期) ※理・薬学部のみ	<p>授業時間割で決められた曜日・時限(理学部：火曜2限、薬学部：金曜4限)に登録してください。</p> <p>※授業の第1週目はオリエンテーションを行いますので、第二記念会堂に集合してください。なお、このときトレーニングウェアは不要です。</p>
生涯スポーツ論 (前期または後期)	<p>2年次生(23台)…授業時間は学科基本クラスごとに指定されています。生涯スポーツ論を必修科目としている人文学部、法学部、経済学部、商学部については、授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。なお、別科目の受講を優先する等の事情により2年次生での受講を希望しない場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>生涯スポーツ論を選択科目としている理学部、医学部看護学科、薬学部については、授業時間割で決められた曜日・時限に登録してください。</p> <p>3年次生以上(22台以前)…本人が所属する学部のいずれかのクラスに登録してください。他の必修科目と授業が重複する等の事情により、他学部のクラスの受講を希望する場合は、所属学部の事務部署に申し出てください。</p> <p>[次ページに掲載しているクラス分け一覧を参照してください。]</p>

スポーツ科学部

生涯スポーツ演習Ⅰ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅱ(後期) 生涯スポーツ演習Ⅲ(前期) 生涯スポーツ演習Ⅳ(後期)	授業時間割で決められた曜日・時限にあらかじめ事前登録していますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。詳しくは授業開始前に掲示にてお知らせします。
--	--

生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱクラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	I: CB 1-4 II: CB 5-6	I: CB 5-6 II: CB 1-4	I: JB 1-3 II: JB 4-5	I: JB 4-5 II: JB 1-3	I: JJ 4-6	II: JJ 4-6	I: JJ 1-3 I: MM(20名) I: 保健コース II: 保健コース	II: JJ 1-3 II: MM(20名) I: 保健コース II: 保健コース	II: EE 1-4	I: EE 1-4
2	I: CF 1-2 II: CF 3-4	I: CF 3-4 II: CF 1-2	II: EE 5-8	I: EE 5-8	I: JJ 7-9 I: MM(30名) II: LG・JJ10	I: LG・JJ10 II: JJ 7-9 II: MM(30名)	I: CC 1-3 II: CC 4-6	I: CC 4-6 II: CC 1-3	I: PP 1-2 II: PP 3-6	I: PP 3-6 II: PP 1-2
3	I: SM・SP II: SC・SE	I: SC・SE II: SM・SP	II: EE 9-12 II: MM(10名)	I: EE 9-12 I: MM(10名)	I: TM II: TE	I: TE II: TM	I: EI 1-2 II: EI 3-4 I: GS・GH	I: EI 3-4 II: EI 1-2 II: GS・GH	I: TL 1-2 I: MM(20名) II: TL 3-4	I: TL 3-4 II: TL 1-2 II: MM(20名)
4	I: TA・LP 1 II: TK・LP 2	I: TK・LP 2 II: TA・LP 1	I: LF・LA I: MM(30名) II: MN	I: MN II: LF・LA II: MM(30名)	II: TC	I: TC	I: LC II: LH I: 保健コース II: 保健コース	I: LH II: LC I: 保健コース II: 保健コース	I: LE・LJ	II: LE・LJ

(注1) 前・後期の火曜2～4時限、前・後期の金曜1時限、前・後期の金曜3時限は再履修者は登録できません。

(注2) 前・後期の木曜3限目のGS・GHクラスはスポーツ科学部の学生のみ履修可能。

(注3) 医学部医学科(MM)の新入生は、指定する複数クラス(火曜3時限、火曜4時限、水曜2時限、木曜1時限、金曜3時限)の中から先着順で登録者を決定します。なお、登録要領等については、履修登録ガイダンスの際にお知らせします。

生涯スポーツ論クラス分け一覧

時 限	月		火		水		木		金	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	LC・LH	LJ・LE LP・P	EE 1-3	EE 4-6	EE 7-9	EE 10-12	EI 1-2	EI 3-4	CF 1-2	CF 3-4
2	JJ 1-3	JJ 4-6	CC 1-3 S	CC 4-6 S	JJ 7-8	JJ 9-10	CB 1-3	CB 4-6	JB 1-3	JB 4-5
3	LG・LF・LA MN・P									

2 保健コースについて

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱの履修者のうち、疾患および障がい等のため激しい運動ができない学生を対象とします。
- 保健コースの登録を希望する人は、まず時間割で指定されたクラスに出席してください。第1週目の授業(オリエンテーション)にて面談を行います。その結果、コースの変更が必要と判断された場合は、保健コース(木曜日1時限または4時限)への変更手続きを行います。なお、変更手続きの際に診断書の提出を求めることもあります。

3 その他

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび生涯スポーツ論における前期・後期の登録撤回、および後期の登録変更の取り扱いについては、「共通教育科目の履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更につ

いて」(p. 46)を参照してください。

- 生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業ではトレーニングウェア(水泳の場合には水着)を着用してください。また、体育館シューズも用意してください。詳しくは授業1週目のオリエンテーションで説明します。
- 令和6年度は、生涯スポーツ演習Ⅱのスキーを実施する予定です。生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択できるのは、医学部と薬学部を除く学部の3年次生までの学生です。

なお、生涯スポーツ演習Ⅱでスキーを選択する人は実習費として100,000円程度必要になります(実習費は12月に徴収します)。但し、経済状況により実習費は変動することがあります。実習地は山形県蔵王スキー場を予定しています。

4 外国語科目

共通教育科目の外国語科目は、7つの外国語と学部留学生を対象とした日本語（注1）が設置されています。各学部・学科の外国語科目の開講は下表の通りです。

2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表

学部・学科		外国語科目			
		第1外国語		第2外国語（注5）	
人文学部	文化学科・歴史学科 日本語日本文学科 教育臨床心理学科 英語学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	ドイツ語学科	ドイツ語	必修(8単位)	・英語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	フランス語学科	フランス語	必修(8単位)	・英語・ドイツ語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (8単位)
	東アジア地域言語学科 (注2)	中国語・朝鮮語・英語……必修(12単位) および選択必修(4単位) 英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語……選択			
法・経済・商学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
商学部第二部 (注3)		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
理工学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択必修 (4単位)
薬学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
医学部	医学科	英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択
	看護学科 (注4)	英語……必修(8単位) ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語 ……選択必修(2単位)			
スポーツ科学部		英語	必修(8単位)	・ドイツ語・フランス語 ・中国語・ロシア語 ・スペイン語・朝鮮語	選択

(注1) 学部留学生を対象とした日本語の取り扱いについては、P. 70「学部留学生のための授業科目「日本語」について」を参照してください。

(注2) 人文学部東アジア地域言語学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注3) 商学部第二部について、2023年度(23台)以前入学生は、ロシア語・スペイン語を除く4科目が開講されます。

(注4) 医学部看護学科については、第1外国語・第2外国語の区別はありません。

(注5) 第2外国語が、同一言語で4単位以上修得しない場合に、卒業要件単位として認められないことがあります。学部によって取扱いが異なりますので注意してください。

(注6) この他に選択科目として、アドバンスト・イングリッシュ(L(LH, LJ)・S・Mを除く学部)が開講されています。

1 外国語科目の履修登録について

●外国語科目の履修は、下位年次科目から順次登録しなければなりません。

●外国語科目は、履修登録の撤回・後期開講科目の登録変更を認めていません。

※アドバンスト・イングリッシュⅡ（後期科目）のみ、所定の登録人数に達しない場合に限り、登録変更期間に追加登録を行います。追加登録を行う場合は登録変更期間前にFUポータルでお知らせします。なお、追加登録を行った場合も履修登録の撤回はできません。

●英語の履修登録について

英語には以下の3種類があり（カッコ内は略称）、アドバンスト・イングリッシュ以外は履修するクラスが決まっています。クラスは事前に登録してありますので、履修登録の画面で登録されているクラスを確認してください。

フレッシュマン・イングリッシュ（FE）

インターミディエイト・イングリッシュ（IE）

アドバンスト・イングリッシュ（AE）

- ※1 アドバンスト・イングリッシュは開講される学部・学科・年台が決まっています。授業科目表を参照してください。履修希望者は各自で履修登録が必要です。
- 2 東アジア地域言語学科のFEⅢ・ⅣとIEⅢ・Ⅳは、事前登録を行いませんので各自で履修登録してください。
- 3 人文学部ドイツ語学科とフランス語学科は各自で英語の事前登録を取り消すことができます。
- 4 休学や留年等によりFE・IEの履修年度が遅れた場合は再履修と同様各自で履修登録が必要です。下の「●再履修の履修登録について（2年次生以上）」を読んでください。



履修登録画面の時間割表に事前登録されている英語の科目の④をクリックすると【履修科目の詳細情報】が表示され、クラスを確認することができます。

●その他の外国語の履修登録について

選択する外国語によって、登録するクラスが指定されている科目や、いくつかのクラスの中から選んで登録できる科目、登録できるクラスのペアが定められている科目などがあります。詳細は「3 英語以外の外国語について」（p. 69～70）を読んでください。

●再履修の履修登録について（2年次生以上）

再履修の場合は、英語・その他の外国語ともに事前登録はしませんので各自で履修登録が必要です。

また、再履修クラスが開講されている科目と、開講されていない科目があります。再履修クラスが開講されていない場合、所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録することができます。その場合、自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。

詳細は各語学の説明（p. 65～67）を読んでください。

●「海外英語研修」

全学部を対象に「海外英語研修」（2単位）を開設しています。応募方法など詳細はp. 129の「2 海外研修・海外語学研修」を参照してください。

なお、この科目は研修に参加した翌年度に単位を認定する科目です。

2 英語の履修について

●フレッシュマン・イングリッシュ I～IV（1年次生）

フレッシュマン・イングリッシュ（以下 FE）は前期・後期とも週2回の授業があります。事前に受講するクラスが決められていて、下表の [例1] または [例2] のどちらかのパターンで1年間に3種類の目的別クラスを受講します。

	科目名	例1	例2
前期	FE I	R&L	R&L
	FE III	IA	ESP
後期	FE II	R&L	R&L
	FE IV	ESP	IA

R&L：リーディング&リスニング（前期・後期とも）

ESP：検定対策英語（前期または後期どちらか）

I A：インタラクティブ英語（前期または後期どちらか）

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は FE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として FE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の FE I～IV は、すべて前期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの FE I～IV は目的別クラスではありません。

プレイズメントテストについて

インターミディエイト・イングリッシュで受講する目的別クラスを決めるために、授業時間外にプレイズメントテストを実施します。プレイズメントテストを受験しない場合は、受講クラスの希望を受け付けられませんので注意してください。実施については、FE II の授業内および FU ポータルのお知らせで通知します。

●インターミディエイト・イングリッシュ I～IV（2・3年次生）

インターミディエイト・イングリッシュ（以下 IE）I～IV は、学部・学科により履修年次が異なりますので、各学科の年次別授業科目表で履修年次を確認してください。

IE は「目的別クラス選択制」を導入しています。開講クラスは下記のとおりで、プレイズメントテスト受験の際に選択した希望順位をもとに受講クラスが決定され、事前登録されています。IE I～IV すべて同じ種類の目的別クラスを受講します。

R&W：リーディング&ライティング

ESP：検定対策英語

C&O：CALL & オーラル・コミュニケーション

- ※1 人文学部東アジア地域言語学科は IE I・II のみが必修科目ですが、選択科目として IE III・IV を履修することができます。
- 2 医学部医学科の IE I～IV は、すべて1年次の後期科目です。
- 3 アスリート特別選抜および留学生クラスの IE I～IV は目的別クラスではありません。

●アドバンスト・イングリッシュ I・II（3年次生以上、L（LH, LJ）・S・Mを除く学部）

アドバンスト・イングリッシュ（以下 AE）は、I あるいは II のみの受講も可能です。必修科目ではありませんので、履修希望者は履修登録が必要です。なお、AE は TOEIC[®] Listening & Reading Test のスコアが500点以上相当の英語運用能力を有する学生を想定した授業内容となっていますので、500点に満たない場合は、単位の取得が困難となる場合がありますので、注意してください。

●再履修について (FE・IE)

FE と IE を再履修する場合は、再履修者用のクラスを受講するか、下位年次生が受講するレギュラークラス (目的別クラス) で受講するかを選択することができます。

再履修クラスを受講する場合

下記《再履修クラス登録方法》を参照のうえ、自分で履修登録をしてください。

前期卒業する場合

「FE II・IV」および「IE II・IV」は本来後期科目ですが、前期にも各1クラス開講しています。

これらの科目の履修が必要な場合、このクラスに履修登録しなければなりません。

登録人数には定員を設けており、先着順に受け付けますので、早めに履修登録してください。

【注意】上記4クラスの定期試験は二部(夜間部)の時間帯で実施しますので、履修登録時に試験日・時限を必ず確認してください。

※ 医学部医学科の学生(再履修者)は、医学部事務課の窓口で指示を受けてください。

《再履修クラス登録方法》

[1] 下表で、再履修しようとする科目の講義形態を確認してください。

学部によって受講できる講義形態が決まっていますので注意してください。

【英語再履修クラスの講義形態】

学部・学科	科目	講義形態	定期試験日程	講義日程
人文学部 法学部 経済学部 商学部 スポーツ科学部	FE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	p. 66 [2] へ
	FE II・IV	前期科目	定期試験期間中に 二部の時間帯 で実施。	
		後期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE I・III	前期科目	定期試験期間中に実施。	
	IE II・IV	前期科目	定期試験期間中に 二部の時間帯 で実施。	
後期科目		定期試験期間中に実施。		
理・工・薬学部 医学部看護学科	FE I～IV	夏季集中講義	夏季集中講義期間中に実施。	p. 67 [3] へ
	IE I～IV			

※ 工学部社会デザイン工学科の3年次以上で、キャリアデザインを登録する学生は「前期科目」または「後期科目」で受講してください。

[2] 下表で受講するクラスの期別・日程を確認してください。

【再履修クラス】

フレッシュマン・イングリッシュ (FE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
FE I	L J E C G	再①	前期	火	5	石 垣 恵 一
		再②		水	5	津 村 早 紀
		再③		金	4	伊 藤 益 代
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		井 石 哲 也
FE II	L J E C G	再①	後期	火	5	今 川 京 子
		再②		水	5	毛 利 優 花
		再③		金	4	一 瀬 陽 子
		再④	前期	火	5	平 野 あかり
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		毛 利 史 生
FE III	L J E C G	再①	前期	水	4	高 木 留 美
		再②		木	4	坂 井 隆
		再③		金	5	石 垣 恵 一
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		ク ロ ス
FE IV	L J E C G	再①	後期	水	4	福 原 俊 平
		再②		木	4	津 村 早 紀
		再③		金	5	久 保 佑 輔
		再④	前期	金	5	久 保 佑 輔
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		秋 好 礼 子

インターミディエイト・イングリッシュ (IE)

科目	学部 学科	組	期別	曜日	時 限	担 当 者
IE I	L J E C G	再①	前期	月	4	大 村 孝 紀
		再②		火	4	川 村 真 央
		再③		木	5	渡 部 智 也
		再④		金	4	大 津 敦 史
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		光 富 省 吾
IE II	L J E C G	再①	後期	月	4	園 田 暁 子
		再②		火	4	岩 崎 雅 之
		再③		木	5	秋 好 礼 子
		再④		金	5	船 田 佐 央 子
		再⑤	前期	月	5	福 田 慎 司
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		古 賀 恵 介
IE III	L J E C G	再①	前期	月	5	高 橋 美 知 子
		再②		火	4	田 中 悠 介
		再③		水	4	福 原 俊 平
		再④		木	4	船 田 佐 央 子
	S T M (M N) P	集中再	前期	集中		毛 利 史 生
IE IV	L J E C G	再①	後期	月	5	樋 渡 真 理 子
		再②		火	5	迫 由 紀 子
		再③		水	4	高 木 留 美
		再④		木	4	光 富 省 吾
		再⑤	前期	月	4	園 田 暁 子
	S T M (M N) P	集中再	後期	集中		福 原 俊 平

3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録から履修申請をしてください。半期完結の再履修クラスは1クラスあたりの登録人数に定員を設けていて、先着順に受け付けます。登録ができない場合は他の再履修クラスに履修申請してください。

[3] 夏季集中講義について

このクラスを受講できるのは、理・工・薬学部および医学部看護学科の学生のみです。それ以外の学部学生は受講できませんので注意してください。

【夏季集中講義日程】

期別	科目名	期 間	授業時間	試験日・時限
前期	FE I・III IE I・III	8月5日(月)～9日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	8月9日3限目 (13:00～14:00)
後期	FE II・IV IE II・IV	9月2日(月)～6日(金)	1時限～3時限 ただし最終日は 1時限～2時限	9月6日3限目 (13:00～14:00)

※ 授業時間 [1時限] 9:00～10:30 [2時限] 10:40～12:10 [3時限] 13:00～14:30

3月21日(木)からの履修登録期間中に「FUポータル」にログインし、Web履修登録の履修申請画面で「集中講義科目等を選択」から受講するクラスを選択し、履修申請してください。各クラスとも登録人数に定員はありませんが、前期と後期1科目ずつしか登録できませんので、**複数の再履修がある場合**、夏季集中講義に登録できない再履修科目は前期科目または後期科目の再履修クラスに履修登録してください。また、履修登録期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きすれば、希望する曜日・時限のレギュラークラスに登録することも可能です。

レギュラークラスで受講する場合

自学部の履修登録可能期間中に共通教育センター（文系センター棟1階）で手続きが必要です。登録できるクラス・人数に定員がありますので、早めに申し出てください。

また、休学等により、当該年次の英語が受講できなかった場合も、レギュラークラスを受講することができます。

- ※1 商学部第二部の学生（再履修者）がレギュラークラスへの登録を希望する場合は、商学部第二部事務課に相談してください。
- 2 再履修者のレギュラークラスへの登録方法については、共通教育センターのホームページ(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>)に詳しい説明を掲載しています。

TOEIC® L&R の成績による単位認定について

1. 本学入学後に受験した TOEIC® Listening & Reading Test (以下 TOEIC® L&R) の成績により、2024年度履修登録科目の中から下表の通り 4 単位を上限として認定を申請することができます。

認定授業科目 (単位)	TOEIC® L&R 成績	認定上限 単位数	成績標語 評価
フレッシュマン・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	860点以上	4 単位	秀(A) 90点
	730点～859点	3 単位	
インターメディアイト・イングリッシュ I～IV (各 1 単位)	600点～729点	2 単位	
	550点～599点	1 単位	

- ※ 1 単位認定科目は、申請時に履修登録されている上表の認定授業科目の中から認定上限単位数の範囲内で申請者が選択することができます。
- 2 上表の科目を再履修する場合でも単位認定を申請できますが、履修登録をしていなければ申請できませんので、注意してください。なお、再履修は下位年次から順次登録しなければなりません。
- 3 申請後、休学等により登録科目が取り消される場合、TOEIC® により認定された科目がそこに含まれる時は、認定も取り消されます。
- 4 TOEIC® L&R の成績により単位認定された授業科目は、特待生の選考にあたって考慮されません。また、GPA 評価の対象にもなりません。

2. 単位認定の申請受けは、下表の要領で 4 月と 9 月に行います。大学入学後に受験した TOEIC® L&R の成績により単位認定しますので 1 年次生は 4 月に申請することはできませんが、9 月に後期科目の単位認定を申請することができます。

申請期間	2024年 4 月 11 日 (木)～ 4 月 17 日 (水)	2024年 9 月 16 日 (月)～ 9 月 20 日 (金)
認定科目	2024年度前・後期登録科目の FE と IE	2024年度後期登録科目の FE と IE (再履修の夏季集中講義を除く)
受付場所	文系センター棟 1 階 共通教育センター (受付時間 月～金曜日の中の授業日 8:50～16:50)	
提出物	(1) TOEIC® L&R の成績による単位認定申請書 (2) 公開テストのデジタル公式認定証を印刷したものと URL または IP テストのスコアレポート (原本)	
対象となる成績	申請日から過去 1 年以内に取得した TOEIC® L&R の成績 (入学前に受験したものは不可)	

- ※ 1 一度単位認定申請に使用した TOEIC® L&R の成績は、申請科目数が認定上限単位数に満たない場合でも再度認定申請に使用することはできません。
- 2 TOEIC® L&R 単位認定に使えるのは、公開テストおよび対面で実施された IP テストの成績です。IP テストは本学内でキャリアセンターが実施しており、団体価格で受験できます。なお、IP テスト (オンライン) のテスト結果は単位認定には使用できません。
- 3 共通教育外国語科目は、後期開講科目の履修登録を変更することはできませんので、9 月に単位認定を申請できる科目は、前期開講前に履修登録した後期登録科目に限り (夏季集中講義については、9 月に単位認定を申請することはできません)。
- 4 商学部第二部の学生に限り、申請期間中の受付時間内に申請ができない場合は、商学部第二部事務課の窓口事務時間内に提出物を提出してください。後日共通教育センターより申請の可否について連絡します。なお、申請期間以外の申請は受け付けません。
- 5 デジタル公式認定証を利用する申請には、スマートフォン等モバイル端末を窓口を持参してください。

3. TOEIC® L&R の成績による単位認定を受けた者が、その後更に上位の成績を取得した場合には再度単位認定を申請することができます。ただし、認定上限単位数から既に認定を受けた単位数を差し引いた単位数までしか申請できません。

4. IE III・IV が 3 年次科目の場合 (理学部・工学部・スポーツ科学部) は、2 年次に 730 点以上の成績で IE I・II を認定申請する場合に限り、認定上限単位数内で 3 年次の IE III・IV も同時に認定申請することができます。その場合 IE III・IV は 3 年次に履修登録 (事前登録) したうえで単位認定しますので、IE III・IV の開講曜日・時限に別の科目を登録することはできません。また、3 年次に進級できなかった場合は、IE III・IV の申請は取り消されます。

5. TOEIC® L&R の成績による単位認定の詳細および申請用紙は共通教育センターのホームページに掲載しています。

【共通教育センターのホームページ】 <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu871/>

3 英語以外の外国語について

- 英語以外の外国語には、**1年次開講科目の「I A・I B」**（医学部看護学科は「I」のみ）と**2年次開講科目の「II A・II B」**があります。p. 62の「2024年度 外国語科目 学部・学科別開講一覧表」および以下の説明を参考に受講科目を決めて、履修申請してください。
- 商学部第二部の2023年度（23台）以前入学生については、夜間部で各外国語の「I」と「II」が開講されますが、夜間部での開講は2024年度が最後となりますので注意してください。
- 商学部第二部（23台以前）で開講される各外国語の「I・II」と医学部看護学科で開講される各外国語の「I」は、週1回授業が行われる通年科目です。
- クラス指定がある外国語で、指定のクラスに登録できない等英語以外の外国語の登録について不明な点があれば、当該学生の履修登録期間中の窓口が開いている時間に共通教育センター（文系センター棟1階）で相談してください。
- 制限科目登録日に履修登録が必要な科目はありません。**
所属する学部・学科の履修登録期間中に履修申請してください。なお、定員に達して履修申請を行うことができない場合は、他の外国語を履修申請してください。

(1) I A・I Bについて

- 各外国語の I A・I B は、**1年次に履修登録する場合は必ず両科目とも登録してください。片方だけの登録は認められません。**また、登録できるクラスは学科基本クラスにより指定されています。p. 114以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。
 - ※ 1 日本語は開講されているクラスが複数ある場合は、その中から登録するクラスを選択できます。ただし、I A・I Bは同じクラスの I A・I Bに登録しなければなりません。
 - 2 FUポータルで履修申請をする際に、I A・I Bのいずれか片方だけ選択して申請ボタンをクリックしても、エラーとなり登録できません。I A・I Bとも選択した状態で申請ボタンをクリックして登録してください。
- 英語以外の外国語科目は、同一外国語の I A（2単位）と I B（2単位）の計4単位を取得しなければ外国語科目として卒業要件単位に算入されません。なお、学部・学科によっては英語以外の外国語科目で2単位のみ取得した場合に自由履修単位として卒業要件に算入する場合があります。
- 英語以外の外国語科目は**通年科目**です。
 - ※ 人文学部ドイツ語学科の「ドイツ語 I A（前期）」・「ドイツ語 I B（後期）」、フランス語学科の「フランス語 I A（前期）」・「フランス語 I B（後期）」、東アジア地域言語学科の「中国語 I A（前期）」・「中国語 I B（後期）」と、「朝鮮語 I A（前期）」・「朝鮮語 I B（後期）」はそれぞれ週2回授業が行われ、前期または後期完結になります。

(2)ⅡA・ⅡBについて

○「ⅡA・ⅡB」は、人文学部東アジア地域言語学科の中国語・朝鮮語を除き、それぞれ週1回授業が行われる通年科目で、登録するクラスが指定されています。p.114以降の各外国語の「クラス別担当者一覧」を参照してください。

※1 理学部・工学部はⅡAまたはⅡBのいずれか一方しか登録できません。

2 ⅡA・ⅡBは、ⅠA・ⅠBの内容を修得していることを前提に授業が行われます。

○東アジア地域言語学科の中国語と朝鮮語は、ⅡA・ⅡBとも週2回授業が行われる前期または後期完結科目です。

○人文学部は、ⅠA・ⅠBを修得した外国語のⅡA・ⅡB両方の単位を修得しなければ第2外国語に関する卒業要件を満たすことができません。所属する学科の指定クラスで登録してください。ただし、時間割の都合上所属するクラスでの履修ができない場合は、他のクラスに登録できます（ただし同じクラスのⅡA・ⅡBに登録しなければなりません）。

※ ドイツ語のLGクラス、フランス語のLFクラス、中国語のLAクラス、朝鮮語のLAクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

○人文学部以外の学部は、ⅡA・ⅡBのどちらか1つだけ履修することも可能です。時間割の都合で所属する学部のクラスに登録できない、または、所属する学部クラスが開講されていない場合は、前項の※にあるクラス以外の人文学部のクラスに登録できます。

(3)再履修について

○再履修者は、各科目の所属する学部のクラスに登録することを原則としますが、時間割の都合上所属する学部のクラスに登録できない場合は、他の学部のクラスに登録できます（p.114～参照）。ただし、ⅠA・ⅠBまたはⅡA・ⅡBを同時に再履修する場合は、同じクラスのⅠA・ⅠBまたはⅡA・ⅡBに登録してください。

※ ドイツ語のLGクラス、フランス語のLFクラス、中国語のLAクラス、朝鮮語のLAクラスへの登録は、指定の学科に限られます。

学部留学生のための授業科目「日本語」について

学部留学生は、外国語科目（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「スペイン語」、「ロシア語」）のうち、自らの母語である言語を外国語科目として履修することができません。母語である言語が必修科目に指定されている場合は下記の「日本語」を履修し、所定の単位を修得することで、8単位を限度として当該外国語科目の単位を修得したものとして取り扱います。

また、上記外国語科目に母語が含まれない学部留学生が「日本語」を履修し単位を修得した場合は、その単位を第2外国語の単位として取り扱います。

1年次 日本語ⅠA（通年2単位）、日本語ⅠB（通年2単位）

2年次 日本語ⅡA（通年2単位）、日本語ⅡB（通年2単位）

5 単位互換科目について

福岡市の西部地区に位置する五大学（九州大学、中村学園大学、西南学院大学、福岡歯科大学および本学）連携事業の一環として、各大学の授業を相互に開放し、単位を認定する「単位互換制度」を実施しています。これは、他大学のキャンパスで、他大学の開講科目を受講できる制度となっています。この制度に則った他大学の受講科目を「単位互換科目」と言います。

出願資格は、2年次生以上となっています。また、学部によって単位の認定についての詳細が異なりますので、履修希望者は、FUポータルあるいは窓口で配布する履修者募集要項を確認してください。詳しくは、3月中旬にFUポータルに掲示します。

※学修ガイド「福岡大学における単位互換等の取扱いに関する規程」(p. 259～261)を参照。

6 試験について

定期試験を実施しない授業科目

下記科目については、定期試験期間中に試験は実施しません。

各科目の成績評価方法については、シラバスで必ず確認したうえで履修申請を行ってください。

(1) 総合教養科目

- ①「教養ゼミ」の科目（※p. 53～54の表4を参照）
- ②化学実験・物理学実験・生物学実験
- ③データサイエンス・AI入門
- ④下表の科目

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
1	図形情報	奈尾 信英	後期	木	4
2	哲学A	大西 克智	前期	木	2
3	哲学A	大西 克智	前期	木	3
4	哲学B	大西 克智	後期	木	2
5	哲学B	大西 克智	後期	木	3
6	論理学A	林 誓雄	前期	火	4
7	論理学A	林 誓雄	前期	水	2
8	論理学A	林 誓雄	前期	金	3
9	論理学A	林 誓雄	前期	金	2
10	論理学B	林 誓雄	後期	火	4
11	論理学B	林 誓雄	後期	水	2
12	論理学B	林 誓雄	後期	金	3
13	論理学B	林 誓雄	後期	金	2
14	宗教学B	飯嶋 秀治	後期	木	1
15	日本史通論A	久保 知里	前期	月	4
16	日本史通論B	久保 知里	後期	月	4
17	外国史通論A	森 丈夫	前期	水	5
18	外国史通論B	森 丈夫	後期	水	5
19	人文地理学	近藤 祐磨	後期	火	1
20	アジアの文学A	間 ふさ子	前期	金	1
21	アジアの文学A	何 憶鶴	前期	水	1
22	アジアの文学B	何 憶鶴	後期	水	1
23	経済学A	楊 光洙	前期	火	4
24	経済学A	楊 光洙	前期	火	5

No.	科 目 名	担当者	開講期別	曜日	時限
25	経済学B	楊 光洙	後期	火	4
26	経済学B	楊 光洙	後期	火	5
27	教育論A	中世古貴彦	前期	火	4
28	教育論B	中世古貴彦	後期	木	4
29	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	2
30	地理学A	近藤 祐磨	前期	金	4
31	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	3
32	地理学B	近藤 祐磨	後期	金	5
33	心理学A	大上 渉	前期	火	3
34	心理学A	大上 渉	前期	火	4
35	心理学B	大上 渉	後期	火	3
36	心理学B	大上 渉	後期	火	4
37	法律学概論	畑中 久彌	後期	金	5
38	地誌学	近藤 祐磨	前期	月	二部2
39	福岡大学で考える現代社会	岩山 隆寛	前期	木	5
40	福岡大学で考える現代社会 文系	熊丸 憲男	後期	火	4
41	福岡大学で考える現代社会 理系	熊丸 憲男	後期	火	4
42	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	2
43	福岡大学で考える現代社会	鈴木 学	後期	火	3
44	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	前期	金	2
45	福岡大学で考える現代社会	須長 一幸	後期	月	5
46	福岡大学で考える現代社会	橋場 論	前期	水	5
47	福岡大学で考える現代社会	安井 英俊	前期	火	4
48	福岡大学で考える現代社会	安元 佐和	前期	木	5
49	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	1
50	福大生のためのキャリアデザイン	植上 一希	前期	火	2
51	アカデミックスキルズゼミⅠ	紺田 広明	前期	火	5
52	アカデミックスキルズゼミⅠ	道山 治延	前期	木	1
53	アカデミックスキルズゼミⅡ	吉田 秀幸	後期	木	1
54	アカデミックスキルズゼミⅡ	鈴木 学	後期	火	5
55	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	前期	火	3
56	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	平田 暢	後期	木	2

(2) 保健体育科目


生涯スポーツ演習Ⅰ 生涯スポーツ演習Ⅱ
生涯スポーツ演習Ⅲ 生涯スポーツ演習Ⅳ 生涯スポーツ論

(3) 課程科目

課程科目のうち定期試験を実施しない授業科目についての留意事項は、別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

(4) 外国語科目

- ①英語科目 (FEⅢ・ⅣのIAクラス、IEⅠ～ⅣのC&Oクラス、左記以外で授業シラバスの試験実施欄に「無し」と記載されているクラス)
- ②ドイツ語科目 (※LGクラスを除く ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語ⅠA・ⅠB、ドイツ語ⅡA・ⅡB)
- ③フランス語科目 (※LFクラスを除く フランス語Ⅰ・Ⅱ、フランス語ⅠA・ⅠB、フランス語ⅡA・ⅡB)
- ④中国語科目 (※LAクラスを除く 中国語Ⅰ・Ⅱ、中国語ⅠA・ⅠB、中国語ⅡA・ⅡB)
- ⑤スペイン語科目 (スペイン語Ⅰ、スペイン語ⅠA・ⅠB、スペイン語ⅡA・ⅡB)

 上記の「定期試験を実施しない授業科目」については、追試験・再試験を実施しません。

各学部留意事項

法学部

1 登録制限単位数（上限）について

《1年間に登録できる単位数》

年次	2024年度以前入学生 (24台以前)
1年次	40単位
2年次	※40単位
3年次	※40単位
4年次以上	※48単位

※ただし、条件があるので「学修ガイド（学科履修規程第5条第2項）」を参照のこと。また、23・22台（2・3年次）学生は、以下の事項を参照し登録すること。

(1)23台（2年次）学生の登録上限単位数について

1年次の取得単位数を下記の表で照合し、2年次に登録出来る単位数を算出すること。

1年次の取得単位数は、 単位です。
(※1年次成績通知書参照)

1年次の取得単位数	36以下	37	38	39	40
2年次に登録出来る単位数	44	43	42	41	40

(2)22台（3年次）学生の登録上限単位数について

1・2年次合計取得単位数を下記の表で照合し、3年次に登録出来る単位数を算出すること。

1・2年次合計取得単位数は、 単位です。
(※2年次成績通知書参照)

1・2年次合計取得単位数	72以下	73	74	75	76	77	78	79	80
3年次に登録出来る単位数	48	47	46	45	44	43	42	41	40

※4年生が学年始めにおいて、休学等により在学期間が2.5年になる場合、前年度までの取得単位数と当該年度の登録単位数の総計が120単位を超えて履修することを希望する学生は、教務二課（法学部担当）まで申し出ること。

(3)21台以前（4年次）学生の履修登録単位数について

4年次生の履修登録単位数については、当該年度の履修登録により卒業見込になる学生は、卒業要件を満たすよう履修登録を行うことはもちろんのこと、本学部が設置する専門教育科目、共通教育科目、関連教育科目を履修することにより、多くの法律専門知識や教養等を身につけることに努め、登録上限単位数（48単位）に限りなく近づきよう登録することが望ましい。

当該年度の履修登録により卒業見込にならない学生は、当然ながら登録上限単位数（48単位）を登録すること。

なお、4年次学生の履修登録単位数が一定単位数（既修得単位数と登録単位数の合計が132単位以上、または年間登録上限単位数の48単位）に満たない場合、呼び出しを行うことがある。

また、履修登録期間には、後期開講科目を含めた全ての科目を登録しておくこと。後期開講科目の登録変更期間では、科目を追加・変更する修正登録にとどめること。

2 試験について

(1) 定期試験期間中に試験を実施しない科目

下記の科目については、定期試験期間中には試験を実施しない。

各科目の成績評価基準及び方法については『Web シラバス（法学部）』で必ず確認すること。授業には常に出席し、掲示等に注意すること。

また、下記の「定期試験期間中に試験を実施しない科目」については、**再試験を実施しない**。

○定期試験期間中に試験を実施しない科目

学部学科	年次	授 業 科 目	備 考
①	1	法学部入門ゼミ	
①	1	アメリカ法セミナー I	
J J	1	基礎ゼミ	
J B	1	パワーアップゼミ	
J B	1	国際コミュニケーション・法政事情 I	
J B	1	国際コミュニケーション・法政事情 II	
J B	1	国際コミュニケーション海外研修	
①	2	民法特講 I	
①	2	演習 I	
①	2	キャリアプランニング	
①	2	アジア法セミナー I	
①	2	ドイツ法セミナー I	
①	2	フランス法セミナー I	
①	2	アメリカ法セミナー II	
J J	2	刑事法特講 I	
J B	2	E U 法	
J B	2	海外法政事情 I	20台以降
J B	2	海外法政事情 II	20台以降
J B	2	海外法政研修	20台以降
J B	2	アメリカ法政事情	19台以前
J B	2	アメリカ海外研修	19台以前
J B	2	E U 法政事情	19台以前
J B	2	E U 海外研修	19台以前
J B	2	アジア法政事情	19台以前
J B	2	アジア海外研修	19台以前
①	3	演習 II	
①	3・4	民法特講 II	
①	3・4	民法特講 III	

学部学科	年次	授 業 科 目	備 考
①	3・4	演習Ⅱ a	
①	3・4	演習Ⅱ b	
①	3・4	近代日本法史	18台以降
①	3・4	アジア法セミナーⅡ	
①	3・4	ドイツ法セミナーⅡ	
①	3・4	フランス法セミナーⅡ	
①	3・4	アメリカ法セミナーⅢ	
①	3・4	債権総論	19台以前
J J	3・4	憲法特講	
J J	3・4	刑事法特講Ⅱ	
J J	3・4	行政特別演習Ⅰ	
J J	3・4	行政特別演習Ⅱ	
J J	3・4	九州地域政策	
J J	3・4	社会福祉概論	
J J	3・4	地域福祉論	
J J	3・4	政策特別演習Ⅰ	
J J	3・4	政策特別演習Ⅱ	
J J	3・4	法医学	
J B	3・4	インターンシップ	
J B	3・4	企業法務特別演習	
①	4	演習Ⅲ	
①	4	大学院連携特別演習Ⅰ	
①	4	大学院連携特別演習Ⅱ	
①	4	卒業論文	

関連教育科目

学部学科	年次	授 業 科 目	備 考
①	1	ベンチャー起業論A	19台以前
①	1	ベンチャー起業論B	19台以前
①	1	ベンチャー起業論C	19台以前
①	1	ベンチャー起業論D	19台以前
①	1	産業戦略論A	19台以前
①	1	産業戦略論B	19台以前
①	1	産業戦略論C	19台以前
①	1	産業戦略論D	19台以前
①	2	社会調査入門	
①	2	経済循環論	22台以前
①	2	特別演習Ⅰ	
①	2	インターンシップA	16台
①	2	インターンシップB	16台
①	3・4	産業ケーススタディA	19台以前
①	3・4	産業ケーススタディB	19台以前
①	3・4	産業ケーススタディC	19台以前
①	3・4	産業ケーススタディD	19台以前
①	3・4	特別演習Ⅱ	

(2)集中講義科目の試験

集中講義科目の試験は、**集中講義期間中（試験日時等は後日掲示）**に実施する。

講義日程は、『2024年度法学部授業時間割』の左表を確認し、**講義期間の重複がないよう履修すること。**

学部学科	年次	授業科目	期別	単位	担当者
J J	3・4	児童福祉論	後期集中	2	川久保 寛

※この科目は遠隔授業科目だが、**試験のみ対面**で実施するため、注意すること。

3 コース制について

法学部では2年次からコース制が始まる。コースを決定するにあたっては、「法学部カリキュラム・ツリー」(p.102～104参照)および「専門教育履修モデル」(p.105～110参照)や「年次別授業科目表」(p.158～191参照)を参考にして、選択するコースを決定し登録すること。詳細については以下を参照すること。

(1)コース登録の時期：1年次終了時

(2)コース登録・申請期間：令和6年3月14日（木）12：00（正午）～
令和6年3月22日（金）12：00（正午）まで【締切日時厳守】

(3)登録方法等

- ・上記申請期間に Web 履修登録の「コース申請」で希望するコースを申請すること (p.78～79参照)。
- ・各コースに登録定員はなく、「コース申請」で申請したコースが、各自のコースとして登録される。
- ・コースの確認は、「授業科目確認表」または「時間割表（教室割）」（「履修登録の手引」p.22～26参照）で確認し、登録したコースと異なるときは教務二課（法学部担当）に申し出ること。
- ・休学等の理由により3年次以降にコースが決定していない学生は、教務二課（法学部担当）まで申し出ること。

(4)コース変更

2年次後期試験期間頃の一定期間を定め、この期間内において1回のみ認める。（詳細な変更手続きについては1月頃掲示予定）

(5)コース概要 【24～20台】

学 科	コース名	概 要
法 律 学 科	法律総合コース	いわゆる六法科目をコア科目として、法律を幅広く総合的に学習することにより、一般企業への就職、大学院進学（法科大学院、法学系大学院など）、法律系資格の取得等を志望する学生を対象に、基礎的な法知識と法的思考力を有し、主に企業や地域社会において活躍できる人材、または法曹、研究者として活躍できる人材を育成するコースです。
	公共法務コース	憲法、行政法、国際法をコア科目として、公法科目を中心に学習することにより、公務員、外交官、公共団体職員等を志望する学生を対象に、公法・行政に関する知識と法的思考力を有し、主に公共部門、国際関係で活躍できる人材を育成するコースです。
	総合政策コース	政治学をコア科目として、政策系・福祉系科目を中心に学習することにより、公務員、政策スタッフ、社会福祉団体職員、NPO、マスコミ等を志望する学生を対象に、政策・福祉・地域・都市・環境に関する知識と政策的思考力を有し、主に政治、地域社会のリーダーとして活躍できる人材、またはメディア、福祉方面で活躍できる人材を育成するコースです。
経営法学科	企業法コース	会社法などの企業法および知的財産法、経済法、税法などの企業関連法をコア科目として学習し、企業法務に精通したビジネスパーソン、経営者、起業家などを目指す人のためのコースです。
	国際コース	国際関係法、外国法・外国政治および海外研修科目をコア科目として学習し、貿易・国際取引、旅行・観光業、国際機関などで活躍したい人のためのコースです。

コース概要 【19～16台】

学 科	コース名	概 要
法 律 学 科	法律総合コース	いわゆる六法科目をコア科目として、法律を幅広く総合的に学習することにより、一般企業への就職、大学院進学（法科大学院、法学系大学院など）、法律系資格の取得等を志望する学生を対象に、基礎的な法知識と法的思考力を有し、主に企業や地域社会において活躍できる人材、または法曹、研究者として活躍できる人材を育成するコースです。
	公共法務コース	憲法、行政法、国際法をコア科目として、公法科目を中心に学習することにより、公務員、外交官、公共団体職員等を志望する学生を対象に、公法・行政に関する知識と法的思考力を有し、主に公共部門、国際関係で活躍できる人材を育成するコースです。
	総合政策コース	政治学をコア科目として、政策系・福祉系科目を中心に学習することにより、公務員、政策スタッフ、社会福祉団体職員、NPO、マスコミ等を志望する学生を対象に、政策・福祉・地域・都市・環境に関する知識と政策的思考力を有し、主に政治、地域社会のリーダーとして活躍できる人材、またはメディア、福祉方面で活躍できる人材を育成するコースです。
経営法学科	ビジネスマネジメントコース	企業に関する法律科目をコア科目として、それに関連する法理論および実務上の取り扱い等を含め多面的に法律を学ぶことにより、会社を興したい（起業）、自営業を継ぎたい等、将来、会社の経営を担うことを志す学生を育成するコースです。
	インターナショナルスタディコース	国際関係分野の科目をコア科目として、それに関連する実践的な科目を学ぶことにより、法的思考力と国際的な実践感覚を高め、貿易関係、外資系企業等で活躍することを目指す学生を育成するコースです。

(6)23台 (新2年次) 学生のコース登録について

申請方法：Web 履修登録の「コース申請」で行う。

〔コースの申請方法〕

Web 履修登録メニューの「コース申請」をクリックします。

履修登録

Web履修登録

⇒Web履修登録

成績発表時アンケート
(成績発表時、アンケートに未回答の場合は、履修申請の前に必ずアンケートの回答をお願いします。)

- ▶ **コース申請**
- ▶ 履修申請
- ▶ 授業科目確認表作成
- ▶ 時間割表(教室割)照会
- ▶ 履修の手引き(動画版)
- ▶ 履修の手引き(テキスト版)

履修・学生・コース申請>コース申請

学部・学科	法学部 経営法学科	発表期間	2024/04/02 00:00~ 2024/04/30 00:00
学籍番号	JB232999		
氏名	福大 華子		
第一希望コース	企業法コース		

登録 取消

▼ のプルダウンメニューをクリックして表示されたコースの一覧から選択できます。選択後、「登録」ボタンをクリックすると次の確認画面が表示されます。

履修・学生・コース申請>コース申請

以下の内容でコース申請してもよろしいですか？

よろしければ[更新]ボタンを、入力画面に戻る場合は[戻る]ボタンを押してください。

学部・学科	法学部 経営法学科	発表期間	2024/04/02 00:00~ 2024/04/30 00:00
学籍番号	JB232999		
氏名	福大 華子		
第一希望コース	企業法コース		

更新 戻る

申請内容を確定する場合

「更新」ボタンをクリックすると申請内容が登録されます。登録が完了するともとの画面に戻ります。

申請内容を確定せず戻る場合

「戻る」ボタンをクリックすると初期画面に戻ります。

※確認画面で「更新」ボタンをクリックしないと申請は完了しません。

その他の画面説明

① コース申請期間外は、コース申請はできません。次の画面が表示されます。

履修・学生・コース申請	
コース申請確認	
コース申請期間外です。	
学部・学科	法学部 経営法学科
学籍番号	JB232999
氏名	福大 華子
第一希望コース	企業法コース

② コース発表期間中は確定したコースを確認できます。次の画面が表示されます。

履修・学生・コース申請	
コース申請確認	
コース確定済です。	
学部・学科	法学部 経営法学科
学籍番号	JB232999
氏名	福大 華子
第一希望コース	企業法コース
確定コース	企業法コース

申請期間：令和6年3月14日（木）12：00（正午）～
令和6年3月22日（金）12：00（正午）まで
※必ずこの期間に「コース申請」を行うこと。

4 法律特修プログラムについて

法律学科

法律特修プログラムは、法曹、研究者、公務員、法律系資格の取得等を目指す意欲ある成績優秀な学生を対象に、少人数かつ双方向型の授業科目を提供することにより、法科大学院及び法学系大学院への進学、公務員試験、法律系資格試験等に対応できる法的知識を身に付けること、かつ、社会に生起する諸問題を解決できる法的思考力を有する人材を養成することを目的としたプログラムである。一般クラスと法曹クラスがある。

プログラムの履修を希望する者は、在学1年目終了時又は在学2年目終了時の所定の期間内に「プログラム履修願」を提出すること。プログラム履修者は、法学部教授会が選考を行い、決定される。プログラムを修了した者には、法学部長がプログラムの修了証を授与する。（「法学部法律学科の法律特修プログラムに関する内規【令和2年度以降入学生適用】」p. 253～254参照）

5 企業法務特修プログラムについて

経営法学科

企業法務特修プログラムは、意欲ある成績優秀な学生を対象に、少人数かつ双方向型の授業科目を提供するとともに、企業法及び隣接法分野に関する授業科目の体系的な履修を促すことにより、企業法務に必要な知識及び法的思考力を身に付けること、かつ、産業界のリーダーとなる人材を養成することを目的としたプログラムである。

プログラムの履修を希望する者は、在学1年目終了時又は在学2年目終了時の所定の期間内に「プログラム履修願」を提出すること。プログラム履修者は、法学部教授会が選考を行い、決定される。プログラムを修了した者には、法学部長がプログラムの修了証を授与する。（「法学部経営法学科の企業法務特修プログラムに関する内規【令和2年度以降入学生適用】」p. 256参照）

6 履修登録の撤回および後期開講科目の登録変更について

学科履修規程第9条第2項について、専門教育科目（関連教育科目を含む。）を以下のように取り扱うこととする。

- (1) 法学部が開設する専門教育科目の登録制限科目のうち、登録者数が300人以上になることが予想されるため、登録人数の上限を270人以上とする抽選科目については、履修登録の撤回および後期登録変更を認める。また、登録人数に余裕があるときに、後期の追加登録を認める場合がある。
- (2) 上記の(1)の科目を除く法学部が開設する専門教育科目の登録制限科目については、履修登録の撤回および後期登録変更は認めない。ただし、登録人数に余裕があるときに、後期の追加登録を認める場合がある。
- (3) 関連教育科目における登録制限科目の履修登録の撤回および後期登録変更は、開設学部の取り扱いに準ずることとする。
- (4) 登録上限数を設定していない後期開設の専門教育科目および関連教育科目が、各学部が定める登録上限数を超えた場合、後期登録変更を取り止めることがある。ただし、削除は可能とする。

7 登録制限科目について

(1)法学部 1 年次少人数科目

下記の科目は、講義の教育効果を高めるために登録者数を制限するので、履修を希望する者は申し込みに注意すること。

「法学部入門ゼミ」「基礎ゼミ」「パワーアップゼミ」「アメリカ法セミナーⅠ」「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ」「国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ」「国際コミュニケーション海外研修」（1年次生対象）

詳細は、ガイダンス資料として配信しているパンフレット『1年次少人数科目講義要目及び募集要項』を参照すること。

(2)法学部 2 年次以上少人数科目

「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅱa」「演習Ⅱb」「演習Ⅲ」「卒業論文」（①対象）

「政策特別演習Ⅰ」「政策特別演習Ⅱ」（J J 対象）

「行政特別演習Ⅰ」「行政特別演習Ⅱ」（18台以前は J J のみ対象）

「企業法務特別演習」（20台以前は J B のみ対象）

「大学院連携特別演習Ⅰ」「大学院連携特別演習Ⅱ」（①対象）

「アジア法セミナーⅠ」「アジア法セミナーⅡ」「アメリカ法セミナーⅡ」（①対象）

「民法特講Ⅰ」「民法特講Ⅱ」「民法特講Ⅲ」「刑事法特講Ⅰ」「刑事法特講Ⅱ」「憲法特講」（①対象）

「アジア法セミナーⅠ（アジア太平洋法政事情）」（①23・22台対象）

詳細は、先のガイダンス資料として配信しているパンフレット『講義要目及び募集要項』を参照すること。

(3)インターンシップ

「インターンシップ」（J B 3・4年次生対象）

詳細は、先のガイダンス資料として配信しているパンフレット『講義要目及び募集要項』を参照すること。

(4)Webで抽選を行う法学部開設科目

下記の科目は「法学部オリジナル抽選※5」により、Webで抽選を行い、登録を決定する。「履修申請」（Web）の「制限科目の申請」で申し込み、結果発表後、当否を確認すること（「履修登録の手引」p.12～13参照）。

【1年次生（24台）】

No.	学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	申込期間・結果発表	選考方法
1	①1	政治学入門(J J 6-10、J B)	前期	櫛田	300※1	申込期間 4月3日(水) 9:00~16:00 結果発表 4月3日(水) 17:30	Web抽選 (法学部 オリジナル抽選 ※5)
2	①1	特別講義A(スポーツと法)	前期	山下(慎)	300※1		
3	J J 1	公共政策概論	後期	菅原	300※1		

IV. 履修の手引

【2年次生以上（23台以前）】

☆登録人数の上限を270人以上とする抽選科目

No.	学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	申込期間・結果発表	選考方法
1	①1	政治学入門(J J 6-10、J B)	前期	櫛田	300※1	申込期間 3月21日(木) 9:00) 3月23日(土) 10:00 結果発表 3月25日(月) 9:00	Web抽選 (法学部 オリジナル抽選 ※5)
2	①1	特別講義A(スポーツと法)(23台以降)	前期	山下(慎)	300※1		
3	J J 1	公 共 政 策 概 論	後期	菅原	300※1		
4	①2	政治学原論(J J 6-10、J B)	前期	廣澤	270		
5	①2	国 際 関 係 論	後期	松山	270		
6	①2	国 際 法 総 論	前期	萩原	270		
7	①2	特別講義B(SDGsと法)(23台)	後期	萩原	300		
8	①2	消費者法(J J 9-10、J B)	後期	大橋	300		
9	J J 2	消 費 者 法 (J J 1 - 8)	後期	大橋	300		
10	J J 2	政 策 過 程 論	前期	菅原	300		
11	J J 2	憲 法 Ⅲ	前期	武居	300		
12	J J 2	マクロ経済学概論	後期	戸田	300		
13	(J J 2)	経済原論(19台以前)	通年	戸田			
14	J J 2	経 済 法 (J J 6 - 10)	後期	屋宮	300		
15	J J 2	刑法I(J J 1-5、「刑事法特講I」受講者)	前期	石川	300		
16	J B 2	刑 法 I (J B)	後期	石川	270		
17	J B 2	ベンチャー起業と法	後期	平澤	270		
18	J B 2	ア ジ ア 法	前期	李(黎)	270		
19	①3・4	税 法 I A	前期	芳賀	270		
20	(①3・4)	税法I(19台以前)	通年	芳賀			
21	①3・4	税 法 I B	後期	芳賀	270		
22	(①3・4)	税法I(19台以前)	通年	芳賀			
23	①3・4	税 法 II A	前期	芳賀	270		
24	(①3・4)	税法II(19台以前)	通年	芳賀			
25	①3・4	税 法 II B	後期	芳賀	270		
26	(①3・4)	税法II(19台以前)	通年	芳賀			
27	①3・4	不 動 産 登 記 法	前期	伊藤	300		
28	①3・4	商 業 登 記 法	後期	伊藤	300		
29	①3・4	国 際 法 各 論	前期	松山	300		
30	①3・4	近 代 日 本 法 史	後期	畑中	300		
31	①3・4	社 会 保 障 法	後期	山下(慎)	270		
32	①3・4	知 的 財 産 法	前期	平澤	270		
33	①3・4	特別講義(ジェンダーと法)(22台以前)	後期	村林	300		
34	J J 3・4	政 策 評 価 論	後期	菅原	300		
35	J J 3・4	情 報 法	後期	城野	300		
36	J J 3・4	都 市 政 策	前期	菅原	300		
37	J J 3・4	法 医 学	後期	石川他	300		
38	J B 3・4	国 際 税 法	後期	芳賀	300		

☆登録人数の上限を270人未満とする抽選科目

No.	学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	申込期間・結果発表	選考方法		
1	J B 1	企業法入門(※2)	後期	岡田	60	申込期間 3月21日(木) 9:00) 3月23日(土) 10:00 結果発表 3月25日(月) 9:00	Web抽選 (法学部 オリジナル 抽選 ※5)		
2	J B 1	国際関係学入門	後期	萩原	60				
3	①2	情報処理論A	※3	前期	50				
4	(①2)	情報処理論(18台以前)		通年					
5	①2	情報処理論B	※3	後期	50				
6	(①2)	情報処理論(18台以前)		通年					
7	①2	情報処理論A	※3	前期	44				
8	(①2)	情報処理論(18台以前)		通年					
9	①2	情報処理論B	※3	後期	44				
10	(①2)	情報処理論(18台以前)		通年					
11	①2	キャリアプランニング	後期	佐々木他	150				
12	J J 3・4	九州地域政策	後期	佐々木他	70				

※1 同一科目では、1年次(24台)と2年次以上(23台以前)を合わせて登録定員300とする。

※2 19台以前入学生は「企業実務と法」に振替。

※3 自己所有のノートパソコンを持参できる学生に限る。(パソコンのOS環境等についてはシラバス参照)

※4 教職課程において、先述の科目の修得が必修である免許状があるので、教職課程履修者は教職課程の「履修の手引」を参照のうえ、必ず申し込むこと。

※5 「法学部オリジナル抽選」

法学部オリジナル抽選は、次の表1・2の優先順位に従い抽選する。優先順位が同一のときは、各学生における「選択必修科目」>「自コース科目」>「他コース科目・選択科目」の科目区分順に抽選する。優先順位(科目区分を含む)内に、登録者上限を超える履修希望者がいる場合は、ランダム抽選で行う。

(表1) 法学部専門教育科目の優先順位

	学部・学科	配当年次	履修学年・所属学科							
			1年次		2年次		3年次		4年次	
			J J	J B	J J	J B	J J	J B	J J	J B
〔1〕	① 科目	1	1	1	2	2	3	3	3	3
		2	-	-	1	1	2	2	2	2
		3・4	-	-	-	-	1	1	2	2
〔2〕	J J 科目	1	1	-	2	-	3	-	3	-
		2	-	-	1	-	2	-	2	-
		3・4	-	-	-	-	1	-	2	-
〔3〕	J B 科目	1	-	1	-	2	-	3	-	3
		2	-	-	-	1	-	2	-	2
		3・4	-	-	-	-	-	1	-	2

表1の〔2〕〔3〕における他学科開設科目(10 卒業要件単位算入についてp.86~90参照)となる科目については、表1による抽選の後、表2の優先順位で抽選する。

(表2) 法学部専門教育科目(他学科開設科目)の優先順位

配当年次	履修学年			
	1年次	2年次	3年次	4年次
1	1	2	3	3
2	-	1	2	2
3・4	-	-	1	2

追加募集: 定員に満たない場合は、24台の学生は4月4日(木)20:00から、23台以前の学生は3月25日(月)9:00から先着順で追加募集を認める場合があるので、「履修申請」(Web)で登録すること。

なお、法学部オリジナル抽選について、質問がある場合は、教務二課(法学部担当)まで申し出ること。

IV. 履修の手引

(5)登録者数に制限を行う人文学部開設科目（専門教育科目・選択）

下記の4科目は一部の教職免許状において必須の科目である。先着順のため履修希望者は早めに登録をすること。

なお、制限科目登録期間内に定員を満たした場合は、教職希望者のみ履修を認めることがあるので教職課程教育センターまで相談すること。

学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	受付開始時間	受付終了時間	発表日・発表開始時間	種別 (抽選・先着)
①2 (19台以降)	概説哲学	後期	広川	170	3月21日(木) 10:00	3月23日(土) 23:59		先着
	概説社会学	前期	森(康)	170				
	概説日本史	前期	久保	170				
	概説外国史	後期	森(丈)/山根	170				

開設学部である人文学部の取り決めにより、上記の科目については、以下のとおり取り扱うこととする。

- ・受付終了時点で申込者数が定員数を満たしていない科目は、3月25日(月)9:00～先着順で追加募集を行う。
- ・履修登録の撤回および後期登録変更は認めない。ただし、追加募集で登録した科目は、後期登録変更を認める。

(6)Webで抽選を行う経済学部開設科目（関連教育科目）

下記の科目はWebで抽選を行い、登録を決定する。「履修申請」(Web)の「制限科目の申請」で申し込み、結果発表後、当否を確認すること（「履修登録の手引」p.12～13参照）。

【1年次生（24台）】

学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	申込期間	結果発表	選考方法
①1	日本経済論A	前期	玉田	5	4月3日(水) 9:00～14:00	4月3日(水) 18:00	Web抽選 (ランダム抽選)
①1	日本経済論B	後期		5			

【2年次生以上（23台以前）】

学部・学科・年次	授業科目	期別	担当者	登録定員	申込期間	結果発表	選考方法
①1	ベンチャー起業論A(19台以前)※1	前期	岡他	5	3月21日(木)9:00～ 3月22日(金)12:00	3月23日(土) 17:00	Web抽選 (ランダム抽選)
①1	ベンチャー起業論B(19台以前)※1	後期		5			
①1	産業戦略論A(19台以前)※1	前期	岡	5			
①1	産業戦略論B(19台以前)※1	後期		5			
①2	特別演習I	前期	五十嵐	50	3月21日(木)11:00～ 3月22日(金)12:00		
①3・4	産業ケーススタディA(19台以前)※1	前期	木下	5			
①3・4	産業ケーススタディB(19台以前)※1	後期		5			
①3・4	特別演習II	後期	五十嵐	25	3月21日(木)12:00～ 3月22日(金)12:00		
①1	日本経済論A	前期	玉田	5			
①1	日本経済論B	後期		5			
①2	経済学史A	前期	山崎	5	3月21日(木) 13:00～ 3月22日(金) 12:00		
①2	経済学史B	後期		5			
①2	財政学	前期	山下(耕)	5			
①2	国際経済学	後期	井手	5			
①2	金融論	後期	野澤	5			
①3・4	金融市場論	前期	有岡	5			
J B 3・4	西洋経済史(18台以前)	後期	西村	5			

開設学部である経済学部の取り決めにより、上記の科目については、以下のとおり取り扱うこととする。

- ・定員に満たない場合であっても、追加募集は行わない。
- ・履修登録の撤回および後期登録変更を認める。ただし、「特別演習I」「特別演習II」については、この限りではない。

※1 ベンチャー起業論関連の科目履修説明会

3月15日(金)13時～15時に8号館の833教室で開催する説明会に参加すること。

(7)Webで抽選を行う商学部開設科目（関連教育科目）

下記の科目は Web で抽選を行い、登録を決定する。「履修申請」(Web) の「制限科目の申請」で申し込み、結果発表後、当否を確認すること（「履修登録の手引」 p.12～13参照）。

【1年次生（24台）】

学部・学科・年次	授業科目	担当者	期別	登録定員	登録受付日時	選考結果発表	選考方法
①1	経営入門	中川	前期	100	4月3日(水) 9:00~12:00	4月3日(水) 17:00	抽選
①1	経営学総論	猿田	後期	100			

【2年次生以上（23台以前）】

学部・学科・年次	授業科目	担当者	期別	登録定員	登録受付日時	選考結果発表	選考方法
①1	経営入門	中川	前期	200	3月21日(木) 11:00~ 3月22日(金) 13:00	3月23日(土) 12:00	抽選
①1	経営学総論	猿田	後期	200			
①2	保険論入門	植村	前期	200			
①2	保険論		前期	300			
①(2)	経営心理学	門田	前期	250			
①2	マーケティングリサーチ	杉本	後期	45			
①2	消費者行動論	太宰	前期	180			
①2	マーケティング論	村上	後期	300			
①2	マーケティング戦略論		前期	300			
①2	金融論	中塚	前期	300			
①2	金融政策論		後期	300			
①2	税と生活	高橋	前期	300			
①2	財務会計論	渡辺(剛)	後期	300			
J J 2	生活保障論	伊藤	後期	300			
J J 2	リスクマネジメント論	植村	後期	300			
J J (2)	経営戦略論	合力	前期	250			
J J 2	企業戦略論		後期	300			
J J 2	証券市場論	田中	前期	300			
J J 2	証券と金融		後期	300			
J J 2	企業論	真木	後期	300			
J J (2)	企業行動論						
J B 2	アメリカ経済論 I	掛下	前期	300			
J B 2	アメリカ経済論 II		後期	300			
J B 2	貿易商務論 A	田代	前期	300			
J B 2	貿易商務論 B		後期	300			

開設学部である商学部の取り決めにより、上記の科目については、以下のとおり取り扱うこととする。

- ・定員に満たない場合、1年次生（24台）は4月4日(木)16:20～、2年次生以上（23台以前）は3月25日(月)9:00～先着順で追加募集を行う。

履修を希望する者は、「履修申請」(Web) で履修登録すること。

- ・履修登録の撤回を認める。ただし、後期登録変更は認めない。

(8)総合教養科目（教養ゼミ・登録者数を制限する科目など）

上記以外に「総合教養科目（教養ゼミ・登録者数を制限する科目など）」があるので、該当ページ（p.47～57参照）を読み、手続きなどを確認すること。

8 憲法特講、民法特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、刑事法特講Ⅰ・Ⅱの履修について

「憲法特講」「民法特講Ⅰ」「民法特講Ⅱ」「民法特講Ⅲ」「刑事法特講Ⅰ」「刑事法特講Ⅱ」は、教育効果を高めるため少人数（30～50人）でインタラクティブな（双方向的）講義を実施する。各年台で選考基準が異なる。

履修を希望する学生は、先のガイダンス資料として配信しているパンフレット『講義要目及び募集要項』を参照し、申し込むこと。

9 前期・後期完結科目、隔週講義科目について

4単位科目で、前期または後期完結として開講される科目は、登録に際して、週2回の受講（集中講義を除く）が必要である。

対象科目については、「2024年度法学部授業時間割」の「同時登録」欄を参考にして履修登録すること。

隔週講義科目

次の科目は、原則、2コマ続きの隔週講義となるので、履修登録する際に注意すること。

学部学科	年次	授業科目	期別	単位	担当者
①	2	キャリアプランニング	後期	2	佐々木 他
①	3・4	マスメディア論	前期	2	鈴木
J J	3・4	法医学	後期	2	石川 他
J J	3・4	九州地域政策	後期	2	佐々木 他
J B	3・4	観光法	前期	2	城前

10 卒業要件単位算入について

特別講義（22台以前）

「特別講義」（各2単位）については合計10単位までしか、卒業要件単位として算入されない。

法律学科

法律学科の学生は、法律学科に開設されていない経営法学科の専門教育科目《次表》の中から、24単位を限度として履修することができる（ただし、上位年次の科目は履修できない）。

なお、修得した単位は選択科目分野に卒業要件単位として算入される。

※24単位を超えた単位は、卒業要件単位に算入されないので気をつけること。

《法律学科（24台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
1	国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ	4	3・4	商 事 法 総 合 講 義	2
	国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ	2		中 小 企 業 と 法	2
	国際コミュニケーション海外研修	2		観 光 法	2
2	ベンチャー起業と法	2		国 際 知 的 財 産 法	2
	外 国 法 政 論	2		国 際 経 済 法	4
	ア ジ ア 法	2		国 際 税 法	2
	〔E U 法〕	2		ア ジ ア 太 平 洋 関 係 論	2
	〔海外法政事情Ⅰ〕	2		〔外 交 史 通 論〕	2
	〔海外法政事情Ⅱ〕	2		企 業 法 務 特 別 演 習	4
〔海外法政研修〕	2				

〔 〕内は今年度休講。

《法律学科（23台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
2	ベンチャー起業と法	2	3・4	商 事 法 総 合 講 義	2
	外 国 法 政 論	2		中 小 企 業 と 法	2
	ア ジ ア 法	2		観 光 法	2
	〔E U 法〕	2		国 際 知 的 財 産 法	2
	〔海外法政事情Ⅰ〕	2		国 際 経 済 法	4
	〔海外法政事情Ⅱ〕	2		国 際 税 法	2
	〔海外法政研修〕	2		ア ジ ア 太 平 洋 関 係 論	2
			〔外 交 史 通 論〕	2	
			企 業 法 務 特 別 演 習	4	

〔 〕内は今年度休講。

《法律学科（22・21台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
2	ベンチャー起業と法	2	3・4	商 事 法 総 合 講 義	2
	外 国 法 政 論	2		中 小 企 業 と 法	2
	ア ジ ア 法	2		観 光 法	2
	〔E U 法〕	2		国 際 知 的 財 産 法	2
	〔海外法政事情Ⅰ〕	2		国 際 経 済 法	4
	〔海外法政事情Ⅱ〕	2		国 際 税 法	2
	〔海外法政研修〕	2		ア ジ ア 太 平 洋 関 係 論	2
			企 業 法 務 特 別 演 習	4	

〔 〕内は今年度休講。

《法律学科（20台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
2	ベンチャー起業と法	2	3・4	商事法総合講義	2
	外国法政論	2		中小企業と法	2
	アジア法	2		観光法	2
	〔E U 法〕	2		国際知的財産法	2
	〔海外法政事情Ⅰ〕	2		国際経済法	4
	〔海外法政事情Ⅱ〕	2		国際税法	2
	〔海外法政研修〕	2		アジア太平洋関係論	2

〔 〕内は今年度休講。

《法律学科（19～17台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
2	ベンチャー起業と法	2	3・4	商事法総合講義	2
	外国法政論	2		中小企業と法	2
	アジア法	2		観光法	2
	〔E U 法〕	2		国際経済法	4
	〔アメリカ法政事情〕	2		国際税法	2
	〔アメリカ海外研修〕	2		アジア太平洋関係論	2
	〔アジア法政事情〕	2			
	〔アジア海外研修〕	2			
	〔E U 法政事情〕	2			
〔E U 海外研修〕	2				

〔 〕内は今年度休講。

《法律学科（16台）の学生が履修できる経営法学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
2	ベンチャー起業と法	2	3・4	商事法総合講義	2
	外国法政論	2		中小企業と法	2
	アジア法	2		観光法	2
	〔E U 法〕	2		国際経済法	4
	〔アメリカ法政事情〕	2		〔国際労働法〕	2
	〔アメリカ海外研修〕	2		国際税法	2
	〔アジア法政事情〕	2		アジア太平洋関係論	2
	〔アジア海外研修〕	2			
	〔E U 法政事情〕	2			
〔E U 海外研修〕	2				

〔 〕内は今年度休講。

経営法学科

経営法学科の学生は、経営法学科に開設されていない法律学科の専門教育科目《次表》の中から、**24単位を限度**として履修することができる（ただし、上位年次の科目は履修できない）。

なお、修得した単位は選択科目分野に卒業要件単位として算入される。

※24単位を超えた単位は、卒業要件単位に算入されないので気をつけること。

《経営法学科（24～20台）の学生が履修できる法律学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単位	年次	授 業 科 目	単位
1	公 共 政 策 概 論	2	3・4	行 政 学	4
2	憲 法 III	2		政 治 思 想 史	4
	刑 事 法 特 講 I	4		政 治 過 程 論	4
	ミ ク ロ 経 済 学 概 論	2		[日 本 法 制 史]	4
	マ ク ロ 経 済 学 概 論	2		法 医 学	2
	日 本 政 治 外 交 史	2		政 策 評 価 論	2
	政 策 過 程 論	2		都 市 政 策	2
3・4	刑 事 訴 訟 法	4		九 州 地 域 政 策	2
	行 政 法 II	4		福 祉 国 家 論	2
	刑 法 II	4		社 会 福 祉 概 論	2
	憲 法 特 講	4		地 域 福 祉 論	2
	刑 事 法 特 講 II	4		児 童 福 祉 論	2
	地 方 自 治 法	2		行 政 特 別 演 習 I	4
	情 報 法	2		行 政 特 別 演 習 II	4
	刑 事 政 策	4			

[] 内は今年度休講。

《経営法学科（19台）の学生が履修できる法律学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単位	年次	授 業 科 目	単位
1	公 共 政 策 概 論	2	3・4	行 政 学	4
2	憲 法 III	2		政 治 思 想 史	4
	刑 事 法 特 講 I	4		政 治 過 程 論	4
	経 済 原 論	4		[日 本 法 制 史]	4
	日 本 政 治 外 交 史	2		法 医 学	2
	政 策 過 程 論	2		政 策 評 価 論	2
3・4	刑 事 訴 訟 法	4		[労 働 政 策]	2
	行 政 法 II	4		都 市 政 策	2
	刑 法 II	4		九 州 地 域 政 策	2
	憲 法 特 講	4		福 祉 国 家 論	2
	刑 事 法 特 講 II	4		社 会 福 祉 概 論	2
	地 方 自 治 法	2		地 域 福 祉 論	2
	情 報 法	2		児 童 福 祉 論	2
	刑 事 政 策	4		行 政 特 別 演 習 I	4
			行 政 特 別 演 習 II	4	

[] 内は今年度休講。

《経営法学科（18台）の学生が履修できる法律学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
1	公 共 政 策 概 論	2	3・4	行 政 学	4
2	憲 法 III	2		政 治 思 想 史	4
	刑 事 法 特 講 I	4		政 治 過 程 論	4
	経 済 原 論	4		〔日 本 法 制 史〕	4
	日 本 政 治 外 交 史	2		法 医 学	2
	政 策 過 程 論	2		政 策 評 価 論	2
3・4	刑 事 訴 訟 法	4		〔労 働 政 策〕	2
	行 政 法 II	4		都 市 政 策	2
	刑 法 II	4		九 州 地 域 政 策	2
	憲 法 特 講	4		福 祉 国 家 論	2
	刑 事 法 特 講 II	4		社 会 福 祉 概 論	2
	地 方 自 治 法	2		地 域 福 祉 論	2
	情 報 法	2	児 童 福 祉 論	2	
刑 事 政 策	4				

〔 〕内は今年度休講。

《経営法学科（17台）の学生が履修できる法律学科開設科目》

年次	授 業 科 目	単 位	年次	授 業 科 目	単 位
1	公 共 政 策 概 論	2	3・4	刑 事 政 策	4
2	憲 法 III	2		行 政 学	4
	刑 事 法 特 講 I	4		政 治 思 想 史	4
	経 済 原 論	4		政 治 過 程 論	4
	現 代 日 本 政 治	2		〔日 本 法 制 史〕	4
	政 策 過 程 論	2		法 医 学	2
3・4	刑 事 訴 訟 法	4		政 策 評 価 論	2
	行 政 法 II	4		〔労 働 政 策〕	2
	刑 法 II	4		都 市 政 策	2
	〔民 法 総 合 講 義〕	2		九 州 地 域 政 策	2
	憲 法 特 講	4		福 祉 国 家 論	2
	刑 事 法 特 講 II	4		社 会 福 祉 概 論	2
	地 方 自 治 法	2	地 域 福 祉 論	2	
情 報 法	2	児 童 福 祉 論	2		

〔 〕内は今年度休講。

11 自由履修単位・関連教育科目について

自由履修単位とは、共通教育科目及び専門教育科目として卒業要件単位を超えて修得した単位、また、関連教育科目として修得した単位をいい、卒業要件単位として、合計24単位以上を修得しなければならない。

また、関連教育科目のうち、『他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目』は系統的に類別された「履修モデル」ごとに配置され、多くの他学部授業科目を履修することができる。各自が学修したい「履修モデル」を自分なりに設定し、該当する科目を集中的に履修することが望ましい。

【2024年度(24台)～2016年度(16台)入学生】 他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目

【人文学部科目】

	1年次	単位	2年次	単位	3・4年次	単位
文化コースモデル			社会調査入門 文化人類学特講 社会人類学 比較社会論 社会心理学 文化地理学 〔集団心理学(18台以前)〕 〔社会哲学入門(18台以前)〕	2 2 2 2 2 2 2 2		
日本文化コースモデル	日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本文学概論Ⅰ 日本文学概論Ⅱ 比較文学概論	2 2 2 2 2				
言語文化コースモデル	英語学概論A 英語学概論B スピーチ・コミュニケーション概論A スピーチ・コミュニケーション概論B イギリス文化・文学概論A イギリス文化・文学概論B アメリカ文化・文学概論A アメリカ文化・文学概論B	2 2 2 2 2 2 2 2	ドイツ文学史A ドイツ文学史B	2 2	東アジア地域事情特講A 〔東アジア地域事情特講B〕	2 2

[] 内は休講

【2024年度(24台)～2016年度(16台)入学生】 他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目

【経済学部科目】

	1年次	単位	2年次	単位	3・4年次	単位
経済学履修モデル	経済学入門	4	ミクロ経済学	4	公共経済学	4
			マクロ経済学	4	日本財政論	4
			国際経済学	4	特別演習Ⅱ	4
			厚生経済学	2		
			〔経済循環論(22台以前)〕	2		
			財政学	4		
			金融論(経済学部)	4		
			経済学史A	2		
			経済学史B	2		
			特別演習Ⅰ	4		
金融経済履修モデル	経済学入門	4	ミクロ経済学	4	国際金融論	4
	日本経済論A	2	マクロ経済学	4	証券経済学	4
	日本経済論B	2	金融論(経済学部)	4	金融市場論	4
ベンチャー履修モデル(19台以前)	ベンチャー起業論A(19台以前)	4	〔インターンシップA(16台)〕	2	産業ケーススタディA(19台以前)	4
	ベンチャー起業論B(19台以前)	4	〔インターンシップB(16台)〕	2	産業ケーススタディB(19台以前)	4
	〔ベンチャー起業論C(19台以前)〕	4			〔産業ケーススタディC(19台以前)〕	4
	〔ベンチャー起業論D(19台以前)〕	4			〔産業ケーススタディD(19台以前)〕	4
	産業戦略論A(19台以前)	4				
	産業戦略論B(19台以前)	4				
	〔産業戦略論C(19台以前)〕	4				
	〔産業戦略論D(19台以前)〕	4				

〔 〕内は休講

【2024年度(24台)～2016年度(16台)入学生】 他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目

【商学部科目】

	1年次	単位	適用年台	2年次	単位	適用年台	3・4年次	単位
アカウント ティング モデル (法律学科・ 経営法学科)	簿記原理	4	17台以降	会計学総論	2	全		
	[簿記入門Ⅰ]	2	16台	財務会計論	2			
	[簿記入門Ⅱ]	2		会社簿記	4	17台以降		
			会計学特論	2				
			監査論	2				
			原価計算論	4				
			管理会計論	2				
			意思決定会計論	2				
			税と生活	2				
			税務会計論	2	16台			
			[会社簿記Ⅰ]	2				
			[会社簿記Ⅱ]	2				
			[制度会計論]	2				
			[連結会計論]	2				
			[監査概論]	2				
			[会計士監査論]	2				
			[原価計算論Ⅰ]	2				
			[原価計算論Ⅱ]	2				
			[管理会計論Ⅰ]	2				
			[管理会計論Ⅱ]	2				
		[税務会計論Ⅰ]	2					
		[税務会計論Ⅱ]	2					
経営学モデル (法律学科のみ)	経営入門	2	全	経営労務論	2	全		
	経営学総論	2		ヒューマンリソースマネジメント	2			
			マーケティング論	2				
			消費者行動論	2				
			マーケティングリサーチ	2				
			企業戦略論	2				
			企業論	2	21台以降			
			マーケティング戦略論	2	17台以降			
			経営分析論	2				
			意思決定会計論	2	20～17台			
			[経営管理各論]	2				
			経営心理学	2				
			[経営心理学各論]	2	20台以前			
			経営組織論	2				
			企業行動論	2				
			経営戦略論	2				
		[中小企業経営論]	2	16台				
		[経営管理論]	2					
		[Eコマースマーケティング]	2					
		[経営心理学A]	2					
		[経営心理学B]	2					
		[経営分析論Ⅰ]	2					
		[経営分析論Ⅱ]	2					

IV. 履修の手引

	1年次	単位	適用年台	2年次	単位	適用年台	3・4年次	単位
ファイナンス モデル (法律学科のみ)				銀行論	2	全		
				保険論入門	2			
				保険論	2			
				証券市場論	2			
				証券と金融	2			
				生活保障論	2			
				リスクマネジメント論	2			
				国際金融論 I	2			
				国際金融論 II	2			
				金融論(商学部)	2	17台以降		
				金融政策論	2			
				金融システム論	2			
			経営財務論	2	21台以降			
			経営財務論 A	2	20台以前			
			[経営財務論 B]	2				
			[外国為替論]	2	17台以前			
			[金融論 A]	2	16台			
			[金融論 B]	2				
			[金融機関論]	2				
マネジメント モデル (経営法学科のみ)	経営入門	2	全	経営労務論	2	全		
	経営学総論	2		ヒューマンリソースマネジメント	2			
				流通政策	2			
				地域商業論	2			
				消費者行動論	2			
				マーケティングリサーチ	2			
				保険論入門	2			
				保険論	2			
				交通政策	2			
				海運と航空	2			
				マーケティング論	2			
				生産管理論	2	21台以降		
				金融論(商学部)	2	17台以降		
				金融政策論	2			
				マーケティング戦略論	2			
				経営分析論	2			
			意思決定会計論	2				
			[経営管理各論]	2	20~17台			
			工業経営論	2				
			[工業経営各論]	2				
			経営心理学	2				
			[経営心理学各論]	2				
			[中小企業経営論]	2	20台以前			

	1年次	単位	適用年台	2年次	単位	適用年台	3・4年次	単位
国際経済 モデル (経営法学科のみ)				開発経済論 A	2	全		
				開発経済論 B	2			
				アジア経済論 A	2			
				アジア経済論 B	2			
				国際政治経済学	2			
				国際貿易論 I	2			
				国際貿易論 II	2			
				ヨーロッパ経済論 I	2			
				ヨーロッパ経済論 II	2			
				アメリカ経済論 I	2			
				アメリカ経済論 II	2			
				貿易商務論 A	2			
				貿易商務論 B	2			
				世界経済論	2			
				国際金融論 I	2			
				国際金融論 II	2			
			貿易政策	2	18台以降			
			[外国為替論]	2	17台			
			[貿易政策 I]	2				
			貿易政策 II	2				
			[ペイメントシステム論]	2				

[] 内は休講

12 振替科目・その他について

(1) 「企業実務と法」「現代日本政治」の履修については、次表のように振り替え措置となる。

2020年度（20台）以降入学生適用科目		2019年度（19台）以前入学生適用科目	
授業科目	単位	授業科目	単位
企業法入門	2	⇒ 企業実務と法	2

2018年度（18台）以降入学生適用科目		2017・2016年度（17・16台）入学生適用科目	
授業科目	単位	授業科目	単位
日本政治外交史	2	⇒ 現代日本政治	2

(2) 下位年次科目の履修について（再履修者も含む）

原則として、指定された学科・クラスを守ること。

(3) 1年次生は『法学部 新入生ガイダンス資料（教務関係・2024年度入学生用）』を参照し、履修登録指導ガイダンスに出席したうえで、履修登録に臨むこと。

(4) 「国際コミュニケーション海外研修」「アジア法セミナー I（アジア太平洋法政事情）」の応募にあたり、① TOEIC400点以上、② TOEFL PBT（筆記試験）435点以上、③ TOEFL iBT（インターネットによる試験）41点以上、④ IELTS（アカデミック・モジュール）5.0以上、のいずれかの英語の水準を満たしている者を優先的に選抜するため、積極的に各検定を受験することを推奨する。なお、TOEICに関しては、本学入学後に一定の成績を修めた場合、フレッシュマン・イングリッシュ I～IV およびインターメディアイト・イングリッシュ I～IV の単位が認定されることがある（p. 68参照）。

(5) 履修登録に際しては、巻末の「履修登録の手引き」（p. 2「履修登録スケジュール表」）を参照し、定められた日時に必ず履修登録を行うこと。

13 早期卒業について

【22台以前】

法学部では、本学大学院（大学院研究科・法科大学院）への進学を希望する学生のために、3年間在学し、その終了時において学部卒業を認める早期卒業制度を設けている。修得単位数および成績評価については、次に掲げる要件を満たしていることが必要である。

- (1) 在学2年目までの修得単位数が78単位以上であること。
- (2) 在学2年目までの成績評価の平均点が85点以上又は福岡大学成績考査規程第4条第5項に基づき算出された在学2年目までのGPA評価が3.0以上であること。
- (3) 卒業に必要な124単位以上を修得していること。
- (4) 3年間の成績評価の平均点が85点以上又は福岡大学成績考査規程第4条第5項に基づき算出された3年間のGPA評価が3.0以上であること。

早期卒業を希望する者は、「福岡大学法学部早期卒業に関する内規」本学修ガイド p. 251～252を一読のうえ、次の説明会に出席すること。

- ・早期卒業説明会 日時：3月18日（月）13：00から Webex にて実施
（詳細については3月中旬にFUポータルにてお知らせ）

※休学期間のある学生も早期卒業の対象となる場合がある。詳細は教務二課（法学部担当）で確認すること。

14 前期卒業について

【20台以前】

前期卒業については、**本人による事前の申請手続が必要となる。**前期卒業を希望する学生は次の要領で、指定した期日までに申請手続を完了すること。（「前期卒業の取り扱いについて」p. 26参照）

- ・前期卒業の説明については、3月中旬にFUポータルにて詳細をお知らせするので、希望する学生は、留意すること。
- ・前期卒業申請期日 3月22日（金）～4月12日（金）【期間厳守】
申請窓口 文系センター棟1階教務二課（法学部担当）

15 法科大学院の授業科目早期履修制度について

【22台早期卒業予定者、21台以前】

法学部では、早期卒業予定者又は4年次以上の卒業見込者のうち本学法科大学院への進学を希望する者について、法科大学院の授業科目を在学中に履修できる早期履修制度を設けています。早期履修を希望する者については、「福岡大学法学部における法科大学院の授業科目早期履修制度に関する申合せ」（p. 258）を参照のうえ、申請期間中（前期3/25～3/29、後期8/26～8/30）に大学院事務課（法科大学院担当）まで申し出てください。

16 法学部および学位（教育）プログラムのディプロマ・ポリシー

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）という。

大学は、学生が、ディプロマ・ポリシーに定めている能力や資質を身につけることを目標として教育を行い、その能力や資質を身につけた学生に学位を授与する。したがって、ディプロマ・ポリシーに定められている能力や資質は、学生が大学で身につける目標となるものである。

法学部の学士課程を修了すると、学士（法学）という学位が授与される。法学部は、学生に学士（法学）を授与する方針（ディプロマ・ポリシー）を以下のように定めている。

●法学部

法学部の教育課程においては、以下に掲げる能力をそなえ、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 法学の専門知識とリーガルマインド（法的思考力）を身につけ、身近な法的問題について理解し、説明することができる。
2. 法学の専門知識を活かし、日常生活、公共分野、企業活動、地域社会、国際社会等において生じる法的問題を把握し、それについて解決のあり方を提示することができる。
3. わが国および海外の法制度や政治に関心を有し、現代社会の諸問題に積極的に取り組み、公共分野、地域社会および国際社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学部DPを構成する。

法学部は、以上の学部ディプロマ・ポリシーのもと、学位（教育）プログラム（法律学科および経営法学科）のディプロマ・ポリシーを以下のように定めている。学生は、自分が所属する学科のディプロマ・ポリシーに定められている能力・資質を身につけるよう努めなければならない。

●法律学科

学位（教育）プログラム【法律学及び政治学（法学）】のディプロマ・ポリシー（法律学科の学生に適用）

【知識・理解】

- A-1 法律学および政治学の基礎知識を身につけ、現代社会において生起する問題について理解し、説明することができる。
- A-2 法律学の専門的知識および法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、日常生活、公共的活動、企業活動、国際関係において生起する問題について理解し、説明することができる。
- A-3 政治学および政策に関する専門的知識ならびに政策的思考力を身につけ、政治・経済や地域社会において生起する問題について理解し、説明することができる。
- A-4 法および政治の歴史的・社会的・思想的背景を理解し、説明することができる。
- A-5 法律学および政治学に密接に関連する隣接分野についての基本的な知識と理解力を持っている。

【技能】

- B-1 法律学および政治学の基礎知識にもとづき、現代社会の諸問題について自己の意見を述べ、かつ、文章で表現することができる。
- B-2 法律学の専門的知識を活用し、日常生活、公共的活動、企業活動、国際関係における法的問題を把握し、その解決のあり方を提示することができる。
- B-3 政治学および政策に関する専門的知識を活用し、政治・経済および地域社会の問題を把握し、その解決のあり方を提示することができる。

B-4 法および政治の歴史的・社会的・思想的背景をふまえ、適正な法と政治のあり方を提示することができる。

【態度・志向性】

C-1 法律学および政治学の観点から、現代社会の諸問題を積極的に解決しようとする姿勢を持っている。

C-2 法律学および政治学の知識を活かし、公共分野や地域社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

C-3 外国の法制度や政治に関心を有し、グローバル化する世界の状況に積極的に対応しようとする姿勢を持っている。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

●経営法学科

学位（教育）プログラム【経営法学（法学）】のディプロマ・ポリシー（経営法学科の学生に適用）

【知識・理解】

A-1 法律学および政治学の基礎知識を身につけ、現代社会において生起する問題について理解し、説明することができる。

A-2 会社法等の企業法制および関連する法制度の専門的知識ならびに法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、企業経営・企業取引その他の企業活動について理解し、説明することができる。

A-3 国際法および外国法に関する専門的知識ならびに国際的視野を身につけ、国際関係や国際取引について理解し、説明することができる。

A-4 法および政治の歴史的・社会的・思想的背景を理解し、説明することができる。

A-5 法律学および政治学に密接に関連する隣接分野についての基本的な知識と理解力を持っている。

【技能】

B-1 法律学および政治学の基礎知識にもとづき、現代社会の諸問題について自己の意見を述べ、かつ、文章で表現することができる。

B-2 会社法等の企業法制および関連する法制度の専門的知識を活用し、日常生活および企業活動における法的問題を把握し、その解決のあり方を提示することができる。

B-3 国際法および外国法に関する専門的知識を活用し、国際関係および国際取引における法的問題を把握し、その解決のあり方を提示することができる。

B-4 法および政治の歴史的・社会的・思想的背景をふまえ、適正な法と政治のあり方を提示することができる。

【態度・志向性】

C-1 法律学および政治学の観点から、現代社会の諸問題を積極的に解決しようとする姿勢を持っている。

C-2 企業や地域社会において正義と公平を貫く姿勢を持っている。

C-3 国際関係や国際取引に関心を有し、グローバル化する世界の状況に積極的に対応しようとする姿勢を持っている。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

17 法学部および学位（教育）プログラムのカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）という。

●法学部

法学部は、法律学科および経営法学科における教育を通じて、法学の基礎知識と法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、これらを活かして現代社会に生起する諸問題を把握し、解決のあり方を提示することができ、かつ、公共分野、企業、地域社会、国際社会で活躍することができる学生を育成するため、以下のカリキュラムを編成します。

【教育内容】

新入生全員を対象に少人数クラスの「法学部入門ゼミ」などによる導入教育を実施し、かつ、専門教育の基礎を学ぶため、「民法入門」、「民法総則」（法律学科においては「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」も含む。）を必修科目として設置します。

これらの基礎的知識を土台に、法律学科にあつては法律学・政治学に関する専門的知識、経営法学科にあつては企業法に関する専門的知識を習得するため、各学科の専門教育科目の基本となる主要な科目を選択必修科目として配置し、かつ、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」などでの議論を通じて法的思考力を高めます。

2年次からは、学科ごとに学生の関心と希望する進路に応じて選択できる複数のコースを設置します。

法律学科にあつては「法律総合コース」、「公共法務コース」および「総合政策コース」を、経営法学科にあつては「企業法コース」および「国際コース」を設置し、コースの趣旨・目的に沿った科目（コース科目）を適切に配置します。

さらに、コースごとに専門教育履修モデルを設定し、各コースに体系的・効果的に配置された授業科目を計画的に履修することができるようにします。

このほか、意欲ある学生を対象に、法律学科に「法律特修プログラム」を、経営法学科に「企業法務特修プログラム」を設置し、また、語学力を活かして国際社会で活躍することを希望する学生のために海外研修科目を設置します。

【教育方法】

新入生を対象とする法学部入門ゼミなどの導入科目においては、大学の学習において必要となる基本的なスキルを学び、身につけるようにします。

2年次以降の演習科目（演習Ⅰ・演習Ⅱなど）は、少人数で、学生が主体的に参加するアクティブラーニングを中心に行います。

講義科目においても、適宜、アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら考え、参加する授業を実施します。

こうした学生の学習をサポートするため、クラス担任をおき、学生の相談に応じたり、アドバイスを行ったりするほか、必要に応じて修学指導を行います。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学部CPを構成する。

●法律学科

法律学及び政治学（法学）の学位（教育）プログラムにおいては、法律学・政治学の基礎知識と法的思考力（リーガルマインド）および政策的思考力を身につけ、これらの知識と思考力を活かして現

代社会に生起する諸問題を把握し、解決のあり方を提示することができ、かつ、公共分野、企業、地域社会、国際社会で活躍することができる学生を育成するため、以下のカリキュラムを編成します。

【教育内容】

法律学・政治学の入門的知識と学習方法を身につけるため、新入生全員を対象に少人数クラスの「法学部入門ゼミ」または「基礎ゼミ」による導入教育を実施し、かつ、法律学・政治学の基礎的知識を習得するため、1年次に、「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」、「民法入門」、「民法総則」を必修科目として、「裁判制度概論」と「政治学入門」を選択必修科目として設置します。

これらの基礎的知識を土台に、法律学・政治学に関する専門的知識を習得するため、2年次以降、専門教育科目の基本となる主要な科目を選択必修科目として配置し、かつ、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」などでの議論を通じて法的思考力および政策的思考力を高めます。

2年次からは、学生の関心と希望する進路に応じて選択できる3つのコースを設置し、コースの趣旨・目的に沿った科目（コース科目）を配置します。

「法律総合コース」は、法曹その他の法律専門職として、または民間企業で活躍することを目指す学生を対象に、いわゆる六法科目を中心に公法科目と私法科目をバランスよく配置します。「公共法務コース」は、公務員、警察官または外交官として公共分野で活躍することを目指す学生を対象に、公法科目、刑事法科目、国際法科目を中心に科目を配置します。「総合政策コース」は、地域社会、福祉、メディアなどの分野で活躍することを目指す学生を対象に、政治学科目と政策系科目を中心に科目を配置します。

このように、必修科目、選択必修科目および自コース科目（学生が所属するコースに配当されているコース科目）をもってコア・カリキュラムと位置づけ、かつ、コースごとに専門教育履修モデルを設定し、学生の希望する進路に適合する授業科目を体系的・効果的に履修することができるようにします。

このほか、法曹や公務員上級職などを目指す意欲ある学生を対象に、「民法特講」、「刑事法特講」などの特講科目の履修を内容とする「法律特修プログラム」を設置します。

【教育方法】

新入生を対象とする法学部入門ゼミおよび基礎ゼミにおいては、受講の心構え、資料収集、報告・討論、レポート作成の方法など、大学の学習において必要となる基本的なスキルを学び、身につけるようにします。

2年次以降の演習科目（演習Ⅰ・演習Ⅱなど）は、少人数で、学生の報告発表、共同研究、討論など、学生が主体的に参加するアクティブラーニングを中心に行います。特講科目においては質疑応答を中心とする双方向型授業を実施します。

講義科目においても、受け身の授業ではなく、質疑応答、グループワーク、レポート・ミニツッパーパーの作成、小テストの実施など、適宜、アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら考え、参加する授業を実施します。

こうした学生の学習をサポートするため、クラス担任をおき、学生の相談に応じたり、アドバイスを行ったりするほか、必要に応じて修学指導を行います。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

●経営法学科

経営法学（法学）の学位（教育）プログラムにおいては、民法・商法等の私法系科目の知識を基礎に、企業法および国際法・外国法の知識と法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、これらを活かして企業活動および国際社会に生起する諸問題を把握し、解決のあり方を提示することができ、かつ、企業、地域社会、国際社会で活躍することができる学生を育成するため、以下のカリキュラムを編成します。

【教育内容】

法学の入門的知識と学習方法を身につけるため、新入生全員を対象に少人数クラスの「法学部入門ゼミ」または「パワーアップゼミ」による導入教育を実施し、かつ、私法の基礎的知識を習得するため、1年次に、「民法入門」および「民法総則」を必修科目として設置するとともに、専門教育の導入科目として「企業法入門」、「国際関係学入門」および「裁判制度概論」を選択必修科目として設置します。

これらの基礎的知識を土台に、企業法制に関する専門的知識を習得するため、2年次以降、民法科目のほかに「会社法Ⅰ」、「会社法Ⅱ」などの企業法（商法）科目を選択必修科目として配置し、かつ、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」などでの議論を通じて法的思考力を高めます。

2年次からは、学生の関心と希望する進路に応じて選択できる2つのコースを設置し、コースの趣旨・目的に沿った科目（コース科目）を配置します。

「企業法コース」は、企業法務に精通したビジネスパーソンや起業家・経営者をめざす学生を対象に、多くの企業法科目をはじめ、経済法、知的財産法、税法などの企業法務に密接に関連する科目を配置します。「国際コース」は、貿易・国際取引、旅行・観光業、国際機関など国際社会で活躍することを目指す学生を対象に、国際法科目と外国法科目を中心に科目を配置します。

このように、必修科目、選択必修科目および自コース科目（学生が所属するコースに配当されているコース科目）をもってコア・カリキュラムと位置づけ、かつ、コースごとに専門教育履修モデルを設定し、学生が希望する進路に適合する授業科目を体系的・効果的に履修することができるようにします。

さらに、語学力を活かして国際社会で活躍することを希望する学生のために、海外研修科目を設置します。まず1年次の選択必修科目として「国際コミュニケーション・法政事情」および「国際コミュニケーション海外研修」を設置し、国際ビジネスに重点を置いた語学力を養成します。2年次には「海外法政研修」などの科目を設置し、語学力とともに海外の法制度、政治、文化についての理解を深めます。

このほか、産業界のリーダーを目指す意欲ある学生を対象に、「企業法務特別演習」や「民法特講」などの履修を内容とする「企業法務特修プログラム」を設置します。

【教育方法】

新入生を対象とする法学部入門ゼミおよびパワーアップゼミにおいては、受講の心構え、資料収集、報告・討論、レポート作成の方法など、大学の学習において必要となる基本的なスキルを学び、身につけるようにします。

2年次以降の演習科目（演習Ⅰ・演習Ⅱなど）は、少人数で、学生の報告発表、共同研究、討論など、学生が主体的に参加するアクティブラーニングを中心に行います。特講科目においては質疑応答を中心とする双方向型授業を実施します。

講義科目においても、受け身の授業ではなく、質疑応答、グループワーク、レポート・ミニツッパーパーの作成、小テストの実施など、適宜、アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら考え、参加する授業を実施します。

こうした学生の学習をサポートするため、クラス担任をおき、学生の相談に応じたり、アドバイスを行ったりするほか、必要に応じて修学指導を行います。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

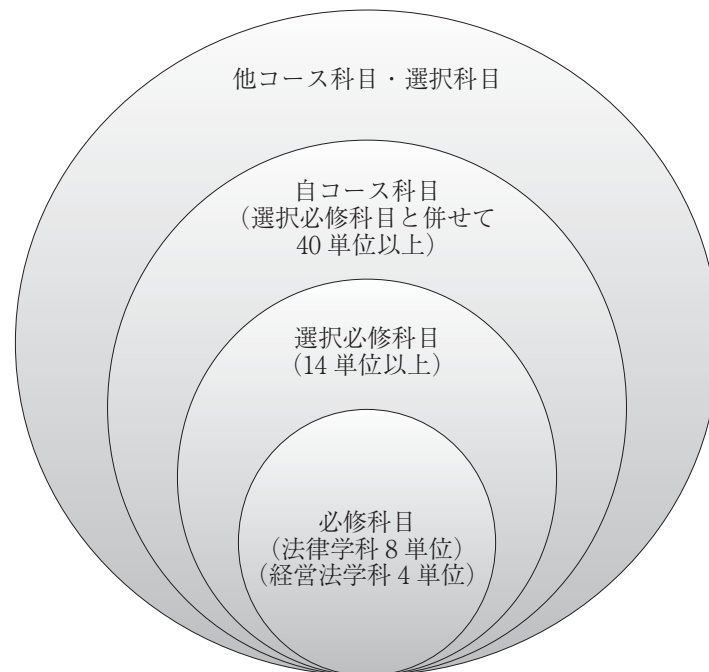
18 法学部履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）

(1)カリキュラムの構造

専門教育科目のカリキュラムは、必修科目、選択必修科目、自コース科目、他コース科目および選択科目から構成されている。必修科目はすべての専門教育の基礎となり、卒業までに修得しなければならない科目、選択必修科目は一定の単位数の修得が必要で、専門教育科目の学習において基本となる重要な科目、自コース科目は各自が所属するコースの趣旨に沿って設置された科目である。（「学科履修規程第2条第2項」および「年次別授業科目表」p.158～191参照）

よって、学生は、必修科目、選択必修科目および自コース科目をコア・カリキュラムとして履修計画をたてなければならない。

[専門教育科目のカリキュラムの構造]



(2)履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）

◎カリキュラム・ツリーとは…

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示した見取り図のことをいう。（法律学科は p.103、経営法学科は p.104参照）

専門教育科目をコースおよび分野別に分類し、年次・期別ごとに図示しているのので、これを参考にして、計画的な履修登録および学習を行ってほしい。

◎カリキュラム・マップとは…

授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示す。

ここで載せている科目は24名生に関するものである。

なお、コースの決定および履修登録にあたっては将来の進路選択を見据えて行わなければならないが、この場合、「19 専門教育履修モデル」(p.105～110参照)も参考にすること。

入学年度ごとのDP、CP、カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップについては、FUポータルに掲載しています。※共通教育科目も以下の手順で確認できます。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図(カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ)▶履修系統図

学位（教育）プログラム【法律学及び政治学（法学）】のカリキュラム・ツリー（法律学科24台）

A. コース別のコア・カリキュラム

コース	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3・4年前期	3・4年後期	
法律総合コース	●憲法Ⅰ ●民法入門	●憲法Ⅱ ●民法総則	憲法Ⅲ △債権法Ⅰ △物権法Ⅰ	行政法Ⅰ △債権法Ⅱ 物権法Ⅱ 親族法 消費者法	(公法科目) 債権法Ⅲ 不動産登記法 相続法		(民法科目)
			商法総論 △会社法Ⅰ	商行為法 △会社法Ⅱ	手形・小切手法 企業金融法	金融商品取引法 商業登記法	(企業法科目)
				経済法 労働法	税法ⅠA 税法ⅡA	税法ⅠB 税法ⅡB	(社会法・税法科目)
					民事訴訟法Ⅰ 民事執行・保全法 国際私法	民事訴訟法Ⅱ 倒産処理法 国際取引法	(民事手続法科目) (国際法科目)
			△刑法Ⅰ		刑法Ⅱ 刑事訴訟法		(刑事法科目)
		△政治学入門	△裁判制度概論 △政治学原論	法社会学 △政治学原論	法哲学		(政治学科目) (基礎法科目)
	公共法務コース	●憲法Ⅰ	●憲法Ⅱ	憲法Ⅲ	行政法Ⅰ	行政法Ⅱ	地方自治法
						比較憲法 環境法 情報法 行政学	
△政治学入門			△政治学原論			行政特別演習Ⅰ・Ⅱ	(政治学科目)
			ミクロ経済学概論 国際法総論 △刑法Ⅰ	マクロ経済学概論 国際関係論	国際法各論 刑法Ⅱ 刑事訴訟法	国際法各論 刑事政策	(国際法科目) (刑事法科目)
				経済法	税法ⅠA	税法ⅠB 社会保険法	(社会法・税法科目)
●民法入門		●民法総則	△債権法Ⅰ △物権法Ⅰ △会社法Ⅰ	△債権法Ⅱ 物権法Ⅱ △会社法Ⅱ	債権法Ⅲ 相続法 (企業法科目)	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ	(民法科目) (民事手続法科目)
		△裁判制度概論			法哲学		(基礎法科目)
総合政策コース		●憲法Ⅰ	●憲法Ⅱ		行政法Ⅰ	行政法Ⅱ	地方自治法
						環境法 情報法 行政学	
	△政治学入門		△政治学原論	西洋政治史 日本政治外交史		政治過程論 政治思想史	(政治学科目)
		公共政策概論<選択>	政策過程論		都市政策 九州地域政策 NPO論 マスメディア論	政策評価論	(政策系科目)
		ミクロ経済学概論	マクロ経済学概論		労働法 国際関係論	社会保障法	(社会法科目)
	●民法入門	●民法総則	△債権法Ⅰ △物権法Ⅰ △会社法Ⅰ	△債権法Ⅱ 物権法Ⅱ △会社法Ⅱ	債権法Ⅲ 相続法 (企業法科目)	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ	(民法科目) (民事手続法科目)
		△裁判制度概論					(基礎法科目)

B. コア・カリキュラムをサポートする科目群

分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3・4年前期	3・4年後期	4年
法律特修プログラム			△民法特講Ⅰ	△刑事法特講Ⅰ	△民法特講Ⅱ	△民法特講Ⅲ	△刑事法特講Ⅱ
基礎法・外国法・法制史			情報処理論A キャリアプランニング 英米法 ドイツ法 フランス法	情報処理論B	法医学	近代日本法史	大学院連携特別演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文
演習・外国法セミナー・卒業論文・特別講義	△法学部入門ゼミ △基礎ゼミ アメリカ法セミナーⅠ		△演習Ⅰ アメリカ法セミナーⅡ アジア法セミナーⅠ ドイツ法セミナーⅠ フランス法セミナーⅠ		△演習Ⅱ △演習Ⅱa(b) アメリカ法セミナーⅢ アジア法セミナーⅡ ドイツ法セミナーⅡ フランス法セミナーⅡ		△演習Ⅲ △演習Ⅱb(a)
共通教育科目		特別講義A		特別講義B		特別講義C・D・E	
関連教育科目	他学部授業科目(法学部教授会が適当と認める授業科目)						

*●印のついた科目は必修科目、△印のついた科目は選択必修科目である。
*コース別のコア・カリキュラム(Aの科目群)は、必修科目、選択必修科目、自コース科目およびコース内容と関連の深い選択科目(選択と付記されている科目)から構成される(コースは2年次から所属する)。

学位（教育）プログラム【経営法学（法学）】のカリキュラム・ツリー（経営法学科24台）

A. コース別のコア・カリキュラム

コース	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3・4年前期	3・4年後期		
企業法コース	●民法入門	●民法総則	△債権法Ⅰ △物権法Ⅰ	△債権法Ⅱ 物権法Ⅱ 親族法 消費者法	債権法Ⅲ 不動産登記法 相続法	(民法科目)		
		△企業法入門	△企業法総論 △会社法Ⅰ	△企業取引法 △会社法Ⅱ	企業取引決済法 企業金融法 保険法 知的財産法	金融商品取引法 商業登記法 商法総合講義 観光法	(企業法科目)	
			経済法 労働法	ベンチャー起業と法	インターンシップ	中小企業と法	(社会法・税法科目)	
		△憲法Ⅰ	△憲法Ⅱ	行政法Ⅰ	税法ⅠA 税法ⅡA	税法ⅠB 税法ⅡB	(民法科目)	
		△国際関係学入門 △裁判制度概論	(国際法科目) (基礎法科目)		民事訴訟法Ⅰ 民事執行・保全法	民事訴訟法Ⅱ 倒産処理法	(民事手続法科目)	
						環境法	(公法科目)	
	国際コース	●民法入門	●民法総則	△債権法Ⅰ △物権法Ⅰ	△債権法Ⅱ	(民法科目)		
			△企業法入門	△企業法総論 △会社法Ⅰ	△企業取引法 △会社法Ⅱ	インターンシップ 知的財産法	海商法 観光法	(企業法科目)
				△国際関係学入門	国際法総論 外国法政論 英米法 ドイツ法 フランス法 アジア法 EU法	国際関係論 (外国法科目)	国際私法 国際取引法 国際民事手続法 国際経済法 国際税法 アジア太平洋関係論 外交史通論	(国際法科目)
					西洋政治史	NPO論 マスメディア論		(政治学・政策系科目)
		△憲法Ⅰ	△憲法Ⅱ			環境法 比較憲法	(公法科目)	
			△裁判制度概論			西洋法制史	(法制史科目)	

B. コア・カリキュラムをサポートする科目群

分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3・4年前期	3・4年後期	4年
海外研修科目	△国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ	△国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ	海外法政事情Ⅰ	海外法政事情Ⅱ			
企業法務特修プログラム			△民法特講Ⅰ		△民法特講Ⅱ △民法特講Ⅲ	△企業法務特別演習	*本プログラムは、これ以外に「会社法Ⅰ」「会社法Ⅱ」等の履修が必要。
刑事法・基礎法・法制史・政治学	政治学入門		法社会学 情報処理論A キャリアプランニング 政治学原論	刑法Ⅰ	警察活動の理論と実務	法哲学 ローマ法 近代日本法史 東洋法制史	
演習・外国法セミナー・卒業論文・特別講義	△法学部入門ゼミ △パワーアップゼミ アメリカ法セミナーⅠ		△演習Ⅰ アメリカ法セミナーⅡ アジア法セミナーⅠ ドイツ法セミナーⅠ フランス法セミナーⅠ		△演習Ⅱ △演習Ⅱa(b) アメリカ法セミナーⅢ アジア法セミナーⅡ ドイツ法セミナーⅡ フランス法セミナーⅡ	△演習Ⅲ △演習Ⅱb(a) 大学院連携特別演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文	
共通教育科目	共通教育科目については、共通教育科目部分のみを対象とした別のカリキュラム・ツリーで詳細を示す。						
関連教育科目	他学部授業科目（法学部教授会が適当と認める授業科目）						

*●印のついた科目は必修科目、△印のついた科目は選択必修科目である。

*コース別のコア・カリキュラム(Aの科目群)は、必修科目、選択必修科目、自コース科目およびコース内容と関連の深い選択科目(〈選択〉と付記されている科目)から構成される(コースは2年次から所属する)。

19 専門教育履修モデル

【24～20台】

法学部では、将来の多様な進路やキャリア選択に応えられるように体系的に学ぶことが可能となる「専門教育履修モデル」を設置している。1年次に法学または政治学の基礎的科目を履修し、2年次になるときに、各自、将来の進路等を考慮し、それに適った「専門教育履修モデル」を選択することが望ましい。

「専門教育履修モデル」はカリキュラム上の「コース」と密接に関連しており、「コース」を決定する重要な要素となる。2・3・4年次と系統的に専門教育履修モデルに沿って演習等を含む科目群を履修することにより、学生は将来を見据えて、主体的かつ計画的に学ぶことが可能となる。

各モデルに示されている科目の履修については、「18 法学部履修系統図」(p. 102～104参照)を参考にした上で、必修科目はもちろんのこと、選択必修科目および自コース科目を中心として年次ごとの履修科目を決定し、無理のない計画性のある履修登録を行うこと。

24～20台学生の専門教育履修モデルは、次のとおりである。19～16台学生については入学年度における学修ガイドを参照すること。

なお、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」については、各自が選択する履修モデルの趣旨に沿った内容の科目を履修するのが望ましい。(各履修モデルにおける「演習Ⅱ」には「演習Ⅱa」・「演習Ⅱb」を含む。)

(1) 法律学科

【法律総合コース】

① 「司法・法律専門職」モデル

(a)法曹モデル (b)司法書士・行政書士モデル

② 「市民法・企業法」モデル

(a)企業取引モデル (b)知的財産・税務モデル (c)消費者法モデル

【公共法務コース】

③ 「公共法務」モデル

(a)公務員モデル (b)警察・消防モデル (c)国際関係モデル

【総合政策コース】

④ 「政策」モデル

(a)政策理論モデル (b)都市・環境モデル (c)報道・メディアモデル

⑤ 「地域・福祉」モデル

(a)地域社会モデル (b)福祉モデル

(2) 経営法学科

【企業法コース】

① 「起業・会社経営と法」モデル

② 「企業ビジネス法務」モデル

③ 「企業実務と法」モデル

(a)知的財産モデル (b)労働実務モデル (c)企業財務モデル

【国際コース】

④ 「国際ビジネス法」モデル

⑤ 「国際関係・国際政治」モデル

【公共法務コース】

③ 「公共法務」モデル

- (a) 国家公務員（総合職・一般職）・地方公務員（上級職）を目指す学生向けのモデル。
 * 「公務員モデル」については「法律特修プログラム」を併せて履修することが望ましい。
- (b) 警察官・消防士を目指す学生向けのモデル。
- (c) 外交官や国際公務員として又は商社、渉外企業等で活躍したい学生向けのモデル。

			1年次	単位	2年次	単位	3・4年次	単位
③ 公共法務 モデル	(a) 公務員 モデル	コア科目	憲法 I II 門則論 民法 入総論 裁判制度概論 政治学入門ゼミ 公共政策論 法学基礎	2 2 2 2 2 2 2 4	憲法 III 行政法 I 債権法 I 債権法 II 債権法 II 親族法 II 民法 I 民法 II 民法 III 民法特別講義 I キャリアプランニング(選択) I 演習 I	2 4 2 2 2 2 2 2 4 2 2 4	行政法 II 地方自治法 III 相対法 II 憲法特講 II 民法特講 III 行政特別演習 II 行政特別演習 II	4 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4
		履修が望ましい科目			刑罰法 I 社会法 II 政治学原論 経済法 刑事法特講 I 労働法(他コース) 政策過程論(他コース) 日本政治外交史(他コース) 財政学(関連教育科目)	4 2 4 4 4 2 2 2 4	比較憲法 II 税法 I 税法 I 社会法 I 環境報告法 政治過程論 刑事法特講 II 九州地域政策(他コース) 政策評価論(他コース) 福祉国家論(他コース) 公共経済学(関連教育科目)	2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2
		コア科目	憲法 I II 門則論 民法 入総論 裁判制度概論 政治学入門ゼミ 法学基礎	2 2 2 2 2 2 4	刑法 I 刑法 III 行政法 I 債権法 I 債権法 II 債権法 II 刑事法特講 I キャリアプランニング(選択) I 演習 I	4 2 4 2 2 2 4 2 4	刑事訴訟法 II 刑事政策(選択) II 警察活動の理論と実務(選択) II 刑法特講 II 行政法 I 地方自治法 I 行政特別演習 II 行政特別演習 II	4 4 4 2 2 4 4 4 4
		履修が望ましい科目	政治学入門 公共政策概論(選択)	2 2	親族法 経済法 社会法 II 政治学原論 ミクロ経済学概論 マクロ経済学概論	2 4 2 2 2 2	債権法 III 相対法 II 社会法 I 社会法 I 九州地域政策(他コース) 法医学(選択)	2 2 4 4 2 2
		コア科目	憲法 I II 門則論 民法 入総論 裁判制度概論 政治学入門ゼミ 法学基礎	2 2 2 2 2 2 4	憲法 III 行政法 I 国際法総論 国際関係論 ミクロ経済学概論 マクロ経済学概論 政治学原論 日本政治外交史(他コース) 西洋政治史(他コース) 演習 I	2 4 4 4 2 2 4 4 4 4	国際法各論 比較憲法論 行政法 II 行政環境習 演習 II	4 2 4 4 2 4 4
		履修が望ましい科目	公共政策概論(選択)	2	債権法 I 債権法 II 債権法 II 債権法 II 社会法 I 社会法 II	2 2 2 2 2 4	社会法 I 社会法 I 政治思想史(他コース) 福祉国家論(他コース) 国際私法(他コース) 国際取引法(他コース) 国際民事手続法(他コース) 西洋法制史(選択) 東洋法制史(選択) 国際経済法(他学科) 外交史通論(他学科)	4 2 4 4 2 2 2 4 4 4 4 2

【総合政策コース】

④ 「政策」モデル

- (a)政治・政策の理論について学び、研究者、政策スタッフなどを旨とする学生向けのモデル。
- (b)都市政策、環境政策、まちづくりに携わりたい学生向けのモデル。
- (c)報道、メディアの分野で活躍したい学生向けのモデル。

⑤ 「地域・福祉」モデル

- (a)地方公務員として又はNPO 法人などで地域社会に貢献したいと考えている学生向けのモデル
- (b)公務員又は福祉団体職員として福祉の分野で活躍したい学生向けのモデル。

			1 年次	単位	2 年次	単位	3・4年次	単位			
④ 政策 モデル	(a) 政策理論 モデル	コア科目	憲法 I II 2 民法 法入 2 行政法 法入 2 裁判制度 概 2 政治学 入 2 公共政策 論(選 2 法学部 入 2 法基 門ゼミ 2 礎 4	2	政治学 原論 4 国際関係論 4 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 日本政治外交 2 西洋政治外交 2 政策過程 2 演習 I 4	4	政治過程論 4 行政思想論 4 政策評価 2 都市政策 I 2 演習 I II 4 演習 II 4	4			
		履修が望ましい科目			行政法 I 4 憲法 III(他コース) 2 経済法(他コース) 4 財政学(関連教育科目) 4	4	行政法 II 4 地方自治法 2 環境法 2 情報法 2 NPM デイア 2 マスメディア論 2 公共経済学(関連教育科目) 4	4			
		(b) 都市・環境 モデル	コア科目	憲法 I II 2 民法 法入 2 行政法 法入 2 裁判制度 概 2 政治学 入 2 公共政策 論(選 2 法学部 入 2 法基 門ゼミ 2 礎 4	2	政治学 原論 4 行政法 I 4 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 日本政治外交 2 行政法 II 2 政策過程論 I 4 演習 I 4	4	行政法 II 4 地方自治法 2 環境法 2 情報法 2 NPM デイア 2 マスメディア論 2 公共経済学(関連教育科目) 4 行政法特別演習 I 4 演習 II 4 演習 II 4	4		
			履修が望ましい科目			経済法(他コース) 4	4	福祉国家論 2 NPM デイア 2 マスメディア論 2	2		
			(c) 報道・ メディア モデル	コア科目	憲法 I II 2 民法 法入 2 行政法 法入 2 裁判制度 概 2 政治学 入 2 公共政策 論(選 2 法学部 入 2 法基 門ゼミ 2 礎 4	2	政治学 原論 4 国際関係論 4 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 日本政治外交 2 行政法 II 2 政策過程論 I 4 演習 I 4	4	情報法 2 マスメディア論 2 政治過程論 4 NPM デイア 2 行政法特別演習 I 2 演習 II 2 演習 II 4	4	
				履修が望ましい科目			西洋政治史 4 消費者法(他コース) 2 法社会学(他コース) 4	4	行政法 II 4 地方自治法 2 環境法 2 都市福祉論 2	4	
	⑤ 地域・福祉 モデル			(a) 地域社会 モデル	コア科目	憲法 I II 2 民法 法入 2 行政法 法入 2 裁判制度 概 2 政治学 入 2 公共政策 論(選 2 法学部 入 2 法基 門ゼミ 2 礎 4	2	債権法 I II 2 債務法 I II 2 労働法 I 4 労働法 II 4 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 演習 I 4	2	行政法 II 4 地方自治法 2 社会法 2 環境法 2 行政法 4 都市政策論 2 九州地域福祉論 2 NPM デイア 2 行政法特別演習 I 4 演習 II 4	4
					履修が望ましい科目			政治学 原論 4	4	福祉国家論 2 社会福祉概論 2 マスメディア論 2	2
		(b) 福祉 モデル			コア科目	憲法 I II 2 民法 法入 2 行政法 法入 2 裁判制度 概 2 政治学 入 2 公共政策 論(選 2 法学部 入 2 法基 門ゼミ 2 礎 4	2	労働法 I 4 行政法 I 4 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 親族法(他コース) 2 消費者法(他コース) 2 演習 I 4	4	社会法 2 福祉国家論 2 社会福祉概論 2 地域福祉論 2 児童福祉論(選 2 択) 2 NPM デイア 2 行政法特別演習 I 4 演習 II 4 演習 II 4	4
					履修が望ましい科目			政治学 原論 4	4	行政法 II 4 地方自治法 2 行政法特別演習 II 4 演習 II 4	4

2) 経営法学科

【企業法コース】

① 「起業・会社経営と法」モデル

会社起業や会社経営の際に関わる法に興味を持つ学生向けのモデル。

② 「企業ビジネス法務」モデル

企業法務に関する知識を駆使してビジネスパーソンとして活躍したい学生向けのモデル。

③ 「企業実務と法」モデル

(a) 知的財産法を中心に弁理士を視野に入れて学びたい学生向けのモデル。

(b) 労働法を中心に社労士を視野に入れて学びたい学生向けのモデル。

(c) 企業財務を中心に税理士を視野に入れて学びたい学生向けのモデル。

* 企業法についてより深く体系的に学びたい学生は「企業法務特修プログラム」を併せて履修することが望ましい。

		1年次	単位	2年次	単位	3・4年次	単位
① 起業・会社経営と 法モデル	コア科目	民法入門	2	債権法	2	債権法	2
		法総論	2	権法	2	統法	2
	裁判制度概論	2	債権法	2	業金融法	2	
	企業法入門ゼミ	2	債権法	2	業取引法	2	
履修が望ましい科目	憲法	2	労働法	4	知的財産法	4	
	法Ⅱ	2	消費者法	2	法Ⅰ	2	
② 企業ビジネス 法務モデル	コア科目	民法入門	2	債権法	2	債権法	2
		法総論	2	権法	2	業金融法	2
	裁判制度概論	2	債権法	2	業取引法	2	
	企業法入門ゼミ	2	債権法	2	業法務法	2	
履修が望ましい科目	憲法	2	労働法	4	知的財産法	4	
	法Ⅱ	2	消費者法	2	法Ⅰ	2	
③ 企業実務と 法モデル	(a) 知的財産 モデル	民法入門	2	債権法	2	知的財産法	4
		法総論	2	権法	2	国際知的財産法	2
	裁判制度概論	2	債権法	2	債権法	2	
	企業法入門ゼミ	2	債権法	2	民法訴訟法	2	
履修が望ましい科目	憲法	2	労働法	4	民法訴訟法	2	
	法Ⅱ	2	消費者法	2	企業法務特別演習Ⅱ	4	
(b) 労働実務 モデル	民法入門	2	労働法	4	知的財産法	4	
	法総論	2	債権法	2	国際私法	2	
履修が望ましい科目	憲法	2	労働法	4	国際私法	2	
	法Ⅱ	2	消費者法	2	国際私法	2	
(c) 企業財務 モデル	民法入門	2	債権法	2	債権法	2	
	法総論	2	権法	2	業金融法	2	
履修が望ましい科目	憲法	2	労働法	4	業取引法	2	
	法Ⅱ	2	消費者法	2	業法務法	2	

【国際コース】

④ 「国際ビジネス法」モデル

国際ビジネスに関わる法制度および実務について学びたい学生向けのモデル。

⑤ 「国際関係・国際政治」モデル

国際機関で活躍することを視野に入れて国際法、国際関係および国際政治について学びたい学生向けのモデル。

		1 年次	単位	2 年次	単位	3・4 年次	単位
④ 国際ビジネス法 モデル	コア科目	民法入門	2	債権法 I	2	国際私法	4
		法総論 I	2	債権法 II	2	国際知的財産法	2
		法総論 II	2	債権法 III	2	国際民事訴訟法	2
		憲法	2	債権法 IV	2	国際商事手続法	4
		国際関係学入門	2	債権法 V	2	国際税務法	2
		企業法入門	2	債権法 VI	2	国際商標法	2
		法学部入門ゼミ	4	債権法 VII	2	国際著作権法	2
		パワーアップゼミ	4	債権法 VIII	2	国際知的財産法	4
		国際コミュニケーション I	4	債権法 IX	2	国際知的財産法	4
		国際コミュニケーション II	4	債権法 X	2	国際知的財産法	2
⑤ 国際関係・国際政治 モデル	コア科目	民法入門	2	債権法 I	2	国際私法	4
		法総論 I	2	債権法 II	2	国際知的財産法	2
		法総論 II	2	債権法 III	2	国際民事訴訟法	2
		憲法	2	債権法 IV	2	国際商事手続法	4
		国際関係学入門	2	債権法 V	2	国際税務法	2
		企業法入門	2	債権法 VI	2	国際商標法	2
		法学部入門ゼミ	4	債権法 VII	2	国際著作権法	2
		パワーアップゼミ	4	債権法 VIII	2	国際知的財産法	4
		国際コミュニケーション I	4	債権法 IX	2	国際知的財産法	4
		国際コミュニケーション II	4	債権法 X	2	国際知的財産法	2
	履修が望ましい科目	民法	2	国際法総論	4	国際私法	4
		憲法	2	国際法総論	4	国際知的財産法	2
		国際関係学 II	2	国際法総論	2	国際民事訴訟法	2
		憲法	2	国際法総論	2	国際商事手続法	2
		国際関係学	2	国際法総論	2	国際税務法	2
		憲法	2	国際法総論	2	国際商標法	2
		国際関係学	4	国際法総論	2	国際著作権法	2
		憲法	4	国際法総論	2	国際知的財産法	2
		国際関係学	2	国際法総論	2	国際知的財産法	4
		憲法	2	国際法総論	2	国際知的財産法	2
	履修が望ましい科目	民法	2	国際法総論	4	国際私法	4
		憲法	2	国際法総論	4	国際知的財産法	2
		国際関係学 II	2	国際法総論	2	国際民事訴訟法	2
		憲法	2	国際法総論	2	国際商事手続法	4
		国際関係学	2	国際法総論	2	国際税務法	2
		憲法	2	国際法総論	2	国際商標法	2
		国際関係学	4	国際法総論	2	国際著作権法	2
		憲法	4	国際法総論	2	国際知的財産法	4
		国際関係学	2	国際法総論	2	国際知的財産法	2
		憲法	2	国際法総論	2	国際知的財産法	2

20 法学部における学生支援

(1)公務員試験等研究部会

法学部では、教育支援の一環として、独自の学生支援を行っている。これらを利用して、法学部生として学生生活を充実させることを推奨する。各募集の要領及び手続きについては、後日 FU ポータルでお知らせする。

本学では、「公務員試験等研究部会」を設置し、公務員試験及び資格試験の合格並びに法科大学院への進学等を志望する学生を支援している。

対 象	講 座 名 (主な対象年次)	申込時期	開講期間	概 要
公務員試験や 司法書士試験 等の各種資格 試験の合格を 目指す学生	教養基礎講座Ⅰ (1年次以上)	4月	5月～10月	文章読解、人文・社会科学分野の習得を目指す入門講座。
	民法基礎講座Ⅰ (1年次以上)			法学入門、民法入門分野の習得を目指す短期講座。
	憲法基礎講座Ⅰ (1年次以上)			憲法入門分野の習得を目指す短期講座。
	民法基礎講座Ⅲ (2年次以上)			債権法、親族法、相続法分野の習得を目指す講座。
	行政法基礎講座 (2年次以上)			行政法総論、行政法各論分野の習得を目指す講座。
	司法書士講座Ⅰ (1年次以上)			司法書士試験の受験科目対策を中心とした講座。
	教養基礎講座Ⅱ (1年次以上)	10月	11月～ 翌年4月	数的処理、自然科学分野の習得を目指す入門講座。
	民法基礎講座Ⅱ (1年次以上)			民法総則、物権法分野の習得を目指す講座。
憲法基礎講座Ⅱ (1年次以上)	憲法総論、基本的人権、統治機構分野の習得を目指す講座。			
司法書士講座Ⅱ (2年次以上)	司法書士試験の受験科目対策を中心とした講座。			
法科大学院を 目指す学生	法科大学院受験 対策講座既修者 コース (2年次以上)	4月	5月～ 翌年4月	法科大学院の既修者試験対策を中心として現役弁護士が指導する講座。

(2)学習スキルアップ相談室

法学部では、法学部の学生を対象に、法学部生として学習していく上で必要なスキルを向上させるため、大学院法学研究科のティーチング・アシスタントがアドバイスする「学習スキルアップ相談室」を開設している。

判例検索方法および判例集の引用方法、レポートのレイアウト、ゼミでのプレゼンテーションの仕方など、学力向上につながる学習技術の相談に応じる。

相談室は文系センター棟9階902研究室に設置されている。

特に1年次生は、積極的に利用することが望まれる。

(3)法学部ゼミレジュメ複写支援

法学部では、ゼミで使用するレジュメに限り、2号館5階25D教室において必要枚数を複写できる支援を行っている。25D教室では、大学院法学研究科のティーチング・アシスタントが常駐して、レジュメの作成等についての技術的な相談に応じる。

各種課程の履修について

本学では教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を開設しており、学生の免許・資格の取得をサポートしています。これらの課程の履修方法については別冊『教職課程・博物館学芸員課程・社会教育主事課程 履修の手引』を参照してください。

教職課程

本学の各学部・学科で取得できる教員免許状は次の表のとおりです。

〈取得できる免許状の種類と教科〉

学 部	学 科	免許状の種類及び教科		
		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の一種免許状
人文学部	文化学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	歴史学科			
	日本語日本文学科	国 語	国 語	
	教育・臨床心理学科	社 会	公 民	
	英語学科	外国語(英語)	外国語(英語)	
	ドイツ語学科	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	フランス語学科	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
	東アジア 地域言語学科	中国コース 外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	韓国コース 外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)		
法学部	法律学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	—
	経営法学科			
経済学部	経済学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 情 報	—
	産業経済学科			
商学部	商学科	—	商 業 ・ 情 報	—
	経営学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民	
	貿易学科			
商学部第二部	商学科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民 ・ 商 業 ・ 情 報	—
理学部	応用数学科	数 学	数 学 ・ 情 報	—
	物理科学科	理 科	理 科 ・ 情 報	
	化学科		理 科	
	地球圏科学科		理 科	
工学部	機械工学科	—	工 業	—
	電気工学科		工 業 ・ 情 報	
	電子情報工学科		工 業	
	化学システム工学科			
	社会デザイン工学科			
	建築学科			
医学部	看護学科	—	看 護	養 護 教 諭
スポーツ科学部	スポーツ科学科	保 健 体 育	保 健 体 育	—
	健康運動科学科			

[人文学部ドイツ語学科・フランス語学科・東アジア地域言語学科]

他学科の科目を履修することで、人文学部ドイツ語学科・フランス語学科については「外国語(英語)」の免許状を、東アジア地域言語学科については「国語」の免許状を取得することが可能です。しかし、いずれも在籍する学科で取得できる免許教科の取得が前提であり、その他成績等の制約も設けられているため在学中の取得は難しいかもしれません。

[医学部看護学科]

高一種「看護」と養護教諭一種免許状を取得できますが、学科の看護学実習等もあるため、在学中に両方を取得することは困難です。どちらかに決めて履修の方が望ましいでしょう。

[小学校教諭免許状取得プログラム]

本プログラムに参加することにより、小学校教諭一種免許状の取得に必要な単位の修得も可能です。ただし参加条件があり、1年次の後期に応募し受講を許可される必要があります。

博物館学芸員課程

学芸員とは、博物館（美術館・歴史資料館・動物園・植物園・水族館など）に置かれる専門職員で、資料の収集や保管、調査研究、展示などを行います。

本学では次の学部・学科に学芸員となる資格を取得できる博物館学芸員課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	歴 史 学 科
理 学 部	応 用 数 学 科
	物 理 科 学 科
	化 学 科
	地 球 圏 科 学 科

社会教育主事課程

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に置かれる「専門的教育職員」であり、主に学校外教育で青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む。）を行う者に専門的・技術的な助言と指導を行うことを職務とします。

本学では次の学部・学科に社会教育主事となるために必要な単位を修得できる社会教育主事課程を設けています。

学 部	学 科
人 文 学 部	文 化 学 科
	教 育 ・ 臨 床 心 理 学 科
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科
	健 康 運 動 科 学 科

外国語科目クラス別担当者一覧

※英語のレギュラークラス（目的別クラス）担当者については、Web履修登録画面または授業科目確認表を参照してください。

※英語の再履修クラス担当者については、「IV履修の手引き」（p.66）を参照してください。

ドイツ語

ドイツ語 I A およびドイツ語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者	
LC LH	全	I A	通年	火	3	堺 雅 志	
		I B	通年	金	5	片 岡 宜 行	
LJ LP LE LF LA	全	I A	通年	火	3	篠 崎 元	
		I B	通年	金	5	永 田 善 久	
LG	1(a)	I A	前期	月	2	富 重 純 子	
		I B	後期	木	4		
	1(b)	I A	前期	月	4		森 澤 万里子
		I B	後期	木	2		
JJ	1-5	I A	通年	火	2	篠 崎 元	
		I B	通年	金	2	篠 崎 元	
	6-10	I A	通年	火	5	マ ン ケ	
		I B	通年	木	3	堀 口 順 子	
JB	全	I A	通年	月	1	田 口 武 史	
		I B	通年	木	2	有 馬 良 之	
E	全	I A	通年	月	2	森 澤 万里子	
		I B	通年	木	1	堀 口 順 子	
CC	1-4	I A	通年	火	4	堀 口 順 子	
		I B	通年	金	1	有 馬 良 之	
	5-6	I A	通年	火	4	有 馬 良 之	
		I B	通年	金	1	篠 崎 元	
CB	全	I A	通年	月	3	富 重 純 子	
		I B	通年	水	2	有 馬 良 之	
CF	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト	
		I B	通年	木	4	金 山 正 道	
SM SP	全	I A	通年	火	4	堀 口 順 子	
		I B	通年	金	1	有 馬 良 之	
SC SE	全	I A	通年	火	4	有 馬 良 之	
		I B	通年	金	1	篠 崎 元	
TM TE	全	I A	通年	火	5	マ ン ケ	
		I B	通年	木	3	堀 口 順 子	
TL	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト	
		I B	通年	木	4	金 山 正 道	
TK	全	I A	通年	月	5	ライヒャルト	
		I B	通年	木	4	金 山 正 道	
TC	全	I A	通年	月	1	田 口 武 史	
		I B	通年	木	2	有 馬 良 之	
TA	全	I A	通年	月	3	富 重 純 子	
		I B	通年	水	2	有 馬 良 之	

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
MM	全	I A	通年	火	2	篠 崎 元
		I B	通年	金	2	篠 崎 元
P	全	I A	通年	月	2	森 澤 万里子
		I B	通年	木	1	堀 口 順 子
G	全	I A	通年	火	3	堺 雅 志
		I B	通年	金	5	片 岡 宜 行

ドイツ語Ⅱ Aおよびドイツ語Ⅱ B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH	全	Ⅱ A	通年	火	1	篠 崎 元
		Ⅱ B	通年	金	4	デル カステイヨ
LJ LP LE LF LA	全	Ⅱ A	通年	金	4	金 山 正 道
		Ⅱ B	通年	火	1	ライヒャルト
LG	1(a)	Ⅱ A	通年	水	2	富 重 純 子
		Ⅱ B	通年	金	2	ゴ ツ イ ッ ク
	1(b)	Ⅱ A	通年	金	2	片 岡 宜 行
		Ⅱ B	通年	水	2	デル カステイヨ

※ J・E・C・S・T・P・Gの学生で、ドイツ語Ⅱ A・Ⅱ Bの履修を希望する場合は、ドイツ語Ⅱ A・Ⅱ BのLGクラス以外で履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、Ⅱ A・Ⅱ Bを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※ S、Tの学生はⅡ AかⅡ Bのいずれか片方を「ドイツ語Ⅱ」として履修します。

フランス語

フランス語ⅠAおよびフランス語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC LH LJ LG	全	I A	通年	火	3	甲斐春香
		I B	通年	金	5	山本崇代
LP LE LA	全	I A	通年	火	3	山下広一
		I B	通年	金	5	渡邊佳奈
LF	1(a)	I A	前期	月	2	村石麻子
				木	4	
	I B	後期	月	2	井関麻帆	
			木	4		
1(b)	I A	前期	月	4	小池美穂	
			木	2		
JJ	1-5	I A	通年	火	2	甲斐春香
		I B	通年	金	2	
	6-10	I A	通年	火	5	山下広一
		I B	通年	木	3	
JB	全	I A	通年	月	1	鈴木隆美
		I B	通年	木	2	
E	全	I A	通年	月	2	渡邊佳奈
		I B	通年	木	1	
CC	全	I A	通年	火	4	山下広一
		I B	通年	金	1	
CB	全	I A	通年	月	3	渡邊佳奈
		I B	通年	水	2	
CF	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
SM SP SC	全	I A	通年	火	4	木下樹親
		I B	通年	金	1	
SE	全	I A	通年	火	4	山下広一
		I B	通年	金	1	
TM TE	全	I A	通年	火	5	山下広一
		I B	通年	木	3	
TL	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
TK	全	I A	通年	月	5	渡邊佳奈
		I B	通年	木	4	
TC	全	I A	通年	月	1	鈴木隆美
		I B	通年	木	2	
TA	全	I A	通年	月	3	渡邊佳奈
		I B	通年	水	2	
MM	全	I A	通年	火	2	甲斐春香
		I B	通年	金	2	
P	全	I A	通年	月	2	渡邊佳奈
		I B	通年	木	1	
G	全	I A	通年	火	3	甲斐春香
		I B	通年	金	5	

フランス語ⅡAおよびフランス語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC LH LJ	全	Ⅱ A	通年	火	1	河野敦子
		Ⅱ B	通年	金	4	山本崇代
LE LP LG LA	全	Ⅱ A	通年	火	1	原田裕里
		Ⅱ B	通年	金	4	原田裕里
LF	1(a)	Ⅱ A	通年	水	2	村石麻子
		Ⅱ B	通年	金	2	アンティエ
	1(b)	Ⅱ A	通年	金	2	山本大地
		Ⅱ B	通年	水	2	アンティエ

※J・E・C・S・T・P・Gの学生で、フランス語ⅡA・ⅡBの履修を希望する場合は、フランス語ⅡA・ⅡBのLFクラス以外で履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、ⅡA・ⅡBを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※S、Tの学生はⅡAかⅡBのいずれか片方を「フランス語Ⅱ」として履修します。

中国語

中国語ⅠAおよび中国語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC	全	I A	通年	火	3	王 雲 燕
		I B	通年	金	5	王 秀 珍
LH	全	I A	通年	火	3	龍 一 夫
		I B	通年	金	5	王 貞 月
LJ	全	I A	通年	火	3	何 憶 鶴
		I B	通年	金	5	岡 村 真寿美
LP	1	I A	通年	火	3	オウ イクブン
		I B	通年	金	5	荀 暁 崢
	2	I A	通年	火	3	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	5	武 継 平
LE LG LF	全	I A	通年	火	3	ア イ ネ ル
		I B	通年	金	5	宮 下 尚 子
LA	1	I A	前期	火	3	王 美 蘭
		I B	後期	火	3	王 一 萍
	2	I A	前期	火	3	王 一 萍
		I B	後期	火	3	王 美 蘭
JJ	1-5	I A	通年	火	2	中里見 敬 夫
		I B	通年	金	2	龍 一 夫
	6-10	I A	通年	火	5	田 村 和 彦
		I B	通年	木	3	有 働 彰 子
JB	全	I A	通年	月	1	王 美 蘭
		I B	通年	木	2	王 貞 月
EE	1-6	I A	通年	月	2	王 一 萍
		I B	通年	木	1	陳 青 鳳
	7-12	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
EI	全	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
CC	全	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
CB	全	I A	通年	月	3	オウ イクブン
		I B	通年	水	2	葛 目 至
CF	1-2	I A	通年	月	5	チ ヨ ウ ロ
		I B	通年	木	4	羽 田 ジェシカ
	3-4	I A	通年	月	5	オウ イクブン
		I B	通年	木	4	堤 和 幸

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
SM	1	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
	2	I A	通年	火	4	王 一 萍
		I B	通年	金	1	羅 明 坤
SP	1	I A	通年	火	4	陳 青 鳳
		I B	通年	金	1	ア イ ネ ル
	2	I A	通年	火	4	ホウ ラメイ
		I B	通年	金	1	オウ イクブン
SC	全	I A	通年	火	4	王 一 萍
		I B	通年	金	1	羅 明 坤
SE	1	I A	通年	火	4	ホウ ラメイ
		I B	通年	金	1	オウ イクブン
	2	I A	通年	火	4	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	1	王 美 蘭
S再	全	I A	通年	火	4	宮 下 尚 子
		I B	通年	金	1	王 美 蘭
TM	1	I A	通年	火	5	王 秀 珍
		I B	通年	木	3	羽 田 ジェシカ
	2	I A	通年	火	5	ホウ ラメイ
		I B	通年	木	3	葛 目 至
TE	1	I A	通年	火	5	龍 一 夫
		I B	通年	木	3	王 雲 燕
	2	I A	通年	火	5	王 雲 燕
		I B	通年	木	3	堤 和 幸
TL	1-2	I A	通年	月	5	王 一 萍
		I B	通年	木	4	葛 目 至
	3-4	I A	通年	月	5	王 美 蘭
		I B	通年	木	4	大 澤 武 司
TK	1	I A	通年	月	5	中 村 昌 彦
		I B	通年	木	4	岡 村 真寿美
	2	I A	通年	月	5	伊 伏 啓 子
		I B	通年	木	4	有 働 彰 子
TC	1	I A	通年	月	1	朱 冰
		I B	通年	木	2	陳 青 鳳
	2	I A	通年	月	1	王 一 萍
		I B	通年	木	2	何 憶 鶴
TA	1	I A	通年	月	3	王 美 蘭
		I B	通年	水	2	岡 村 真寿美
	2	I A	通年	月	3	中 村 昌 彦
		I B	通年	水	2	河 本 美 紀
MM	全	I A	通年	火	2	中里見 敬 夫
		I B	通年	金	2	龍 一 夫
PP	1-3	I A	通年	月	2	王 一 萍
		I B	通年	木	1	陳 青 鳳
	4-6	I A	通年	月	2	朱 冰
		I B	通年	木	1	王 貞 月
G	全	I A	通年	火	3	龍 一 夫
		I B	通年	金	5	王 貞 月

中国語ⅡAおよび中国語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC	全	ⅡA	通年	火	1	ア イ ネ ル
		ⅡB	通年	金	4	ホ ウ ラ メ イ
LH	1	ⅡA	通年	火	1	有 働 彰 子
		ⅡB	通年	金	4	オ ウ イ ク ブ ン
	2	ⅡA	通年	火	1	王 美 蘭
		ⅡB	通年	金	4	王 一 萍
LJ	全	ⅡA	通年	火	1	中里見 敬
		ⅡB	通年	金	4	宮 下 尚 子
LP	1	ⅡA	通年	火	1	オ ウ イ ク ブ ン
		ⅡB	通年	金	4	王 美 蘭
	2	ⅡA	通年	火	1	王 一 萍
		ⅡB	通年	金	4	武 継 平
LE LG LF	全	ⅡA	通年	火	1	宮 下 尚 子
		ⅡB	通年	金	4	王 秀 珍
LA	全	ⅡA	前期	火 金	4 3	オ ウ イ ク ブ ン
		ⅡB	後期	火 金	4 3	オ ウ イ ク ブ ン
J E C S T P G	全	ⅡA	通年	火	5	荀 曉 崢
		ⅡB	通年	木	4	宮 下 尚 子

※S、Tの学生はⅡAかⅡBのいずれか片方を「中国語Ⅱ」として履修します。

スペイン語

スペイン語 I A およびスペイン語 I B

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH LE LF LA	全	I A	通年	火	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	5	辻 博 子
LJ LP LG	全	I A	通年	火	3	青 木 文 夫
		I B	通年	金	5	上 間 洋
JJ	1-5	I A	通年	火	2	青 木 文 夫
		I B	通年	金	2	上 間 洋
	6-8	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	9-10	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
JB	全	I A	通年	木	2	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	1	デ ィ ア ス
E	全	I A	通年	木	1	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	2	デ ィ ア ス
CC	1-3	I A	通年	火	4	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	1	上 間 洋
	4-6	I A	通年	金	1	鈴 木 美 香
		I B	通年	火	4	デ ィ ア ス
CB	全	I A	通年	月	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	水	2	辻 博 子
CF	1-2	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	3-4	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
SC SE	全	I A	通年	火	4	鈴 木 美 香
		I B	通年	金	1	上 間 洋
SM SP	全	I A	通年	金	1	鈴 木 美 香
		I B	通年	火	4	デ ィ ア ス
TM	1	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
TE	1	I A	通年	火	5	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	木	3	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	3	青 木 文 夫
		I B	通年	火	5	デ ィ ア ス
TL	1-2	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	3-4	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
TK	1	I A	通年	月	5	鈴 木 美 香
		I B	通年	木	4	デ ィ ア ス
	2	I A	通年	木	4	青 木 文 夫
		I B	通年	月	5	フジヨシ ミヨコ
TC	全	I A	通年	木	2	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	1	デ ィ ア ス
TA	全	I A	通年	月	3	鈴 木 美 香
		I B	通年	水	2	辻 博 子

学部 学科	組	科目	期別	曜 日	時 限	担 当 者
MM	全	I A	通年	火	2	青 木 文 夫
		I B	通年	金	2	上 間 洋
P	全	I A	通年	木	1	フジヨシ ミヨコ
		I B	通年	月	2	デ ィ ア ス
G	全	I A	通年	火	3	青 木 文 夫
		I B	通年	金	5	上 間 洋

スペイン語ⅡAおよびスペイン語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC LH LE LF LA	全	ⅡA	通年	火	1	青 木 文 夫
		ⅡB	通年	金	4	辻 博 子
LJ LP LG	全	ⅡA	通年	火	1	鈴 木 美 香
		ⅡB	通年	金	4	上 間 洋

※ J・E・C・S・T・P・Gの学生で、スペイン語ⅡA・ⅡBの履修を希望する場合は、スペイン語ⅡA・ⅡBのLクラスで履修してください。どちらのクラスでも構いませんが、ⅡA・ⅡBを同時に履修する場合は、同一クラスで履修してください。(S、Tの学生以外)

※ S、Tの学生はⅡAかⅡBのいずれか片方を「スペイン語Ⅱ」として履修します。

朝鮮語

朝鮮語ⅠAおよび朝鮮語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
LC	1	I A	通年	火	3	押川 信久
		I B	通年	火	5	朴順 伊鎬
	2	I A	通年	火	3	申鎬 十
		I B	通年	火	5	鄭ハ 順
LH	全	I A	通年	火	3	押川 信久
		I B	通年	火	5	朴順 伊久
LJ	1	I A	通年	火	3	押川 信順
		I B	通年	火	5	朴順 伊鎬
	2	I A	通年	火	3	申鎬 十
		I B	通年	火	5	鄭ハ 順
LG LF	全	I A	通年	火	3	申鎬 十
		I B	通年	火	5	鄭ハ 順
LE	全	I A	通年	火	3	鄭美 京
		I B	通年	火	5	申鎬 十
LP	全	I A	通年	火	3	白岩 美穂
		I B	通年	火	5	趙賢 眞
LA	1	I A	前期	月	4	尹秀 美
		I B	後期	月	4	羅義 圭
	2	I A	前期	月	4	羅義 圭
		I B	後期	月	4	尹秀 美
JJ	1-3	I A	通年	火	2	押川 信久
		I B	通年	火	2	黃聖 媛
	4-5	I A	通年	火	2	黃聖 媛
		I B	通年	火	2	高仁 淑
	6-10	I A	通年	火	5	高仁 淑
		I B	通年	木	3	申鎬 十
JB	1	I A	通年	月	1	羅義 圭
		I B	通年	月	2	崔秀 蓮
	2	I A	通年	月	1	大川 賢眞
		I B	通年	月	2	趙賢 眞
	3-5	I A	通年	月	1	趙賢 眞
		I B	通年	月	2	朴順 伊
EE	1-6	I A	通年	月	2	大川 大輔
		I B	通年	月	1	趙賢 眞
	7-12	I A	通年	月	2	羅義 圭
		I B	通年	月	1	崔秀 蓮
EI	1-2	I A	通年	月	2	大川 大輔
		I B	通年	月	1	趙賢 眞
	3-4	I A	通年	月	2	羅義 圭
		I B	通年	月	1	崔秀 蓮
CC	1	I A	通年	火	4	羅義 圭
		I B	通年	火	1	高鄭 仁淑
	2	I A	通年	火	1	趙賢 眞
		I B	通年	火	1	趙賢 眞
	3-4	I A	通年	火	4	白岩 美穂
		I B	通年	火	1	金慶 湖
	5-6	I A	通年	火	4	申鎬 十
		I B	通年	火	1	押川 信久
CB	1-3	I A	通年	月	3	千受 瑛立
		I B	通年	水	2	吳獨 純
	4-6	I A	通年	月	3	安藤 純
		I B	通年	水	2	金京 姫
CF	1	I A	通年	月	5	趙賢 眞
		I B	通年	木	4	李廷 恩
	2	I A	通年	月	5	千受 瑛立
		I B	通年	木	4	趙賢 眞
	3	I A	通年	月	5	吳獨 純
		I B	通年	木	4	崔秀 蓮
	4	I A	通年	月	5	金京 姫
		I B	通年	木	4	金慶 湖

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
SM	1	I A	通年	火	4	白岩 美穂
		I B	通年	火	1	金慶 湖
	2	I A	通年	火	4	高仁 淑
		I B	通年	火	1	黃聖 媛
SC	1	I A	通年	火	4	申鎬 十
		I B	通年	火	1	押川 信久
	2	I A	通年	火	4	高仁 淑
		I B	通年	火	1	黃聖 媛
SP	1	I A	通年	火	4	羅義 圭
		I B	通年	火	1	高仁 淑
	2	I A	通年	火	4	鄭美 京
		I B	通年	火	1	趙賢 眞
SE	1	I A	通年	火	4	羅義 圭
		I B	通年	火	1	高仁 淑
	2	I A	通年	火	4	鄭美 京
		I B	通年	火	1	趙賢 眞
TM	1	I A	通年	火	5	羅義 圭
		I B	通年	木	3	李廷 恩
	2	I A	通年	火	5	大川 大輔
		I B	通年	木	3	朴順 伊
TE	1	I A	通年	火	5	羅義 圭
		I B	通年	木	3	李廷 恩
	2	I A	通年	火	5	大川 大輔
		I B	通年	木	3	朴順 伊
TL	1-2	I A	通年	月	5	吳獨 立
		I B	通年	木	4	崔秀 蓮
	3-4	I A	通年	月	5	金京 姫
		I B	通年	月	4	金慶 湖
TK	1	I A	通年	月	5	趙賢 眞
		I B	通年	木	4	李廷 恩
	2	I A	通年	月	5	千受 瑛立
		I B	通年	木	4	趙賢 眞
TC	1	I A	通年	月	1	羅義 圭
		I B	通年	月	2	崔秀 蓮
	2	I A	通年	月	1	大川 大輔
		I B	通年	月	2	趙賢 眞
TA	1	I A	通年	月	3	千受 瑛立
		I B	通年	水	2	吳獨 純
	2	I A	通年	月	3	安藤 純
		I B	通年	水	2	金京 姫
MM	全	I A	通年	火	2	黃聖 媛
		I B	通年	火	2	高仁 淑
PP	1-3	I A	通年	月	2	大川 大輔
		I B	通年	木	1	趙賢 眞
	4-6	I A	通年	月	2	羅義 圭
		I B	通年	木	1	崔秀 蓮
G	全	I A	通年	火	3	鄭美 京
		I B	通年	火	5	申鎬 十

朝鮮語ⅡAおよび朝鮮語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時 限	担 当 者
LC	1	ⅡA	通年	火	1	押 川 信 久
		ⅡB	通年	金	4	金 慶 湖
	2	ⅡA	通年	火	1	申 鎬
		ⅡB	通年	金	4	大 川 大 輔
LH	1	ⅡA	通年	火	1	押 川 信 久
		ⅡB	通年	金	4	金 慶 湖
	2	ⅡA	通年	火	1	申 鎬
		ⅡB	通年	金	4	大 川 大 輔
LJ LG LF	全	ⅡA	通年	火	1	緒 方 義 広
		ⅡB	通年	金	4	高 仁 淑
LE	全	ⅡA	通年	火	1	黄 聖 媛
		ⅡB	通年	金	4	趙 賢 眞
LP	全	ⅡA	通年	火	1	羅 義 圭
		ⅡB	通年	金	4	鄭 ハ ナ
LA	1	ⅡA	前期	水	2 5	金 慶 湖
		ⅡB	後期	水	2 5	羅 義 圭
	2	ⅡA	前期	水	2 5	羅 義 圭
		ⅡB	後期	水	2 5	金 慶 湖
J E C S T P G	全	ⅡA	通年	火	5	申 鎬
		ⅡB	通年	木	4	李 泰 勲

※S、Tの学生はⅡAかⅡBのいずれか片方を「朝鮮語Ⅱ」として履修します。

ロシア語

ロシア語ⅠAおよびロシア語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
全学部	全	I A	通年	火	3	ヴ エ ラ
		I B	通年	金	5	ヴ エ ラ

ロシア語ⅡAおよびロシア語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
L J E C S T P G	全	Ⅱ A	通年	火	1	ヴ エ ラ
		Ⅱ B	通年	金	4	ヴ エ ラ

※S、Tの学生はⅡAかⅡBのいずれか片方を「ロシア語Ⅱ」として履修します。

日本語

日本語ⅠAおよび日本語ⅠB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
留学生	①	I A	通年	火	2	清 水 りえ子
		I B	通年	金	1	川 邊 理 恵
	②	I A	通年	火	3	清 水 りえ子
		I B	通年	水	5	川 邊 理 恵

日本語ⅡAおよび日本語ⅡB

学部 学科	組	科目	期別	曜日	時限	担当者
留学生	全	Ⅱ A	通年	火	1	清 水 りえ子
		Ⅱ B	通年	金	4	清 水 りえ子